

2024年度
現代英語学科
シラバス

目次

1.	1年生 教育課程(カリキュラムマップ)	4
2.	1年生 カリキュラムツリー	5
3.	1年生 年間予定表	6
4.	1年生 シラバス	8

開講科目	頁	開講科目	頁
日本語表現法	8	Speaking Skills II	40
心理学	9	Extensive Reading	41
Critical Thinking	10	Chorus English	43
情報処理	11	Vocabulary Building	44
数理リテラシー	12	海外研修	45
Oral Communication I	13	ビジネスプロトコール	46
Oral Communication II	16	秘書実務	47
Listening I	18	エアラインサービス	49
Listening II	21	フランス語 I	50
Reading I	25	キャリア形成演習 I	51
Reading II	29	キャリア形成演習 II	52
Grammar I	33	基礎ゼミ	53
Grammar II	35	TOEIC I	54
Speaking Skills I	39	STEP I	55

5.	2年生 教育課程(カリキュラムマップ)	58
6.	2年生 カリキュラムツリー	59
7.	2年生年間予定表	60
8.	読み替え対応表	62
9.	2年生 シラバス	63

開講科目	頁	開講科目	頁
歴史と文化	63	Advanced Reading	78
法律入門	64	English for Tourism	79
現代の社会	65	Cinema English	80
Oral Communication III	66	Drama Workshop	81
Business Communication	70	観光ビジネス論	82
Essay Writing	71	フランス語 II	83
Media English	74	総合演習 II	84
Public Speaking	76	総合演習 III	88
Debating Skills	77		

9.	ナンバリング	94
10.	学科教員一覧	98
11.	実務経験を有する教員一覧	98
12.	オフィスアワー、成績評価	99

現代英語学科

1年生

(2024年度入学生)

- 教育課程（カリキュラムマップ）
- カリキュラムツリー
- 年間予定表
- シラバス

学修成果（到達目標）

- 1 **【基礎力】** 「話す」「聞く」「読む」「書く」の英語4技能を身につけ、英語コミュニケーション能力を高めることができる（CEFR - B1レベル程度）。
 - ① 身近な話題に関して対応できる英語力を身につけている。
 - ② 他者の考えを理解し、自分の考えを表現できる。
- 2 **【実践力】** 基礎力で培った英語コミュニケーション能力を基に、実用的英語運用能力を身につけ、自立した英語使用者として行動することができる。
 - ① 英語母語話者と臆せずコミュニケーションができる。
 - ② 多角的に物事を捉え、自分の考えを表現できる。
- 3 **【人間関係力】** コミュニケーション能力、豊かな人間性及び基礎的なビジネス実務能力を身につけ、他者と良好な人間関係を築くことができる。
 - ① 社会や職場で必要なコミュニケーション能力を身につけている。
 - ② 基本的なプロトコルやビジネス実務能力を身につけ、実践することができる。
- 4 **【生涯学習力】** 生涯にわたり学び、成長し続けることができる。
 - ① 生涯にわたって課題を発見し、解決する力を身につけることができる。
 - ② グローバル社会において様々な変化に応じ、生涯を通じて自分を成長させることができる。
- 5 **【地域理解力】** 多様な社会・文化を理解することができる。
 - ① 自国の歴史・文化・社会・経済について理解し、異文化間コミュニケーションに役立てることができる。
 - ② 様々な地域の文化・社会を知り、それぞれの価値観に対応して調和と共生を積極的に図る。

学修成果 : 1 基礎力 2 実践力 3 人間関係力 4 生涯学習力 5 地域理解力
学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。 ●は、各授業科目が学修成果の1~5のどれに当てはまるかを表すものです。

現代英語学科 カリキュラムマップ

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次・学修成果										必修	選択						
			1年					2年												
			前期	後期	学修成果					前期	後期	学修成果								
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○		●		●										1		
		World Mythology	15								○						●	●	2	
		歴史と文化	15									○					●	●	2	
	人間と社会	心理学	15		○			●	●										2	
		法律入門	15									○		●			●		2	
		現代の社会	15									○		●			●		2	
人間と科学	Critical Thinking	15		○		●	●		●									2		
	情報処理 教理リテラシー	15 8	○ ○		●													1 1		
専門教育分野	専門基礎科目	Oral Communication I	15	○		●	●											1		
		Oral Communication II	15		○	●	●											1		
		Listening I	15	○		●	●											1		
		Listening II	15		○	●	●											1		
		Reading I	15	○		●	●											1		
		Reading II	15		○	●	●											1		
		Grammar I	15	○		●	●											1		
		Grammar II	15		○	●	●											1		
	専門展開科目	Oral Communication III	15								○			●			●		2	
		Oral Communication IV	15								○			●	●		●		2	
		Listening III	15								○			●			●		2	
		Listening IV	15								○			●			●		2	
		Reading III	15								○			●			●		2	
		Reading IV	15								○			●		●	●		2	
		Business Communication	15								○			●	●		●		2	
		Essay Writing	15								○		●	●			●		2	
		Business Writing	15								○		●	●		●		2		
		Speaking Skills I	15	○			●	●											2	
		Speaking Skills II	15		○		●	●											2	
		Extensive Reading	15		○		●	●											2	
		English for Tourism	15				●	●			○			●			●		2	
		Chorus English	15	○			●	●									●		2	
		English through Plays	15				●	●			○			●			●		2	
		英米文学概論	15								○			●			●		2	
		英語史概論	15								○			●			●		2	
	Vocabulary Building	15		○		●	●											2		
	Teaching English to Children	15								○			●	●	●			2		
	British Studies	15								○		●				●		2		
	American Studies	15								○		●				●		2		
	International Studies	15								○		●				●		2		
	海外研修	集中		○		●	●	●	●									2		
	関連科目	ビジネスプロトコル	15	○			●	●											2	
		秘書実務	15		○		●	●											2	
観光ビジネス論		15									○		●		●			2		
エアラインサービス		集中		○			●	●										2		
フランス語 I		15		○			●	●										1		
演習分野	演習科目	フランス語 II	15							○			●	●				1		
		キャリア形成演習 I	15	○				●	●									1		
		キャリア形成演習 II	15		○			●	●									1		
		基礎ゼミ	15	○			●	●	●									1		
		TOEIC I	15		○		●	●										1		
		STEP I	15		○		●	●										1		
		TOEIC II	15							○			●					1		
STEP II	15							○			●					1				
総計（卒業要件62単位以上）												38	48							

令和6年度 現代英語学科 カリキュラムツリー



	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
演習分野	基礎ゼミ			
	キャリア形成演習 I	キャリア形成演習 II	TOEIC I	TOEIC II
			STEP I	STEP II
	海外研修(集中)			
	Chorus English	Extensive Reading	Business Communication	Business Writing
	Speaking Skills I	Speaking Skills II	English for Tourism	
		Vocabulary Building	英米文学概論	英米文学概論
	Grammar I	Grammar II	Oral Communication III	Essay Writing
	Oral Communication I	Oral Communication II	Oral Communication IV	Oral Communication IV
	Listening I	Listening II	Listening III	Listening IV
Reading I	Reading II	Reading III	Reading IV	
専門教育分野			Teaching English to Children	
			British Studies	International Studies
			American Studies	
	エアラインサービスクラス(夏季集中)	フランス語 I	フランス語 II	観光ビジネス論
	ビジネスプロトコール	秘書実務		
	日本語表現法	心理学	World Mythology	歴史と文化
	情報処理	Critical Thinking	現代の社会	法律入門
		数理解リテラシー		
教養教育分野				

2024年度 現代英語学科1年生 年間予定表

前期

		日	月	火	水	木	金	土
4月			1	2	3	4	5	6
	7	8	1	9	10	11	12	13
	14	15	2	16	17	18	19	20
	21	22	3	23	24	25	26	27
	28	29		30			3	4
5月	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	4	14	15	16	17	18
	19	20	5	21	22	23	24	25
	26	27	6	28	29	30	31	1
6月	2	3	7	4	5	6	7	8
	9	10	8	11	12	13	14	15
	16	17	9	18	19	20	21	22
	23	24	10	25	26	27	28	29
	30	1	11	2	3	4	5	6
7月	7	8	12	9	10	11	12	13
	14	15		16	17	18	19	20
	21	22	13	23	24	25	26	27
	28	29	14	30	31	1	2	3
8月	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	25
	25	26	27	28	29	30	31	
9月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	1					

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2024年度 現代英語学科1年生 年間予定表

後期

		日	月	火	水	木	金	土						
10月				1	1	2	2	3	2	4	2	5		
	6		7	2	8	2	9	3	10	3	11	3	12	
	13		14		15	3	16	4	17	4	18	4	19	
	20		21	3	22	4	23	5	24	5	25	5 午後準備	26	せいよう祭
	27		28	4	29	5	30	6	31	6	1	6	2	
11月	3		4		5	6	6	7	7	7	8	7	9	
	10		11	5	12	7	13	8	14	8	15	8	16	
	17		18	6	19	8	20	9	21	9	22	9	23	
	24		25	7	26	9	27	10	28	10	29	10	30	
12月	1		2	8	3	10	4	11	5	11	6	11	7	
	8		9	9	10	11	11	12	12	12	13	12	14	
	15		16	10	17	12	18	13	19	13	20	13	21	
	22		23	11	24		25		26		27		28	
	29		30		31		1		2		3		4	
1月	5		6	12	7	13	8	14	9	14	10	14	11	
	12		13		14	14	15	15	16	15	17	15	18	
	19		20	13	21	15	22	月14	23	月15	24	予備日	25	
	26		27	定期試験	28	定期試験	29	追試	30		31		1	
2月	2		3		4		5	不合格発表	6		7		8	
	9		10		11		12	再試験	13		14		15	
	16		17		18		19		20		21		22	
	23		24		25		26		27		28		1	
3月	2		3		4		5		6		7		8	
	9		10		11		12		13		14		15	
	16		17		18		19		20		21		22	
	23		24		25		26		27		28		29	
	30		31											

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01				
	●		●							
科目名	日本語表現法				単位認定者	徳田 幸雄		試験（筆記）	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	40 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 目的に合わせた文章（文書）作成ができるようになる。 									
学修者への期待等	日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴				日本語と英語との相違を考えてみよう。(20分程度)					
2	日本語の歴史				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
3	ことばと表現①(熟語、語句)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
4	ことばと表現②(ことわざ、故事成語)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
5	敬語表現①(敬語の基本)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
6	敬語表現②(尊敬語と謙譲語)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
7	話してみよう①:インタビューとショートスピーチ				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
8	話してみよう②:グループディスカッション				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
9	修飾語と被修飾語との関係①(原則論)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
10	修飾語と被修飾語との関係②(練習問題)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
11	句読点の打ち方(原則論)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
12	句読点の打ち方と文章要約①(境界の点)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
13	句読点の打ち方と文章要約②(逆転の点)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
14	句読点の打ち方と文章要約③(自由の点)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
15	文章の構成									
教科書	プリントを配布する。									
参考文献	『日本語の作文技術（朝日文庫）』本多勝一著（朝日新聞出版） 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著（風間書房）									
備考	授業内課題については、次回講義でフィードバックを行う。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
			●	●	

科目ナンバリング
CE-0-HSO-01

科目名	心理学				単位 認定者	宇野 忍		評価の 方法	試験(筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業参加度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人間を理解するため、自分をより知るために、心理学という学問を体系的に学ぶ。認知心理学をはじめ、認知発達及び社会発達、パーソナリティ、社会心理学といった主な領域を中心に、心理学全般における理解と基礎的知識の修得を目指す。									
到達目標	①心理学はどんな科学かを例をあげて説明できる。 ②感覚・知覚・認知、学習・記憶、発達、パーソナリティ、テストと測定、説得とコミュニケーションなどに関する心理学の基礎的概念について例を挙げて説明できる。									
学修者への期待等	授業で得た知識を記憶するだけでなく、自分の周囲の物事に使って、自分の事例や例外を探してほしい。自分のつまづきや驚き、違和感を大切に本当はどうかという自分の問題を追求してほしい。									
回	授業計画					準備学修				
1	心理学はどんな対象を、どんな方法で研究し、どんな規則性を明らかにする科学かー心理学史					事前準備：「心理学」に対する自分のイメージを箇条書きにしてみよう。(概ね30分)				
2	なぜ幼児は変なひらがなを書くのか、どう援助すればわかるかー心理学研究の具体例					事前準備：ひらがなを学び始めた頃の自分の書き間違いを思い出してみよう。(概ね30分)				
3	感覚・知覚・認知という心のはたらきは知識にどう左右されるのかー感覚・知覚・認知とは何か					事前準備：錯覚とは何か、どんなものがあるかを調べておこう。(概ね30分)				
4	発達とは何か；発達はどんな様相を示すのか					事前準備：発達期について調べよう。(概ね30分)				
5	発達をもたらすものは何かー成熟説という考え					事前準備：成熟説について調べよう。(概ね30分)				
6	発達をもたらすものは何かー発達の最近接域理論という考え					事前準備：ヴィゴツキーの発達の最近説領域理論を調べよう。(概ね30分)				
7	学習とは何かー学習の過程の基本的特徴とは何か					事前準備：アリの絵を描いてみる。描いた後で知りたくなかったことは何か確かめよう。(概ね30分)				
8	問題解決による学習とそのタイプー有意味学習と機械的学習とはどんな学習だろうか					事前準備：世界の砂漠はどんなところにあるか、考えてみよう。(概ね30分)				
9	忘れやすい記憶、忘れにくい記憶の条件はなにか					「鎌倉幕府の成立は1192年」という事柄を忘れにくくなるように記憶してみよう。(概ね30分)				
10	テストと測定ー心を測るものさしとしての心理テスト(知能検査、性格検査、適性検査)					事前準備：今までに受けた心理テストは何を測定しているか、考えてみよう。(概ね30分)				
11	パーソナリティとは何かー類型論、特性論という答え					事前準備：性格に対する類型論・特性論を調べよう。(概ね30分)				
12	私たちはいつでも同じパーソナリティを示すかー状況主義的パーソナリティとはなにか					事前準備：自分はどんな状況でも同じパーソナリティの持ち主か、内省しよう。(概ね30分)				
13	私たちはいつ人間になるのか、日本人になるのかー群れと文化とモダール・パーソナリティ					事前準備：日本で生まれた赤ん坊は人間か、日本人か考えてみよう。(概ね30分)				
14	思考と人格ー二値的思考と権威主義的人格・偏見					事前準備：周囲の物事や人間などに対する偏見はなぜ起こるか、考えよう。(概ね30分)				
15	人はなぜ説得されにくいかー説得とコミュニケーション					事前準備：自分はどんなときに説得されやすいか、自分の経験を内省しよう(概ね30分)				
教科書	特に指定しない。毎回の授業で資料を配布する。									
参考文献	授業内で紹介する。参考書としては、植木理恵『ビジュアル図解心理学』KADOKAWA 2013がある。									
備考	試験の模範解答および結果の概要を試験後にLMSへ投稿し、学生にフィードバックする。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HSO-02		
		●	●		●			
科目名	Critical Thinking				単位認定者	相田 明子		評価の方法 授業内課題（レポート等） 70 % 受講態度（ディスカッションへの参加・貢献度） 30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	本科目の目的は、物事について熟考する意識を持ち、「事実」と「意見」を分けることを理解し、適切な論拠や相応しい証拠に基づいた主張が出来るようになることである。さらに、主張に対する説得力を高めるために有効な証拠と、そうでないものを区別し、その理由を説明することが出来るようになる。							
到達目標	1. ジェンダーとはなにかを理解し、社会がどのようにジェンダー化されているのかを説明できる。 2. 映画や文学作品を通して、文化におけるジェンダーの構築について理解し、説明したり批評することができる。 3. 主体的なものの見方・考え方ができる。							
学修者への期待等	ディスカッションやペアワークへの積極的な参加・貢献が期待されます。 ジェンダーについて学びを深め、物事を批評的に思考することに意義を見出してください。							
回	授業計画				準備学修			
1	・授業のイントロダクション（進め方とルール） ・ジェンダーとはなんだろう				本シラバスをよくよんでおく			
2	・ジェンダーと社会、ジェンダーと文化				配布プリントを読む、不明瞭な用語や語彙は図書館等で調べておく。ジェンダーについてまとめる（概ね60分）			
3	・ジェンダーの理解について確認する（ディスカッション） ・『白雪姫』（1937）を視聴し、感想や意見をまとめる				配布プリントを読む、不明瞭な用語や語彙は図書館等で調べておく。ジェンダーについてまとめる（概ね60分）			
4	・『白雪姫』について、視聴後のディスカッション ・プリンセス願望とは				『白雪姫』視聴後の「感想」と「作品批評」について、まとめておく（概ね30分）			
5	・フェアリー・テイルの成り立ちとシャルル・ペロー ・"Little Red Riding Hood"を精読する				配布された"Little Red Riding Hood"を辞書を使って読んでおく（概ね60分）			
6	"Little Red Riding Hood"「Moral（教訓）」について適切な和訳をつけ、内容について話し合う（ディスカッション）				シャルル・ペローについて学んだことをまとめ、そのうえで"Moral"を和訳する（概ね30分）			
7	シャルル・ペローとグリム兄弟について学び、両者（作品を）を比較・考察する、中間レポートの主題発表				"Little Red Riding Hood"について、ノートをまとめる。作者・時代背景をふまえて作品を「批評」してみる（概ね60分）			
8	『シンデレラ』（1950）を視聴し、感想や意見をまとめる				配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）			
9	『シンデレラ』について、ディスカッションとプレゼンテーション（シンデレラコンプレックス）				シンデレラコンプレックスについて調べておく（概ね30分）			
10	ジェンダーとフェアリーテイル（講義とディスカッション）				配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）			
11	商業主義とジェンダー（講義とディスカッション）				配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）			
12	ポストフェミニズム（講義とディスカッション）				配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）			
13	映画『エバー・アフター』（1998）（前半部）を視聴、要点をメモしながら内容をまとめる				ここまでの受講内容をふりかえっておく。ポストフェミニズムについて、学んだことをまとめておく。（概ね30分）			
14	映画『エバー・アフター』（後半部）を視聴し、『シンデレラ』との相違について話し合う、最終レポートの主題発表				配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）			
15	・ふりかえり：Critical Thinkingとは ・グループディスカッション				受講内容をふりかえっておく。最終レポートについて質問があれば準備しておく。（概ね30分）			
教科書	教員が作成したプリントを随時配布する。							
参考文献	授業中に指示する。							
備考	レポート課題は授業内で発表する。中間レポートは返却する。プレゼンテーション内容等について、授業内でフィードバックをする。状況により遠隔授業に変更する場合がある。							

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSC-01				
	●									
科目名	情報処理				単位認定者	氏家 留美子		試験(筆記)	50%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1単位	評価の方法	授業内課題	20%
					授業形態	演習	授業時間数		30時間	受講態度
						授業回数	15回			
授業の概要	現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。加えて、パソコンをコミュニケーションツール、ビジネスツールとして活用する能力を養う。また、パソコンを使う者のマナー、情報保護の意識等も学修する。									
到達目標	<p>パソコンの基本操作を修得し、Word・Excel・PowerPointの効率的な使用能力を身につける。</p> <p>◆Word：書式設定や印刷設定を適切に使える。表・図形・写真を取り入れた表現力のある文書を作成できる。</p> <p>◆Excel：書式設定をして表を整えることができる。適切な計算式や関数を使う。グラフを作成できる。</p> <p>◆PowerPoint：プレゼンテーションについて理解し、訴求力のあるスライド作成とスライドショー実施ができる。さまざまなITツールの活用で、情報を整理・評価し、ICTを活用した情報分析が出来るようになる。</p>									
学修者への期待等	基本から応用操作まで、学生が自身のスキルを見つめ直し成長することを期待する。操作に不慣れな学生は、この機会に基礎を固めること。既にスキルを持つ学生もさらなる向上を目指してほしい。操作がわからない部分は、演習中に質問して確実に理解を深めること。教材データを保存するために、USBメモリを授業2回目以降で使用する。授業1回目の時にUSBメモリについては詳しく説明するので、2回目の授業までに各自準備しておくこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	Word(実技)：ビジネス文書の基礎知識(ビジネス文書の構成と作成方法)				<p>【予習について】</p> <p>マウス操作・入力操作は各自できるようにして授業に臨むこと。特に入力操作が苦手な場合は、タイピングの練習をして技術を向上させること。(30分程度)</p> <p>【復習について】</p> <p>Word・Excelは、はじめは基礎内容から入り、段階的に応用内容に進んでいくため、各回の内容をしっかりと身につけ、次の授業へ臨むこと。授業内に完成しなかった作成物は、次回までに完成しておくこと。</p> <p>これまでの経験によって、パソコンスキル(技能)は異なるため、自分の現在のスキルを把握し、学修したパソコン操作が身につけていないと感じる場合は、授業で作成したものを繰り返し操作して復習すること。(各自のスキルにより30分～1時間程度)</p>					
2	Word(実技)：Wordの基本操作(書式設定・印刷設定)情報セキュリティ：脅威が与える影響とセキュリティ対策									
3	Word(実技)：情報の整理(表を用いた文書作成)									
4	Word(実技)：いろいろな書式設定の活用方法(段落の網かけ・均等割り付け・ルビ・囲い文字・傍点・段組み・ヘッダーフッター)									
5	Word(実技)：文書の表現力アップ(イラスト・写真・ワードアート・図形描画)									
6	Word(実技)：レポートなどの長文作成をサポートする操作(見出しスタイルの利用・目次作成・検索・置換)著作権の知識：著作権の概念・著作権侵害・引用のルール									
7	PowerPoint(実技)：プレゼンテーションの構成・箇条書きや表を用いた情報の整理・図形や画像の効果的な利用法・スライドショーの実施・印刷設定									
8	PowerPoint(実技)：アニメーションの設定・図解表現の手法・指示するテーマで、伝わるプレゼンテーションの課題作成									
9	Excel(実技)：Excelの基本操作(四則演算・SUM、AVERAGE関数・書式設定・行列操作・表示形式・印刷設定)									
10	Excel(実技)：数式を効率的かつ正確に作る(相対参照と絶対参照の使い分け)									
11	Excel(実技)：数値を評価するための基本的関数(MAX・MIN・COUNT・COUNTA)									
12	Excel(実技)：データを視覚的に分析・評価(グラフ作成)									
13	Excel(実技)：基準に基づくデータの整理や抽出(データベースのしくみ・並べ替え・フィルター)									
14	Excel(実技)：データを条件付きで処理・集計(IF・COUNTIF・SUMIF関数など)関数のまとめ①(データの評価・集計するための関数の活用)									
15	Excel(実技)：特定の値を基に検索とデータ取得(VLOOKUP関数など)関数のまとめ②(データの整理・分析するための関数の活用)									
教科書	『30時間アカデミック Office2019』 杉本くみ子/大澤栄子 実教出版									
参考文献	進行に応じてプリントを配付する。									
備考	「試験」は、Word・Excel・PowerPointの使用方法に関する筆記試験を行う。「課題」は、指示した作成ファイルをデータ形式で提出する。内容を確認し、以後の授業で講評する。情報処理室で授業を実施する。パソコンの操作手順を示す際に講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ映す授業支援システム(SkyClassesMng)を利用する。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HSC-01				
	●									
科目名	数理リテラシー				単位認定者	本田 俊夫		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	筆記	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		16 時間	
						授業回数	8 回			
授業の概要	基本的な数学用語の意味、記号、計算法を理解し、日常的で身近な具体例と数学との関連を学び、数理処理能力の向上に必要な基礎的知識を身につける。									
到達目標	数学の基礎・基本を身に付け、数式・表・グラフ等の活用を通して数学的処理の“良さ”を知ることにより、統計学、数学、コンピュータサイエンス、人工知能など今後の社会に必要とされる数理的思考やデータ分析・活用能力の土台を身につける。									
学修者への期待等	日常でよく使う計算、算数・数学的な考え方とデータについての基本を習得するための科目です。授業後は1時間程度の復習をし、考え方や処理が不明の箇所がある場合は積極的に質問してください。受講時は、自分でやってみる、他者と協力して考えることを通じ、自分が理解したことを相手に伝え、また、わからない部分はヒントを手掛かりにして自ら解決する力を身につけて欲しい。									
回	授業計画				準備学修					
1	「加減乗除の計算」 整数・小数・分数				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
2	「平方根・累乗根・指数」				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
3	「数と集合」 ベン図の利用				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
4	「進数」 2進数・8進数・16進数など				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
5	「対数」 日常の中での対数				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
6	統計の基礎① データの分布と代表値、ばらつき				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
7	統計の基礎② データの標準化				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
8	統計の基礎③ 推定と検定				授業内容をよく復習して理解すること(概ね30分～1時間程度)。					
教科書										
参考文献										
備考	毎回プリントを配布します。授業後半に確認のための演習課題を実施する。なお、課題については授業内にフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●								
科目名	Oral Communication I				単位認定者	ジョーンズ ドミニク (Aクラス)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	<p>本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバリエーションが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。</p>									
到達目標	<p>将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参して下さい。授業内でおこなうグループワークとディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実にすることが欠かせません。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	ユニット 1 Talking about yourself ① Where are you from?グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
2	ユニット 1 Talking about yourself ② Where do you study?グループワークと ディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
3	ユニット 2 Talking about family ① Who is in your family?グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
4	ユニット 2 Talking about family ② What are they like?グループワークと ディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
5	"Presentation 1" の準備をする。				発表の準備をしていくこと。(概ね1時間)					
6	"Presentation 1" のプレゼンテーションを行う。									
7	ユニット 3 Talking about times and dates ① What time is it? グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
8	ユニット 3 Talking about times and dates ② When are you free? グループワークと ディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
9	ユニット 4 Talking about daily life ① What do you usually do? グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
10	ユニット 4 Talking about daily life ② When do you do things? グループワークと ディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
11	ユニット 5 Talking about likes and dislikes ① What do you like? グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
12	ユニット 5 Talking about likes and dislikes ② How much do you like it? グループワークと ディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
13	ユニット 1~5 Review				ユニット 1~5の内容を復習していくこと。(概ね1時間程度)					
14	"Presentation 2" の準備をする。 グループワークと ディスカッション				発表の準備をしていくこと (概ね1時間)					
15	"Presentation 2" のプレゼンテーションを行う。									
教科書	The English Course Speaking Starter 2nd Edition Gary Ireland, Max Woollerton. The English Company 9784990296278									
参考文献	特になし									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●								
科目名	Oral Communication I				単位 認定者	スミス アンソニー (Bクラス)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の 方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。</p>									
到達目標	<p>将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内で行われるグループワーク、及びプレゼンテーションに備え、発信力を培うためのトレーニングをすること。尚、Unit を終える度に Review Quiz を課す。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	Unit 1. Welcome to Japan (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.				Unit 1. Welcome to Japan (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
2	Unit 2. That Sounds Like Fun (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.				Unit 2. That Sounds Like Fun (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
3	Unit 3. We Leave on Friday Morning (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.				Unit 2. We Leave on Friday Morning (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
4	Unit 4. You Know a Lot About Trains (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking, A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz.				Unit 4. You know a Lot About Trains (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
5	Unit 5. I Didn't Want to Leave (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.				Unit 5. I Didn't Want to Leave (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
6	Unit 6. You're Working Late (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.				Unit 6. You're Working Late (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する(概ね30分)					
7	Unit 7. I'm Sure He'll Understand (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz				Unit 7. I'm sure He'll Understand (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
8	Unit 8. I'll Remember That (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.				Unit 8. I'll Remember That (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
9	Unit 9. Hiro Forgot (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz.				Unit 9. Hiro Forgot (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)					
10	Unit 10. How Have You Been? (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking, A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz.				Unit 10. How Have you been? (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する (概ね30分)					

回	授業計画	準備学修
11	Unit 11. While They're Here (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz.	Unit 11. While they're Here (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)
12	Unit 12. How Was Tennis? (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus QUIZ.	Unit 12. How Was Tennis? (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)
13	Unit 13. What Do You Mean? (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz.	Unit 13. What Do You Mean? (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)
14	Unit 14. Well, What Are You Waiting For? (Listening A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B. Pairwork plus Quiz.	Unit 14. Well, What Are You Waiting For? (Listening A & B, Grammar Checking A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)
15	Unit 15. The Last Supper (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B, Pairwork plus Quiz.	Unit 15. The Last Supper. (Listening A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Challenge Reading A & B を予習する。(概ね30分)
教科書	<i>English First (Basic)</i> 金星堂	
参考文献	特になし	
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-02				
	●	●								
科目名	Oral Communication II				単位認定者	ジョーンズ ドミニク (Aクラス)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	「Oral Communication I」で学習した内容を踏まえ、英会話の自信を裏付けるためのスピーキング、リスニング能力のスキルアップを目的とする。具体的には、ネイティブスピーカーによって頻繁に使用される語彙、熟語、慣用句等の知識を培い、多様な場面での会話に対応できるようになることを企図する。また、グループインタラクションを通して、「話題の引き出し」を増やしていく。併せて、相手と快適にコミュニケーションを取るための応答やリアクション等、コミュニケーションの技法も修得する。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得できる。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参して下さい。授業内でおこなうグループワークとディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画				準備学修					
1	ユニット 6 Describing people ① What do they look like?グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
2	ユニット 6 Describing people ② What are they like?グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
3	ユニット 7 Describing locations and giving directions ① Where is it?グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
4	ユニット 7 Describing locations and giving directions ② How to get there?グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
5	"Presentation 1" の準備をする。 グループワークとディスカッション				発表の準備をしていくこと。(概ね1時間)					
6	"Presentation 1" のプレゼンテーションを行う。 グループワークとディスカッション									
7	ユニット 8 Talking about other countries ① What language do they speak グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
8	ユニット 8 Talking about other countries ② Where is it?グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
9	ユニット 9 Talking about the future ① What do you want to do in the future? グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
10	ユニット 9 Talking about daily life ② What will happen in the future? グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
11	ユニット 10 Talking about likes and dislikes ① What do you like? グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
12	ユニット 10 Talking about likes and dislikes ② How much do you like it? グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
13	ユニット 6~10 Review				ユニット 6~10の内容を復習してくること。(概ね1時間程度)					
14	"Presentation 2" の準備をする。 グループワークとディスカッション				発表の準備をしていくこと。(概ね1時間)					
15	"Presentation 2" のプレゼンテーションを行う。 グループワークとディスカッション									
教科書	The English Course Speaking Starter 2nd Edition Gary Ireland, Max Woollerton. The English Company									
参考文献	特になし									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-02				
	●	●								
科目名	Oral Communication II				単位認定者	スミス アンソニー (Bクラス)		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	「Oral Communication I」で学習した内容を踏まえ、英会話の自信を裏付けるためのスピーキング、リスニング能力のスキルアップを目的とする。具体的には、ネイティブスピーカーによって頻繁に使用される語彙、熟語、慣用句等の知識を培い、多様な場面での会話に対応できるようになることを企図する。また、グループインタラクションを通して、「話題の引き出し」を増やしていく。併せて、相手と快適にコミュニケーションを取るための応答やリアクション等、コミュニケーションの技法も修得する。									
到達目標	使用するテキストは、中級レベルの英語学習者を対象としたものである。各ユニットで紹介されている身近な話題について自らの意見を相手に伝え、自由にディスカッションできるスキルを養う。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。尚、毎回グループワークとしてDiscussionを行う。授業の前に必ず予習しておくこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	Unit 1. Food (Talk about it, Pairwork)				Unit 1. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
2	Unit 2. Japan (Talk about it, Pairwork)				Unit 2. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
3	Unit 3. Shopping (Talk about it, Pairwork)				Unit 3. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
4	Unit 4. Music (Talk about it, Pairwork)				Unit 4. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
5	Unit 5. Transportation (Talk about it, Pairwork)				Unit 5. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
6	Unit 6. The Salaryman and Work (Talk about it, Pairwork)				Unit 6. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
7	Unit 7. Family (Talk about it, Pairwork)				Unit 7. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
8	Unit 8. Travel (Talk about it, Pairwork)				Unit 8. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
9	Unit 9. Europe (Talk about it, Pairwork)				Unit 9. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
10	Unit 10. Famous People (Talk about it, Pairwork)				Unit 10. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
11	Unit 11. Sports (Talk about it, Pairwork)				Unit 11. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
12	Unit 12. Home (Talk about it, Pairwork)				Unit 12. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
13	Unit 13. Health (Talk about it, Pairwork)				Unit 13. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
14	Unit 14. Entertainment (Talk about it, Pairwork)				Unit 14. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
15	Unit 15. Animals (Talk about it, Pairwork)				Unit 15. Talk about it を予習する。(概ね30分)					
教科書	<i>Let's Talk About It 1,000 Questions for Conversation</i> Craig Drayton, Mark Gibbon (Pearson Longman)									
参考文献	特になし									
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位 認定者	相田 明子 (Aクラス)		授業内課題(小 テスト, ふり かえり)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の 方法	受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	<p>基礎的なリスニング力を身に付けて、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。</p>									
学修者への 期待等	<p>カンヌ国際広告賞を受賞したTVコマーシャルを題材に扱ったテキストを採用する。約30秒という時間の中に効果的なメッセージを込めたTVコマーシャルはリスニング素材としても非常に有用である。予習段階で、該当する章の語彙やテーマに関して理解を深め、必要に応じて周辺知識の調査をしておくこと。また、授業内でおこなうスクリプトのロールプレイ、コマーシャルの主題に関するディスカッションの際には、積極的な参加が期待される。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	Unit 1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices① 1. Preliminary Reading～3. Reading Comprehension				Unit 1 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)					
2	Unit 1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク。				テキストUnit 1 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
3	Unit 2 - This Calls for a Bud Light① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 2 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)					
4	Unit 2 - This Calls for a Bud Light② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 2 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
5	Unit 3 - Anti-Discrimination Campaign① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension.				Unit 3 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)					
6	Unit 3 - Anti-Discrimination Campaign② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ～ 10.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 3 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
7	小テスト (Unit 1～3) Unit 4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 4 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Readingの予習 (概ね1時間程度)					
8	Unit 4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 4 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
9	Unit 5 - Relax, it's FedEx. ① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension.				Unit 5 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 単語テストの準備 (概ね1時間30分程度)					
10	Unit 5 - Relax, it's FedEx. ② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 5 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
11	Unit 6 - BMW-A Car beyond Reason① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 6 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)					
12	Unit 6 - BMW-A Car beyond Reason② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 6 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					

回	授業計画	準備学修
13	小テスト (Unit 4~6) Unit 7 - Banking for the Filthy Rich① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 7 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
14	Unit 7 - Banking for the Filthy Rich② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 7 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
15	Unit 1 ~ Unit 7のふりかえり	今までに学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
教科書	『English in 30 Seconds』Masayuki Aoki 2018 南雲堂	
参考文献	授業中に指示する	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位認定者	相田 明子 (Bクラス)		授業内課題等(小テスト, ふりかえり)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	<p>基礎的なリスニング力を身に付け、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>日常生活や公共の場で遭遇する話題・出来事を題材に、情報を正確に聴き取る練習を繰り返し行います。集中力を高めて授業に臨みましょう。また、リスニング力を向上させるためには、語彙・英語表現を習得することも重要です。新出語彙や文法に関する知識を、自ら進んで学ぶ意欲が期待されます。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	<p>本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。</p> <p>Unit1 : Meeting People (挨拶や自己紹介に関する英語表現) , リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 1 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
2	<p>Unit1 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(1)</p>					<p>Unit 1 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
3	<p>Unit2 : Time to Eat (食べ物, 栄養, 食事に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 2 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
4	<p>Unit2 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(2)</p>					<p>Unit 2 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
5	<p>Unit3 : Living with Technology (Websiteやテクノロジーに関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 3 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
6	<p>Unit3 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(3)</p>					<p>Unit 3: Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
7	<p>Unit4 : Shopping for Clothes (Websiteやテクノロジーに関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 4 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
8	<p>Unit4 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(4)</p>					<p>Unit 4 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
9	<p>Unit5 : A Helping Hand and Home (電化製品や価格に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 5 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
10	<p>Unit5 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(5)</p>					<p>Unit 5 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
11	<p>Unit6 : Going Places (乗り物, 交通機関, 道案内に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 6 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
12	<p>Unit6 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(6)</p>					<p>Unit 6 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
13	<p>Unit7 : Not Feeling So Good (痛み・疾病, 医者の予約に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する</p>					<p>Unit 7 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)</p>				
14	<p>Unit7 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。</p> <p>Review Quiz(7)</p>					<p>Unit 7 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)</p>				
15	<p>ふりかえり : 学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する</p>					<p>Unit 1~7で学修したことを復習すること。(概ね2時間程度)</p>				
教科書	『New Connection Book 1 (CEFR A1-A2)』 Teruhiko Kadoyama 他, 成美堂									
参考文献	講義の際に指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-04				
	●	●								
科目名	Listening II				単位認定者	相田 明子 (Aクラス)		授業内課題 (小テスト, ふりかえり)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	リスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。									
学修者への期待等	Listening Iと同様に、カンヌ国際広告賞を受賞したTVコマーシャルを題材に扱ったテキストを採用する。約30秒という時間の中に効果的なメッセージを込めたTVコマーシャルはリスニング素材としても非常に有用である。予習段階で、該当する章の語彙やテーマに関して理解を深め、必要に応じて周辺知識の調査をしておくこと。また、授業内でおこなうスクリプトのロールプレイ、コマーシャルの主題に関するディスカッションの際には、積極的な参加が期待される。									
回	授業計画				準備学修					
1	Unit 8 - Learning Languages① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension				Unit 8 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)					
2	Unit 8 - Learning Languages② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 8 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
3	Unit 9 - Pepsi-Ask for More① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension.				Unit 9 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 単語テストの準備 (概ね1時30分程度)					
4	Unit 9 - Pepsi-Ask for More② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 9 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
5	Unit 10 - United Nations Development Programme① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension				Unit 10 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)					
6	Unit 10 - United Nations Development Programme② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 10 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
7	小テスト (Unit8~10) Unit 11 - Disney-Magic Happens① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension				Unit 11 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)					
8	Unit 11 - Disney-Magic Happens② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 11 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
9	Unit 12 - Coca-Cola-For Everyone① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension				Unit 12 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)					
10	Unit 12 - Coca-Cola-For Everyone② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 12 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					
11	Unit 13 - Anti-Smoking Campaign① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension.				Unit 13 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading予習 単語テストの準備 (概ね1時間30分程度)					
12	Unit 13 - Anti-Smoking Campaign② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9. Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク				テキストUnit 13 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)					

回	授業計画	準備学修
13	小テスト(Unit11～13) Unit 15 - Hallmark of a Teacher① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension.	Unit 15 TV Commercialの視聴 テキスト Preliminary Reading予習 単語テストの準備 (概ね1時間30分程度)
14	Unit 15 - Hallmark of a Teacher② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 15 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
15	ふりかえり：学習範囲の理解度をテストにて確認する。	ふりかえりの範囲を復習し，必要事項を暗記しておく (概 ね2時間程度)
教科書	『English in 30 Seconds』Masayuki Aoki 2018 南雲堂	
参考文献	授業中に指示する	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する 場合がある。授業内課題，小テスト等は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-04				
	●	●								
科目名	Listening II				単位認定者	相田 明子 (Bクラス)		授業内課題(小テスト, ふりかえり)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	<p>基礎的なリスニング力を身に付け、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>Listening I 同様、日常生活や公共の場で遭遇する話題・出来事を題材に、情報を正確に聴き取る練習を繰り返し行います。集中力を高めて授業に臨みましょう。また、リスニング力を向上させるためには、語彙・英語表現を習得することも重要です。新出語彙や文法に関する知識を、自ら進んで学ぶ意欲が期待されます。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	Unit 8 : The Big Screen (映画に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する				Unit 8 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)					
2	Unit 8 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz(8)				Unit 8 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)					
3	Unit 9 : How do you feel? (自己の感情や体調を描写する際によく使う英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する				Unit 9 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)					
4	Unit 9 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz(9)				Unit 9 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)					
5	Unit 10 : All in Good Fun (好き・嫌いをを使って自分の意見を言う, 相手の意見を伺う) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する				Unit 10 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)					
6	Unit 10 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz(10)				Unit 10 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)					
7	Unit 11 : Game Time (スポーツに関する語彙, 助言の仕方に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する				Unit 11 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)					
8	Unit 11 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz(11)				Unit 11 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)					
9	Unit 12 : Rain or Shine (天候に関する語彙, 天気予報で使われる英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する				Unit 12 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)					
10	Unit 12 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz(12)				Unit 12 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)					
11	Unit 13 : Eating Out (外食をする際に使用する語彙, 注文の仕方や食事での会話表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する				Unit 13 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)					
12	Unit 13 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz(13)				Unit 13 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)					

回	授業計画	準備学修
13	Unit 14 : School Life (職業に関する語彙, 目標の設定や問題解決の際に用いる英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 14 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
14	Unit 14 : 前回のリスニング内容の復習, Reading & Writingに取り組み, Writingした英文を発表する。Review Quiz (14)	Unit 14 : Readingのパートを辞書を使って読み, 問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
15	ふりかえり : Unit 8~14の理解度をふりかえりテストにて確認する	該当範囲を復習し, 疑問点を抽出しておく(概ね2時間程度)
教科書	『New Connection Book 1 (CEFR A1-A2)』 Teruhiko Kadoyama 他, 成美堂	
参考文献	講義の際に指示する。	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題, Quiz等は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-05				
	●	●								
科目名	Reading I				単位認定者	小松 義隆 (Aクラス)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ポキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。									
到達目標	学生個人々が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげる。									
学修者への期待等	英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では科学・技術系の問題に焦点をあてた読み物を扱っているテキストを通し、学修を進めていく。人文科学の分野に興味がある学生にも身近に感じられるトピックで構成されているため、各自が周辺調査をすることで現在話題になっている事柄にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつけられるようになる。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」を毎回の授業で扱い、後期に開講されるReading IIまで継続して使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱うトピック、語源等に興味をもって参加することを期待する。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit 1 Space Invaders—The evolution of Video Games 『英単語の語源図鑑』 Chapter 1 part 1					「はじめに」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 テキストP.6～9までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
2	Unit 2 What a Waste!—Food Loss and Food Waste 「英単語の語源図鑑」 Chapter 1 part 2					テキストP.10～13までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
3	Unit 3 Amory Lovins and Soft Technology 「英単語の語源図鑑」 Chapter 2 part 1					テキストP.14～17までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
4	Unit 4 Lithium-ion Batteries—The Quest for Clean Power 「英単語の語源図鑑」 Chapter 2 part 2					テキストP.18～21までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
5	Unit 5 Today Robot Project 「英単語の語源図鑑」 Chapter 3 part 1					テキストP.22～25までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
6	Unit 6 News Literacy—Watchdog or Cheerleader? 「英単語の語源図鑑」 Chapter 3 part 2					テキストP.26～29までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
7	Unit 7 Hayabusa-2—A Triumph for Public-Private Exploration 「英単語の語源図鑑」 Chapter 4 part 1					テキストP.30～33までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
8	Unit 8 Dr. Noriyuki Kawahara and Rocinantes 「英単語の語源図鑑」 Chapter 4 part 2					テキストP.34～37までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
9	Unit 9 Biomimicry in Japanese design 「英単語の語源図鑑」 Chapter 5 part 1					テキストP.38～41までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
10	Unit 10 What Plagues us 「英単語の語源図鑑」 Chapter 5 part 2					テキストP.42～45までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
11	Unit 11 A Cupful of Ideas 「英単語の語源図鑑」 Chapter 6 part 1					テキストP.46～49までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				
12	Unit 12 Inclusion for Innovation 「英単語の語源図鑑」 Chapter 6 part 2					テキストP.50～53までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
13	Chapter 13 Ethical Shopping—The Choice is Yours 「英単語の語源図鑑」 Chapter 7 part 1	テキストP. 54～57までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）
14	Unit 14 The Social Dilemma 「英単語の語源図鑑」 Chapter 7 part 2	テキストP. 58～61までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）
15	Unit 15 Bill Gates and the Green Premium	テキストP. 62～65までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてLMSに提出すること（概ね1時間）
教科書	『Reading Insight』松尾 秀樹, Alexander A. Bodnar他 2022 三修社 『英単語の語源図鑑』清水健司, すずきひろし かんき出版	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-05				
	●	●								
科目名	Reading I				単位認定者	小松 義隆 (Bクラス)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。</p>									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生個々人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。 2. 段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。 3. 辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげることができる。 									
学修者への期待等	<p>英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では「全体的な構造を考えながら英文エッセイを読む」をコンセプトとし、論理展開に沿ったPassageを読むことで読解力を身に着けるテキストに基づいて学修を進めていく。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」を毎回の授業で扱い、後期に開講されるReadingⅡまで継続使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱う内容(テキストのトピック・語源等)に興味をもって参加することを期待する。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Part I-1 Conclusion / Reasons 理由で押し切る！ 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 1				「はしがき」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 テキストp.11-14の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
2	Part I-2 Social Trend 社会事象を考える 「英単語の語源図鑑」Chapter 1 part 2				テキストp.15-18の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
3	Part I-3 Result / Cause 原因を究明する 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 1				テキストp.19-24の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
4	Part II-4 Several Explanations いくつかの説明 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 2				テキストp.25-28の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
5	Part II-5 Comparison 比較してみよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 1				テキストp.29-32の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
6	Part II-6 For and Against 賛成と反対 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 2				テキストp.33-36の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
7	Part II-7 Classification 分類してみよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 1				テキストp.37-42の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
8	Part III-8 History 歴史を知ろう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 2				テキストp.43-46の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
9	Part III-9 Process 歴史を知ろう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 1				テキストp.47-50の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
10	Part III-10 Cause and Effect 原因と結果 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 2				テキストp.51-56の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
11	Part IV-11 Definition of a New Word 新しい言葉を説明しよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 1				テキストp.57-60の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
12	Part IV-12 Research 調査してみよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 2				テキストp.61-64の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					

回	授業計画	準備学修
13	Part IV-13 New Products, New Service 新製品・新サービス 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 1	テキストp.65-68の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)
14	Part IV-14 Reading Graphs グラフを読む 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 2	テキストp.69-73の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)
15	既習範囲のまとめと確認	これまでの授業で学修した範囲の確認 (概ね1.5時間)
教科書	『Skills for Better Reading <Basic>』石谷 由美子 2018 南雲堂 『英単語の語源図鑑』清水健司, すずきひろし かんき出版	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題(各回の訳等)はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06				
	●	●								
科目名	Reading II				単位 認定者	小松 義隆 (Aクラス)		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	「Reading I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキヤニング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早的確に把握できる能力を培う。									
到達目標	「Reading & Vocabulary I」より専門的・高度になった内容を扱う。多種多様なトピックに関して、世界に発信・共有する価値のある概念をプレゼンテーションする番組、TED Talkをとり挙げたテキストを使用し、口語英語の文体に慣れ、内容を正確に把握できるようになる。口語英語を読み解き訳することで通訳に必要な素養について自分たちで考え、内容を自然な日本語にまとめることができるようになる。									
学修者への期待等	プレゼンテーションで使用される口語表現に慣れ、プレゼンテーションの構成を参考にしてください。プレゼンターは基本的に早口で専門的な語彙を使用しています。発表の中には言葉の間違いや言い直し、ジョークの類も多々出てきますが、それぞれの内容に興味をもって取り組んでください。そして自然な日本語に変換することを意識してください。インターネットや辞書等を活用し、各トピックや記事の周辺情報も調べてください。前期から使用している『英単語の語源図鑑』を継続して使用することになります。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について Unit 1 LIFE CHANGES Lesson A: The Power to Change (Matt Cutts) 『英単語の語源図鑑』Chapter 8 part 1					テキストの使い方WHAT IS 21st CENTURY READINGに目を通す 授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
2	Unit 1 LIFE CHANGES Lesson B: Try Something New for 30 Days(3:24) (Matt Cutts) 『英単語の語源図鑑』Chapter 8 part 2					授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
3	Unit 2 TEAM POWER Lesson A: The Marshmallow Challenge 『英単語の語源図鑑』Chapter 8 part 2					授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
4	Unit 2 TEAM POWER Lesson B: Build a Tower, Build a Team(6:48) (Tom Wujec) 『英単語の語源図鑑』Chapter 9 part 2					授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
5	Unit 3 OCEAN WONDERS Lesson A: Message from the Sea 『英単語の語源図鑑』Chapter 9 part 2					授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
6	Unit 3 OCEAN WONDERS Lesson B: Underwater Astonishments(5:21) (David Gallo) 『英単語の語源図鑑』Chapter 9 part 2					授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
7	Unit 4 WHAT WE WEAR Lesson A: The Science of Style 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 1					授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
8	Unit 4 WHAT WE WEAR Lesson B: Wear Nothing New(5:21) (Jessi Arrington) 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 1					授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
9	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson A: Preserving the Past 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 2					授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
10	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson B-1: One Second Every Day(7:59) (前半部分) (Cesar Kuriyama) 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 2					授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson B-1の予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
11	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson B-2: One Second Every Day(7:59) (後半部分) (Cesar Kuriyama) 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 2					授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson B-2の予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				
12	Unit 7 ROAD TO FAME Lesson A: Going Viral 『英単語の語源図鑑』Chapter 11 part 2					授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)				

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7 ROAD TO FAME Lesson B: Why Videos Go Viral(7:16) (Kevin Allocca) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 10 part 2	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)
14	Unit 9 COMMUNITY VOICES Lesson A: Art in the Community 『英単語の語源図鑑』 Chapter 12 part 2	授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)
15	Unit 9 COMMUNITY VOICES Lesson B: Before I Die, I Want To...(6:16) (Candy Chang) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 12 part 2	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてLMSに提出すること (概ね1.5時間)
教科書	『21st CENTURY READING LEVEL 1』 Robin Longshaw・Laurie Blass 2015 National Geographic Learning/Cengage Learning 『英単語の語源図鑑』 清水健司, すずきひろし かんき出版 並行しXreadingを使用し, 多読を实践する	
参考文献	『続英単語の語源図鑑』 清水健司・すずきひろし 2019 かんき出版	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により, 遠隔授業になる場合があります。 授業内課題 (各回の訳等) はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06				
	●	●								
科目名	Reading II				単位認定者	小松 義隆 (Bクラス)		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	<p>「Reading I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙量を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキヤニング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早く的確に把握できる能力を培う。</p>									
到達目標	<p>1. 学生個々人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。 2. 段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。 3. 辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげることができる。</p>									
学修者への期待等	<p>オンライン英字新聞Time for Kidsの記事をとりあげる。Up-to-dateな時事ネタを読み、周辺調査をすることで社会情勢にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつける。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」をReading Iの授業から継続使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱う内容（テキストのトピック・語源等）に興味をもって参加することを期待する。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	<p>本授業の進め方について、予習、復習、評価について Time for Kids ① Article 1 (初回授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 8 part 1</p>					<p>Time for Kids記事を初回授業時に配布する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
2	<p>Time for Kids ② Article 2 (初回授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 8 part 2</p>					<p>1回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
3	<p>Time for Kids ③ Article 3 (2回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 9 part 1</p>					<p>2回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
4	<p>Time for Kids ④ Article 4 (3回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 9 part 2</p>					<p>3回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
5	<p>Time for Kids ⑤ Article 5 (4回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 10 part 1</p>					<p>4回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
6	<p>Time for Kids ⑥ Article 6 (5回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 10 part 2</p>					<p>5回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
7	<p>Time for Kids ⑦ Article 7 (6回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 11 part 1</p>					<p>6回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
8	<p>Time for Kids ⑧ Article 8 (7回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 11 part 2</p>					<p>7回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
9	<p>Time for Kids ⑨ Article 9 (8回目授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 12 part 1</p>					<p>8回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
10	<p>Time for Kids ⑩ Article 10 (9回目の授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 12 part 2</p>					<p>9回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1.5時間)</p>				
11	<p>Time for Kids ⑪ Article 11 (10回目の授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表</p>					<p>10回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)</p>				
12	<p>Time for Kids ⑫ Article 12 (11回目の授業終了時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表</p>					<p>11回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)</p>				

回	授業計画	準備学修
13	Time for Kids ⑬ Article 13 (12回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表	12回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
14	Time for Kids ⑭ Article 14 (13回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表	13回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
15	既習範囲の総まとめと確認	既習範囲の復習 (概ね1時間)
教科書	オンライン英字新聞ですので、インターネットを使用します。モバイルPC等を持参してください。 『英単語の語源図鑑』清水健司, すずきひろし かんき出版	
参考文献	授業時に適宜紹介します。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題 (各回の訳等) はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-07				
	●	●								
科目名	Grammar I				単位認定者	石田 陽子 (Aクラス)		授業内課題 (確認テスト)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題 (小テスト等)	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度 (発表等)	10 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。</p>									
到達目標	<p>英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の概要確認。 Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
2	Factbook: 文型 (3) Plus 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
3	暗唱例文小テスト (文型) Factbook: 時を表す表現 (1) 現在形 過去形 解説と演習				(予習) 暗唱例文小テストに備える。(概ね30分)					
4	暗唱例文小テスト (時制) Factbook: 完了形 (1) 現在完了形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
5	Factbook: 完了形 (2) 過去完了形&過去進行形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
6	完了形に関連する問題演習 暗唱例文小テスト (完了形)				(予習) 暗唱例文小テストに備える (概ね30分)					
7	ふりかえり: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
8	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
9	Factbook: 助動詞 (2) (3) can / should / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
10	Factbook: 助動詞 (3) had better / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
11	暗唱例文小テスト (助動詞) Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習				(予習) 暗唱例文小テストに備える (概ね30分)					
12	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 / SVOO SVOC 解説と演習				(予習) 暗唱例文小テストに備える (概ね30分)					
13	暗唱例文小テスト (受動態) Factbook: Option③④⑤ 名詞 (1) (2) (3) 解説と演習				(予習) 指定範囲について、十分に学修する。(概ね2時間程度)					
14	Factbook: Option ⑥形容詞 ⑦副詞 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
15	ふりかえり: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。				(予習) 試験範囲を復習し、疑問点を抽出しておく。(概ね2時間程度)					
教科書	『総合英語FACTBOOK: Advanced New Edition』 桐原書店編集部編 桐原書店									
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人, ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-07				
	●	●								
科目名	Grammar I				単位認定者	尾形 まゆみ (Bクラス)		授業内課題 (確認テスト)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題 (小テスト等)	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度 (発表等)	10 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の概要確認。Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
2	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の復習 文型 (3) 文型Plus 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
3	暗唱例文小テスト (文型), Factbook: 時を表す表現 (1) (2) 解説と演習				(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)					
4	暗唱例文小テスト (時を表す表現), Factbook: 完了形 (1) 現在完了形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
5	Factbook: 完了形 (2) 過去完了形 完了進行形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
6	暗唱例文小テスト (完了形), 完了形の関連問題演習				(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)					
7	ふりかえり: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
8	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
9	Factbook: 助動詞 (2) can / should / 解説と演習				(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)					
10	Factbook: 助動詞 (3) had better / 控えめ表現 / 助動詞+完了形 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
11	助動詞の関連問題演習 暗唱例文小テスト (助動詞)				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
12	Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習				(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)					
13	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 / SV00 SV0C 解説と演習				(予習) 試験範囲の内容を復習する (概ね120分)					
14	受動態の関連問題演習 暗唱例文小テスト (受動態)				(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)					
15	ふりかえり: ここまで学修した範囲の復習を行う。				(予習) 教科書を復習し、疑問点を抽出しておく (概ね2時間程度)。					
教科書	『総合英語FACTBOOK:Standard New Edition』 桐原書店編集部編 桐原書店									
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人, ポールマクベイ 桐原書店 その他, 授業時に適宜紹介する。									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。小テスト等のフィードバックはその都度, 授業内に行う。状況により, 遠隔授業に変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar II				単位認定者	相田 明子 (Aクラス)		授業内課題等 (小テスト, ふりかえり)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	「Grammar I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての確に理解し、多様なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めて行く。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカ (Therefore, However, In addition等) に重点を置いて学習する。各段落内部の構造 (トピックセンテンス, 例証, 結論) の構造も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること (スマートフォンの辞書, 翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。) 指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実にを行うことが欠かせません。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の概要確認, Factbook: 不定詞 (1) 名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法について 解説と演習				(復習)不定詞の3つの用法に関して、授業で学んだ事項をまとめる(概ね30分程度)					
2	Factbook: 不定詞 (2) (3) 否定形, 不定詞の重要表現 独立不定詞 解説と演習				(復習)不定詞に関する課題を解く(概ね30分程度)					
3	不定詞: 暗唱例文小テスト, 理解を深める (プリント)				(復習)不定詞に関する課題を解く(概ね30分程度)					
4	Factbook: 動名詞 (1) 主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞 (2) その他 解説と演習				(復習)動名詞に関して、授業で学んだ事項をまとめる(概ね30分程度)					
5	動名詞: 暗唱例文小テスト, Factbook: 分詞 (1) 名詞修飾 説明型 解説と演習分詞				(予習)分詞に関して、これまで学んできた事項をよく確認しておく(概ね30分程度)					
6	Factbook: 分詞 (2) 動詞句の修飾 分詞構文 解説と演習				(復習)分詞構文に関して、整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)					
7	分詞: 暗唱例文小テスト, 分詞構文の理解を深める (プリント)				(復習)分詞構文に関する課題を解く(概ね30分程度)					
8	ふりかえり: 不定詞, 動名詞, 分詞に関する小テスト Factbook: 比較 (1) (2) 原級 比較級 解説と演習				(復習)原級・比較級に関して、整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)					
9	Factbook: 比較 (3) 最上級 解説と演習 比較 (1) (2) 復習				(復習)最上級に関して、整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)					
10	比較: 理解を深める (プリント)				(復習)比較に関する課題を解く(概ね30分程度)					
11	比較: 暗唱例文小テスト, 理解を深める (プリント) Factbook: 関係詞 (1) who / which / whose 解説と演習				(復習)関係詞に関して、授業で学んだ事柄を整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)					
12	Factbook: 関係詞 (2) (3) 関係副詞 非制限用法 解説と演習				(復習)関係詞に関する課題を解く(概ね30分程度)					
13	関係詞: 暗唱例文小テスト, 理解を深める (プリント)				(復習)関係詞に関する課題を解く(概ね30分程度)					
14	Factbook: 前置詞 at / in / on				(復習)前置詞に関する課題を解く(概ね30分程度)					

回	授業計画	準備学修
15	ふりかえり：比較，関係詞，前置詞についての小テスト	(予習)比較，関係詞，前置詞について，これまで学んだ事柄を確認しておく(概ね30分程度)
教科書	『総合英語FACTBOOK:Advanced』 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人，ポールマクベイ 桐原書店 その他，授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については，授業時に説明する。小テスト等のフィードバックはその都度，授業内に行う。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要，実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar II				単位認定者	石田 陽子 (Bクラス)		授業内課題等 (小テスト, ふりかえり)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題(発表等)	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「Grammar I」で学修した内容を踏まえ、より高次な文法事項についての確に理解し、多様なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようにすることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めて行く。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカ―(Therefore, However, In addition等)に重点を置いて学習する。各段落内部の構造(トピックセンテンス, 例証, 結論)の構造も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること(スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。)指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実にを行うことが欠かせません。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の概要確認。Factbook: 不定詞(1)(2)名詞的用法 形容詞的用法, 副詞的用法 否定 知覚動詞・使役動詞, 解説と演習									
2	Factbook: 不定詞(3)SV0+toV 重要表現 完了形の不定詞 解説と演習, 不定詞Plus				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
3	暗唱例文小テスト(不定詞) 不定詞に関連する演習問題				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
4	Factbook: 動名詞(1)(2)主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞, 動名詞の重要表現 解説と演習				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
5	動名詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト(動名詞)				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
6	Factbook: 分詞(1)名詞修飾・SVC/SVOC 解説と演習				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
7	Factbook: 分詞(2)動詞句の修飾 解説と演習				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
8	中間まとめ: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。				(予習)指定範囲について、十分に学修する。(概ね2時間程度)					
9	Factbook: 比較(1)原級 比較級 解説と演習				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
10	Factbook: 比較(2)最上級 解説と演習, 比較Plus ささまざまな表現				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
11	比較に関連した問題演習 暗唱例文小テスト(比較)				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
12	Factbook:関係詞(1) who / which / whose 主格・目的格について, (2) that / 省略解説と演習				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
13	Factbook:関係詞(3)関係副詞 非制限用法 解説と演習				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
14	関係詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト(関係詞)				(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					

回	授業計画	準備学修
15	ふりかえり：ここまで学修した範囲の復習を行う。	(予習)教科書を復習し，疑問点を抽出しておく（概ね2時間程度）
教科書	『総合英語FACTBOOK:Standard』 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人，ポールマクベイ 桐原書店 その他，授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については，授業時に説明する。小テスト等のフィードバックはその都度，授業内に行う。状況により，遠隔授業に変更する場合がある。受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-17		
		●	●					
科目名	Speaking Skills I				単位認定者	ヒーブ ジョナサン		
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	
					授業形態	演習	授業時間数	30 時間
				評価の方法				授業内課題 (最終スピーチ)
								授業内課題 (その他)
							受講態度	25 %
授業の概要	<p>本科目の目的は、不特定多数の前でスピーチができるようになることである。まずPublic Speakingの種類とその特性を理解し、効果的なプレゼンテーションを行ううえで、必要不可欠な手法及び表現パターンを学修していく。スピーチやプレゼンテーションのモデルケースを参考に、ビジネスプレゼンテーションを含め学生自らが選んだ題材について、発表するスキルを養うことを企図する。</p>							
到達目標	<p>The students are expected to focus on using the tools they will gain during this course and use them to improve the way they produce and prepare speeches for public speaking.</p>							
学修者への期待等	<p>The students will be expected to discuss and learn English connected with a range of different topics, prepare and make speeches on these topics while taking feedback on board.</p>							
回	授業計画				準備学修			
1	Speech 1: Self Introductions; The IPA, Topic 1: Reading, dicussion, vocabulary work and group work.				Topic 1: Speech preparation (60 minutes)			
2	Speaking Task 1: Information gathering, Vowel articulation, Speech feedback and group work.				Topic 1: Edit speech (30 minutes)			
3	Speech 1: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.				Topic 2: Topic research (30 minutes)			
4	Speech 2: A person I admire; Consonant articulation, Topic 2: Reading, dicussion, vocabulary work and group work.				Topic 2: Speech preparation (60 minutes)			
5	Speaking Task 2: Skills and achievements, linking sounds, Speech feedback and group work.				Topic 2: Edit speech (30 minutes)			
6	Speech 2: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.				Topic 3: Preparation (30 minutes)			
7	Speech 3: A place of importance; silent or unspoken sounds, Topic 3: Reading, dicussion and group work.				Topic 3: Speech preparation (60 minutes)			
8	Speaking Task 3: Comparing destinations, Intonation, Speech feedback and group work.				Topic 3: Edit speech (30 minutes)			
9	Speech 3: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.				Topic 4: Preparation (30 minutes)			
10	Speech 4: Thinking of the future; Projection, Topic 4: Reading, dicussion, vocabulary work and group work.				Topic 4: Speech preparation (60 minutes)			
11	Speaking Task 4: Making plans, Using a thesaurus, Speech feedback and group work.				Topic 4: Edit speech (30 minutes)			
12	Speech 4: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.				Topic 5: Preparation (30 minutes)			
13	Speech 5: A career worth doing; Closing a speech Topic 5: Reading, dicussion, vocabulary work and group work.				Topic 5: Speech preparation (60 minutes)			
14	Speaking Task 5: What makes a good employee, Tempo, Speech feedback and group work.				Topic 5: Edit speech (30 minutes)			
15	Speech 5: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.				None			
教科書	None							
参考文献	None							
備考	Feedback will be on going.							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-18				
		●	●							
科目名	Speaking Skills II				単位認定者	マーチー サム		授業内課題 (小テスト)	30 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	プレゼンテーション	40 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	本科目はディベートやディスカッションに活用するスキルを学ぶものである。そのスキルとは、帰納的あるいは演繹的な議論上での差異を明らかにし、主張と論証の方法、先入観や事実や意見を明瞭化する手段である。講義では、多岐にわたるトピックの教材を使用する。学生のディベートやクリティカルシンキングの技術を高め、効果的なグループディスカッションやディベートを行うことができるようになる。									
到達目標	①学修者は場面と状況においてスピーキングの価値の変動を理解できる。 ②英語4技能とスピーキングの関連性を理解でき、その知識をスピーキングスキルの向上に活かせる。 ③1対1のスピーキングスキル、パブリック・スピーキングスキル、会話継続力、会話切り出し力等、様々な「スピーキングの場」を想定し、自分を上手く表現し、他者とのコミュニケーションが捗り、言葉による他者との絆の強化方法についての知識と実践ノウハウが身に付く。									
学修者への期待等	授業の話し合いに参加できるように、指示に従ってリーディング課題を終わらせる。授業について不明な点や質問があれば、放置せずすぐに確認すること。									
回	授業計画				準備学修					
1	①Semester Overview ② "Self-Disclosure Culture" (英語圏の自己開示の文化)				Read through the syllabus Review class notes (1 hour)					
2	①6 Key Parts Of A Memorable Self-Introduction ②Assembling A Self-Introduction				Read handout prior to class. Prepare Self-Introduction (2 hours)					
3	①Self-Introduction Presentation and Peer-Feedback				Practice Self-Introduction Answer Discussion Questions from Global Issues p.1~p.13 (2 hours)					
4	Exploring Global Issues ①A Changing World ②Water and Food				Answer Discussion Questions from Global Issues p.14~p.29 (2 hours)					
5	Exploring Global Issues ①The Environment ②Protecting Earth				Answer Discussion Questions from Global Issues p.30~p.40 (2 hours)					
6	Exploring Global Issues ①Health ②Human Rights				Answer Discussion Questions from Global Issues p.41~p.50 (2 hours)					
7	Exploring Global Issues ①Migration ②Technology				Answer Discussion Questions from Global Issues p.51~p.57 (2 hours)					
8	Exploring Global Issues Thinking Locally				Complete Assigned Reading and Questions from Unit 1 of Class Textbook (2 hours)					
9	Evaluating Technological Progress (科学技術の進歩の長所を話し合う)				Complete Assigned Reading and Questions from Unit 6 of Class Textbook (2 hours)					
10	Evaluating Ads and Commercials (宣伝・広告についてのディスカッション)				Complete Assigned Reading and Questions from Unit 8 of Class Textbook (2 hours)					
11	A Closer Look at Studying Abroad (海外留学, 長所, 短所, 問題)				Complete Assigned Reading and Questions from Unit 10 of Class Textbook (2 hours)					
12	Exploring High School Education (Group work, Pair work)				Write a brief paragraph highlighting your skills(能力), past achievements (過去の実績), and ambitions (自分の将来への希望内容) (2 hours)					
13	The Art of Subtle Self-Promotion, Network Building, and Maintaining Professional Connections				Prepare and Practice Final Speech (2 hours)					
14	Speech Presentation Group A (Listen to and give feedback to classmates speech)				Prepare and Practice Final Speech (2 hours)					
15	Speech Presentation Group B (Listen to and give feedback to classmates speech)				Review Semester Notes and Write Final Reflection Paper (2 hours)					
教科書	①Global Issues, Alex Raynham and Rachel Bladon, Oxford University Press ②The English Course Discussion Book 2, Gary Ireland & Max Woolerton, The English Company									
参考文献	『日本人はなぜ英語ができないか』, 鈴木考夫, 岩波新書									
備考	講義内の発表は、授業外課題のフィードバックは、口頭やメールで行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-06				
	●	●								
科目名	Extensive Reading				単位認定者	小松 義隆		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	<p>学生個人の英語レベルに応じて、各自が辞書を引かずに読める程度の易しい英語で書かれた本から読み始め、できるだけ多く読むことで、英文に慣れ、読む速度を上げ、多様な表現に触れ、語彙を広げることを目的とする。読み終えた本の語数を記録し、継続して多読の記録をつける。これに加え、多くの英語の本を読めた達成感を味わうことで、自分の英語力に関しての自信を高め、英語でのコミュニケーションを積極的に図れるようになることにつなげる。</p>									
到達目標	<p>多くの英語の本を読むことを通し英文読解に慣れ、止まることなく正確に読めるようになる。読解の過程を通し、主に読み物に現れる様々な表現や文体に慣れ、語彙を広げられるようになる。多読を行った結果として自分の英語読解力、語彙力への自信を高め、積極的に英語でコミュニケーションが図れるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>本科目は授業内はもちろんですが、授業外での個々の多読に取り組む姿勢が特に重要です。英文を読む際に抵抗がなくなるようにするために、日ごろから様々なジャンルの英語の文章を読み、意味を考える習慣をつけてください。また、新たに覚えた単語や表現等はできるだけ多読記録用ノートに記録を取るようしてください。学科で使用するXreadingによる多読は可能な限り取り組んでください。辞書は必携です。毎回の授業で読んだ内容に関してはReading Reportを提出してもらいます（形成的評価）。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	授業ガイダンスと「Extensive Reading」への導入					自分のレベルにあった多読用の本があれば選んでおくこと。見つからなければ当日図書館に選びに行っても良い。（概ね1時間）多読記録用ノートを準備する。				
2	Extensive Reading（多読の試みと解説）					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				
3	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 1）、多読教材：1冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				
4	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 2）、多読教材：2冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				
5	Extensive Readingの振り返り（多読の実践と記録、振り返り） Xreading実践（part 3）、多読教材：3冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認、全体での語彙の共有・確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで読み終えた本の冊数を記録し、内容と新しく覚えた表現の確認をする。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）				
6	Extensive Reading（英字新聞などの紹介、多読の実践と記録） Xreading実践（part 4）、多読教材：4冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				
7	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 5）、多読教材：5冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				
8	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 6）、多読教材：6冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				
9	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 7）、多読教材：7冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
10	Extensive Readingの振り返り（多読の実践と記録、振り返り） Xreading実践（part 8），多読教材：8冊目 多読記録用ノート，Xreading語数確認，全体での語彙の共有・確認	選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）
11	Extensive Reading（ネット上で利用できる英字新聞サイトの紹介，多読の実践と記録） Xreading実践（part 9），多読教材：9冊目 多読記録用ノート，Xreading語数確認	選択した本，英字新聞等の多読教材等を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
12	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 10），多読教材：10冊目 多読記録用ノート，Xreading語数確認	選択した本，英字新聞等の多読教材，ネット上で利用できる英字新聞サイトの記事を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
13	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 11），多読教材：11冊目 多読記録用ノート，Xreading語数確認	選択した本，英字新聞等の多読教材，ネット上で利用できる英字新聞サイトの記事を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
14	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 12），多読教材：12冊目 多読記録用ノート，Xreading語数確認	選択した本，英字新聞等の多読教材，ネット上で利用できる英字新聞サイトを読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
15	Extensive Readingの総括（これまでの読書記録と多読を通して獲得した知識の確認）	提出レポートの準備。これまでの読書記録を振り返り，読んだ本や記事の内容，及び自分の英語力の伸び（使えるようになった表現など）を確認する。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）
教科書	Xreadingを使用した多読，学生各自で自分の英語レベルにあった読み物を準備する。図書館の多読教材（Oxford Bookworm Library Level 1, 2程度等）を利用しても可。また授業内で必要に応じてプリントを配布する。	
参考文献	授業内で適宜紹介する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により，遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-09				
	●	●								
科目名	Chorus English				単位認定者	ジョーンズ ドミニク		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	コーラスイングリッシュは、ポピュラーソングを使用して、英語のスキル、特にリスニングとスピーキングの流暢さを向上させ、楽しくてやる気を起こさせる環境を作ります。さらに、学生は選択された曲が作成された文化のおよび社会的背景について学びます。1940年代から現在までのポピュラーソングは、時間の経過に伴い変化し、いくつかの曲は時代を超えても尚、人気があります。コースの中心となるのは、合唱で歌うことです。									
到達目標	英語の歌を注意深く聞いて歌うことで、発音とイントネーション、リズムが向上します。英語で歌うことはグループ活動であるため、プレッシャーなしに英語で表現することができます。グループ活動はまた、社会的結束と喜びを高めることができます。									
学修者への期待等	歌唱力は重要ではありませんが、歌唱に参加する意欲は必要です。									
回	授業計画				準備学修					
1	Selected Songs #1 #2 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
2	Selected Songs #3 Group A song#1 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
3	Selected Songs #4 Group B song#1 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
4	Selected Songs #5 Group C song#1 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
5	Selected Songs #6 Group D song#1 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
6	Group Singing Practice Selected Song#7				発表の準備予習 (概ね30分)					
7	Selected Songs #8 Group A song#2 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
8	Selected Songs #9 Group B song#2 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
9	Selected Songs #10 Group C song#2 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
10	Selected Songs #11 Group D song#2 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
11	Selected Songs #12 Group A song#3 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
12	Selected Songs #13 Group B song#3 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
13	Selected Songs #14 Group C song#3 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
14	Selected Songs #15 Group D song#3 Warm-up, group and pairwork activities, sing.				歌を聴く予習 (概ね20分)					
15	Group Singing Performance				発表の準備予習 (概ね1時間)					
教科書	なし									
参考文献	特になし									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する可能性がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●			

科目ナンバリング
CE-2-EAD-21

科目名	Vocabulary Building				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			

授業の概要
This elective course focuses on helping students improve and understand vocabulary words by examination of Greek and Latin bases of words, recognition of word parts such as prefixes and suffixes, and studying the etymological meanings of words.
The larger our vocabularies the more clearly we can communicate with others and understand what others are trying to communicate to us. Students taking this course will learn new vocabulary words by practicing reading in context, by writing sentences using the words and by doing practice exercise and quizzes.

到達目標
The aim of this course is to train students to be able to write the meanings of a sum of newly introduced words. Spelling these new words, using these new words in meaningful sentences will also be focused upon.

学修者への期待等
Students are expected to complete all the exercises before coming to class.

回	授業計画	準備学修
1	Unit 1. People and Places	Do exercises 1-1~1-10 (preparation time approximately one hour)
2	Unit 2. Singular, Plural, and Noncount Nouns	Do exercises 2-1~2-24 (preparation time approximately one hour)
3	Unit 3. Proper Nouns (Pairwork)	Do exercises 3-1~3-2 (preparation time approximately 20 minutes)
4	Unit 4. Possessive Nouns and Pronouns	Do exercises 4-1~4-4 (preparation time approximately 30 minutes)
5	Unit 5 Review of Singular, Plural, and Noncount Nouns (Pairwork)	Do exercises 5-1~5-2 (preparation time approximately 20 minutes)
6	Unit 6. Verbs Used as Nouns (Pairwork)	Do exercises 6-1~6-2 (preparation time approximately 20 minutes)
7	Unit 7. More Specific Nouns	Do exercises 7-1~7-18 (preparation time approximately one hour)
8	Unit 8. Making Descriptions	Do exercises 8-1~8-24 (preparation time approximately one hour)
9	Unit 9. Comparisons and Superlatives	Do exercises 9-1~9-16 (preparation time approximately one hour)
10	Unit 10. Verbs and Nouns Used as Adjectives	Do exercises 10-1~10-10 (preparation time approximately one hour)
11	Unit 11. Adjective Order (Pairwork)	Do exercises 11-1~11-2 (preparation time approximately 20 minutes)
12	Unit 12. The Verb <i>Be</i> (Pairwork)	Do exercises 12-1~12-6 (preparation time approximately 30 minutes)
13	Unit 13. Non- <i>To Be</i> Verbs	Do exercises 13-1~13-60 (preparation time approximately two hours)
14	Unit 14. Adverbs of Time, Place, and Frequency	Do exercises 14-1~14-10 (preparation time approximately one hour)
15	Unit 15. Adverbs of Manner	Do exercises 15-1~15-10 (preparation time approximately one hour)
教科書	Handouts will be distributed.	
参考文献		
備考	Regarding feedback to students, exercises will be corrected and returned.	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-12				
	●	●	●	●	●					
科目名	海外研修				単位認定者	ジョーンズ ドミニク 相田 明子		授業内課題 (レポート)	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題 (発表等)	60 %
						授業形態	実習		授業時間数	90 時間
						授業回数	集中			
授業の概要	英語圏での研修を通して、世界における英語の重要性を実感し、今後の英語学修のモチベーションとする。英語力の強化はもとより、異文化に直接触れ、異文化社会の中で生活することを通して、コミュニケーション能力を高め、また、課題を発見し、解決する力を身につけることを目的とする。 具体的には、現地の大学での語学研修に加え、現地の住民や他国の留学生などとの交流活動を行う。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語圏での学修やホームステイの経験を通して、英語の重要性や実用性を体感し、学修へのモチベーションを高めることができる。 課題に向き合い、周囲と協力しながら英語を使って問題を解決することが出来るようになる。 グローバルな視点を持って物事を考察することが出来るようになる。 									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ①海外研修の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②渡航の準備は各自で責任を持って進めること。 ③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し、欠席をしないこと。 ④短い研修期間を有意義に過ごすため、日本での準備をしっかりと行うこと。 ⑤現地での学修・生活の記録をつけ、実りある研修生活を送ることを期待する。 									
授業計画										
<p>1. 研修先・研修期間 4月ガイダンス時に説明する。</p> <p>2. 授業計画 現地校での英語学修と観光事情についての学修を学びの中心とする。</p> <p>(1) 事前学修 (学内)</p> <p>第1回 海外研修の目的 第2回 海外研修のための具体的な準備 第3回 海外研修の自己目標設定とグループ内発表</p> <p>(2) 海外研修 (12日間 現地にて)</p> <p>現地校での英語クラスに出席し、学修する。 ホストファミリーと交流し、異文化理解やコミュニケーション力の向上に努める。 現地での見学先や交流先での体験は、提示された課題にまとめる。</p> <p>(3) 事後学修 (学内)</p> <p>第4回 自己目標に対する研修の振り返り 報告書作成について 第5回 海外研修報告会</p> <p>3. 目標</p> <p>①英語圏での生活と学修により、自身の英語コミュニケーション力を体験的に理解し、今後の学修に活かす。 ②英語圏の人々との交流により、異文化コミュニケーションの楽しさを知る。</p> <p>【注意事項】</p> <p>① 学内実施の「事前学修」、「事後学修」の日程は、LMS等で連絡する。 ② 現地での研修期間中に個人的な事由により現地授業や視察に出席できなかった場合、原則として単位認定を行わない。 ③ 渡航前に現地研修が何らかの事情により中止に至った場合、事前学修が行われていても、単位認定を行わない。</p>										
教科書	資料は授業で配布する。									
参考文献	事前研修等で指示する。									
備考	新型コロナウイルスの感染状況等により、開講しないことがあります。課題は事前・事後研修内でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-01		
			●		●			
科目名	ビジネスプロトコール				単位認定者	加藤 雅子		試験(筆記) 80 % 授業態度 20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	<p>ビジネスシーンをはじめとする国際的な交流の場面では、歴史、文化、言語などの違いから、誤解が生ずることもある。無用の誤解を避け、相互理解を促し、円滑な国際交流を行うための共通認識であるプロトコールについて、基礎的な知識や技能を身につける。</p> <p>また、プロトコールは絶対的な規則ではなく、時代、地域や国、会合の趣旨等によって柔軟に運用されるものであることも理解する。</p>							
到達目標	<p>「マナー」・「国際プロトコール」の意味・重要性を理解し、説明出来る状態になる。</p> <p>日本のビジネスにおける慣習と冠婚葬祭のしきたりについて理解し有効活用出来るようになる。</p>							
学修者への期待等	<p>全ての項目が普段の生活・社会生活で活かせるものです。積極的に受講し吸収すること。</p> <p>また、本講義の性質上、不適切な受講態度には厳しく対処するので、己を律して受講すること。</p>							
回	授業計画				準備学修			
1	マナーとは何か(マナー、エチケット、プロトコールのついてグループディスカッション)				テキスト序章「マナーとは何か」を読んでおく。テキスト1ページのワークをしておく。(概ね45分程度)			
2	マナーの歴史と意味				テキスト第1章「マナーの歴史と意味」を読んでおく。(概ね45分程度)			
3	国際人としてのプロトコール①(プロトコールの原則、具体的な席次例、社交の場でのコミュニケーション)				テキスト第2章1節「プロトコールの原則」～3節「社交の場でのコミュニケーション」を読んでおく。(概ね30分程度)			
4	国際人としてのプロトコール②(挨拶と紹介、外国人への贈り物、国旗の扱い)・自己紹介(グループワーク)				テキスト第2章4～6節「挨拶と紹介」～「国旗の扱い」を読んでおく。1分半程度の自己紹介の練習をしておく。(概ね45分程度)			
5	国際人としてのプロトコール③(礼拝の場でのマナー、異文化コミュニケーション)・異文化体験について(グループワーク)				テキスト第2章7「礼拝の場でのマナー」、8節「異文化コミュニケーション」を読んでおく。自分の異文化コミュニケーションの体験を書き出しておく。(概ね45分程度)			
6	社会人に必要なマナー①(第一印象の重要性)立居振舞い実践トレーニング、印象交換グループワーク				テキスト第3章1節1)「第一印象の重要性」、2)「印象を形成する主な要素」を読み、挨拶・表情の練習をしておく。(概ね50分程度) ※身嗜みを整えて授業に参加			
7	社会人に必要なマナー②(丁寧な言葉遣い、聴き方、話し方の基本) ※聴き方:ペアワーク、話し方:グループワーク				テキスト第3章1節2)⑥「丁寧な言葉遣い」～4)「話し方の基本」を読んで理解しておく。(概ね50分程度)			
8	社会人に必要なマナー③(礼装の基準、贈答、手紙)				テキスト第3章2～4節「礼装の基準」～「手紙のマナー」を読んでおく。(概ね45分程度)			
9	ビジネスシーンのマナー①(ビジネスマナーの必要性、社会人としての心構え)				テキスト第4章1節「ビジネスマナーの必要性」、2節「社会人としての心構え」を読んでおく。(概ね45分程度)			
10	ビジネスシーンのマナー②(名刺の扱い方、電話応対実践練習) ※ペアワーク、グループワーク				テキスト第4章3節「名刺交換」、4節「電話応対」を読み、実践に移せるように練習しておく。(概ね45分程度)			
11	ビジネスシーンのマナー③(来客応対、ビジネス文書) ※来客応対1連の流れ実践練習:グループワーク				テキスト第4章6「来客応対」、7節「ビジネス文書」を読んでおく(概ね45分程度)。来客応対については、実践に移せるように練習しておく。復習でビジネス文書を作成する。(概ね45分)			
12	食事のマナー(箸使い、食器の取り扱い実践練習)				テキスト第5章「食事のマナー」を読んでおく。箸使いを確認しておく。(概ね45分程度) ※実践練習用の箸を持参			
13	お酒のマナー				テキスト第6章「お酒のマナー」を読んでおく。(概ね45分程度)			
14	「冠」「婚」「葬」のしきたりとマナー				テキスト第7～9章の「冠」「婚」「葬」のしきたりを読んで予習しておく。(概ね60分程度)			
15	「祭」のしきたり ※グループワーク及び発表 全体の復習及び重点項目の確認				テキスト第10章の「祭」のしきたりを読んで、予習しておく。これまでの講義全体を振り返り、内容を明確にしておく。(概ね60分程度)			
教科書	『マナー&プロトコールの基礎知識(第6版第1刷)』NPO法人日本マナー・プロトコール協会							
参考文献	『最新版「さすが!」といわせる大人のマナー講座』日本マナー・プロトコール協会著 PHP研究所							
備考	本科目の内容は「マナー・プロトコール検定2級・3級」に繋がる。業内課題については、提出するワークシートにコメントを記載し返却、全体には口頭でフィードバックする。							授
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								
<p>実務経験の概要:元大手航空会社国際線CA、CA教官。2016年G7語学ボランティアマナー研修担当。東京2020大会向け「チーム宮城おもてなし」パネラー等。</p> <p>実務経験と授業科目との関連性:実務経験を活かした講義内容を実施。実践・ケーススタディー等を通して、国際プロトコール及びビジネスマナーを身につけることを目指す。</p>								

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-06				
			●	●						
科目名	秘書実務				単位認定者	細川 久美子		試験(筆記)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	10 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
						授業回数	15 回			
授業の概要	秘書に求められる知識・技能について理解し業務遂行能力を養い、気配り、機転などの秘書的センスを実践的に学ぶことにより実務能力が身につく。 本科目は、秘書の業務に限らず幅広い職種での対応力に生かすことが期待できる。									
到達目標	秘書の役割や業務を学ぶことにより、次の事柄について修得することを目標とする。 ①組織人として求められる資質と基本的な仕事の処理の仕方を理解する。 ②人間関係をわきまえた立ち居振る舞いを理解し、相手の立場に立った言動や感じの良い印象を与える所作を実践できるようにする。									
学修者への期待等	受講に際し、講義の妨げになる遅刻、忘れ物、言動などには十分注意して臨んでください。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の進め方・評価について 秘書の定義と必要とされる人柄と資質				【事前】「秘書に求められる資質」について、テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度)					
2	秘書の職務について				【事前】「職務知識」について、テキスト該当部分を熟読しておく。また、秘書の人柄が補佐役としてどのように影響すると思うか自身の考えをまとめて授業に臨む。(60分程度)。					
3	秘書として必要な一般知識について (企業と経営組織、人事・労務管理)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】新聞やWEBなどから、企業と経営組織、人事・労務管理に関する記事や情報をまとめる。(30分程度)					
4	秘書として必要な一般知識について (マーケティング、会計・財務)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】新聞やWEBなどから、マーケティング、会計・財務に関する記事や情報をまとめる。(30分程度)					
5	秘書として必要な一般知識について (金融と経営法務)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】新聞やWEBなどから、金融や法務に関する記事や情報をまとめる。(30分程度)					
6	マナーと接遇について (人間関係と言葉遣い)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】学校、アルバイト先など、身近な環境においての人間関係と言葉遣いについて、授業で触れたことを意識しながら生活を送る。					
7	マナーと接遇について (受付・取次、来客対応)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】受付・取次、来客対応についての課題に取り組む。(30分程度)					
8	マナーと接遇について (電話応対)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】電話応対についての課題に取り組む。(30分程度)					
9	マナーと接遇について (慶弔業務、贈答)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】慶弔業務、贈答についての課題に取り組む。(30分程度)					
10	身につけておくべき技能について (会議、ビジネス文書)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】会議、ビジネス文書についての課題に取り組む。(30分程度)					
11	身につけておくべき技能について (社内文書と社外文書)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】社内・社外文書作成課題に取り組む。(30分程度)					
12	身につけておくべき技能について (郵便・秘文書の取り扱い)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事前】身の回りの郵便物にはどのようなものがあるか情報収集しまとめる。(30分程度)					
13	身につけておくべき技能について (ファイリング、名刺や資料の整理)				【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】ファイリング、名刺や資料整理についての課題に取り組む。(30分程度)					

回	授業計画	準備学修
14	身につけておくべき技能について (オフィス環境の整備)	【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】オフィスの環境整備, 総合問題演習の課題に取り組む。(30分程度)
15	学修のまとめ 実務へ向けて	【事後】まとめの課題を提出。(60分程度)
教科書	『秘書検定合格教本2・3級』新星出版社 (ISBN 978-4-405-03239-2)	
参考文献	『秘書検定実問題集 3級』実務技能検定協会編 早稲田教育出版 『秘書検定実問題集 2級』実務技能検定協会編 早稲田教育出版 『秘書検定実問題集 準1級』実務技能検定協会編 早稲田教育出版	
備考	1. 受講者の理解度等により, 講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 2. 本科目は秘書検定につながる。 3. 課題については, 講義内でフィードバックを行う。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

2011年より, 株式会社総務部門での実務を担当しつつ, 現在, 人事・教育サービス会社の取締役

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-05				
			●		●					
科目名	エアラインサービス				単位認定者	松崎陽子 小松義隆		評価の方法	試験(レポート)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題等	40 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
						授業回数	15 回			
授業の概要	本科目では、接客やサービス業界で求められるおもてなしの基本を学び、言葉遣いや立ち居振る舞いなど、社会人としてふさわしい行動を理解し、実践できるようになることを目標とする。 グランドスタッフ、キャビンアテンダントの業務など、エアライン業界に必要な知識やスキルを身につける。企業が求めるサービスマインドやコミュニケーション力を涵養する。									
到達目標	◇社会人にふさわしい行動を理解し、自ら考え行動することができる(言葉遣い/立ち居振る舞いなど) ◇社会人としての基本的な規律を順守できる ◇「おもてなし」の大切さを考え、日常生活でも接客を發揮することができる ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる ◇グランドスタッフの仕事を理解し、職種研究を深めることができる									
学修者への期待等	◇積極的な授業への参加 ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める ◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	マインドセット				【事前】HPでANAグループ企業情報を確認し、ANAについて各自イメージしておくこと(概ね1時間程度)				松崎陽子 宇野萌子	
2	印象力アップ I								松崎陽子 宇野萌子	
3	印象力アップ II								松崎陽子 宇野萌子	
4	ANAを知る～過去・現在・未来～								松崎陽子 宇野萌子	
5	ANA's Way				【事前】ANA's Wayについて調べておくこと(概ね1時間程度)				松崎陽子 宇野萌子	
6	言語化トレーニング								松崎陽子 宇野萌子	
7	キャリア I～自己分析～				【事前】ライフラインチャートを事前に記入しておくこと(概ね1時間程度)				松崎陽子 宇野萌子	
8	キャリア II～企業とのマッチング～				【事前】志望する企業情報を調べておくこと(概ね30分程度)				松崎陽子 宇野萌子	
9	チームビルディング I								松崎陽子 宇野萌子	
10	チームビルディング II								松崎陽子 宇野萌子	
11	表現力アップ								松崎陽子 宇野萌子	
12	ANAグランドスタッフの仕事を知る				【事前】グランドスタッフの具体的な業務内容を調べておく(概ね1時間程度)				松崎陽子 宇野萌子	
13	グランドスタッフの対応力～基礎編～								松崎陽子 宇野萌子	
14	グランドスタッフに求められるコミュニケーション力								松崎陽子 宇野萌子	
15	グランドスタッフの対応力～実践編～								松崎陽子 宇野萌子	
教科書	ANAエアラインスクールテキスト一式									
参考文献	『ANAの口ぐせ』『ANAの気づかい』『ANAの教え方』以上3冊 ANAビジネスソリューション・株式会社 KADOKAWA									
備考	1日目の講義の前にオリエンテーションがあります。希望者のみ、福島空港において1泊2日の実務研修を実施します(宿泊研修:担当 小松義隆)。 授業内で取り組んだ課題などのフィードバックに関しては、講義の中で解説を行います。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

この授業では次の経歴をもつ実務経験者を招聘し授業を実施する。2006年ANA(全日本空輸株式会社)に入社。客室乗務員として国内線、国際線に乗務。現在は、乗務を行なうと共に、ANAビジネスソリューション株式会社に在籍し、ANAエアラインスクールの講師と企画を担当。ANAではチームコーディネーターとして、班のメンバーの育成や評価に携わる他、客室センターの安全品質評価者として、安全文化の醸成、フライトに於ける安全品質 点検並びに品質の向上にも寄与した。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-07		
				●	●			
科目名	フランス語 I				単位認定者	野中 みどり		
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	評価の方法	小テスト	30 %
								提出物
				授業形態	演習			授業内の作業
							確認小テスト	20 %
授業の概要	本科目は、フランス語でコミュニケーションをとるための方法を学び練習することを目的とする。音に慣れるため母音に留意した発音を指導し、教科書に沿って自己表現の方法及び文法を学ぶ。グループワークによる練習を行い、内容の理解を図る。トレーニングとして、発音練習、動詞の活用、単語の小テスト、数字や表現の聞き取りチェックを実施する。さらに教科書とは別に、挨拶を始めとする日常表現を紹介し、表現とともに考え方や文化の違いにも着目する。							
到達目標	①学習：フランス語の発音と文法のルールを理解する。挨拶や日常表現を覚えフランスの文化や社会について知識を得る。 ②練習：モデル会話にならって自分を表現し、同様の相手の話を理解できる。練習問題に適切に答えることができる。 ③訓練：単語・動詞・数字の小テストで十分な点をとることができる。							
学修者への期待等	授業で指示された単語リストや動詞を覚えて小テストに臨み、それらを次回の会話で使えるように練習してください。授業内では積極的に発音・会話練習に参加し、授業後はモデル会話を復習して学んだ表現を毎回ノートにまとめてください。							
回	授業計画				準備学修			
1	0課(1) 学習：フランス語の特徴、アルファベと綴り字記号。グループワーク(以下練習)：アルファベを読む、名前を言う。トレーニング(以下訓練)：発音練習。				今までに触れたことのあるフランス語を思い出しておく。授業で指示されたクイズを解いておく。			
2	0課(2) 学習：発音のルール、綴り字記号。練習：発音規則に従って読む練習。訓練：発音と聞き取り。				学習した箇所をすべて発音して復習する、アルファベを復習して挨拶と名前を言えるように練習しておく(概ね2時間)。			
3	1課(1) 学習：モデル会話「自己紹介」、主語と動詞、名詞の性と数、数字0-10。練習：国籍を言う。訓練：語彙(国籍)、発音。				出てきた単語をすべて発音してルールを復習する、指示された宿題を解く、単語の意味を覚える(概ね2時間)。			
4	1課(2) 学習：モデル会話「自己紹介」、動詞の意味と活用。練習：身分を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。				1課を復習して練習問題を解く、数字1-10を発音練習する、動詞の活用を覚える(概ね2時間)。			
5	2課(1) 学習：モデル会話「住んでいる所」、er動詞、否定文。練習：話す言語を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、動詞を発音練習する、er動詞の活用を覚える(概ね2時間)。			
6	2課(2) 学習：モデル会話「話す言語・学んでいること」、定冠詞。練習：学科を言う。訓練：動詞の意味、発音、聞き取り。				2課を復習して練習問題を解く、様々なer動詞の意味を覚える、数字1-10を練習する(概ね2時間)。			
7	3課(1) 学習：モデル会話「家族」、不定冠詞、数字11-20。練習：家族について話す。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、動詞を発音練習する、avoirの活用を覚える(概ね2時間)。			
8	3課(2) 学習：モデル会話「年齢・好み」、否定のde、好みの表現。練習：好みを言う。訓練：語彙(趣味)、発音、聞き取り。				3課を復習して練習問題を解く、単語の意味を覚える(概ね2時間)。			
9	4課(1) 学習：モデル会話「食べる・飲む」、動詞の活用、部分冠詞。練習：飲食するものを言う。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、よく使う不規則動詞の活用を覚える(概ね2時間)。			
10	4課(2) 学習：モデル会話「～がある」、提示の表現、疑問詞。練習：提示する。訓練：語彙(飲食物)、発音、聞き取り。				4課を復習して練習問題を解く、単語の意味を覚える、数字1-20を練習する(概ね2時間)。			
11	5課(1) 学習：モデル会話「人や物を描写する」、形容詞、数字30-100。練習：性格を言う。訓練：発音、聞き取り。				練習問題を解く、形容詞を発音練習する(概ね2時間)。			
12	5課(2) 学習：モデル会話「どんな風か尋ねる」、所有形容詞、指示代名詞。練習：物を描写する。訓練：語彙、発音、聞き取り。				5課を復習して練習問題を解く。家族の名詞や形容詞の意味を覚える(概ね2時間)。			
13	6課(1) 学習：モデル会話「フランスへ行く」、動詞の活用と使い方。練習：行く国を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、allerとvenirの活用を覚える(概ね2時間)。			
14	6課(2) 学習：モデル会話「映画に行く」、定冠詞の縮約、疑問文。練習：行き先を告げる。訓練：語彙、発音、聞き取り。				練習問題を解く、行き先の語彙を覚える(概ね2時間)。			
15	表現と数字の確認小テスト実施。6課(3) 学習：モデル会話「誰々と来る」、疑問文のまとめ、強勢形。訓練：挨拶表現、発音、聞き取り。				6課を復習して練習問題を解く、確認小テストに向けて表現の復習をする(概ね2時間)。			
教科書	『やさしいサリュ(改訂版) Salut, tout facile!』田辺保子 他著、駿河台出版社、1800円、ISBN978-4-411-00835-0							
参考文献	仏和辞書(電子辞書も含む)。初回授業で簡単な案内を聞いた後、必要な場合は購入してください。							
備考	【小テスト】実施後に解答解説し、採点結果を次の回で返却する。関わる達成目標は③、評価の基準は解答の正確性100%。 【提出物および授業内の作業】添削して次の回で返却する。関わる達成目標は①②、評価の基準は解答の適切さ50%、理解度50%。 【確認小テスト】実施後に解答解説する。関わる達成目標は①③、評価の基準は解答の正確性100%。							

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-05				
			●	●						
科目名	キャリア形成演習 I				単位認定者	川出 裕佳		評価の方法	レポート(LMS)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
						授業回数	15 回			
授業の概要	「社会の動きの意識的な観察を行いどのような分野に関わり、どのように自身を活かしていくかをシミュレーションする」「働く意味について考え、学生各自が自らの将来をイメージできるようにする」ことから、職業意識を涵養していく。また、グループワークを通して、自己と他者の価値観の違いに気づき、他者を尊重しつつ、自分の意見や主張を論理的に話す力を養う。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画を立てられるようにする。									
到達目標	①自分自身を具体的に知ることで、変化の激しい社会の中で自分らしいキャリアを構築するための考え方を身につける。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージすることで職業意識を高める。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワーク等で自分の意見を自分の言葉で、積極的に対話することを期待します。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス, 大学生活とキャリア					グループワークを通じたブレインストーミングを行う。				
2	社会や企業の現状と課題, 国際比較からみた日本の労働現状					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
3	自分自身を知る I 発達理論からのアプローチ (1) ～価値観～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
4	自分自身を知る I 発達理論からのアプローチ (2) ～ライフラインチャート～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
5	自分自身を知る II 社会的アプローチ～ライフイベント(就職, 育児, 介護, 転職等)含む設計～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
6	「働くこと」-社会が求める人材像-					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
7	SDGsとキャリア～ジェンダー, 貧困・格差, 環境, パートナリシップ等～ (1) ～SDGsを理解し, 日本と海外の今を知る～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
8	SDGsとキャリア～ジェンダー, 貧困・格差, 環境, パートナリシップ等～ (2) ～キャリアにおいてSDGs項目から現状とこれからを考える～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
9	職業興味検査で社会の仕事を知り, 自分の興味関心を知る					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
10	現代のキャリアに役立つ「キャリア理論」					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
11	事例で考えるライフデザイン					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
12	労働者とセーフティーネット					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
13	キャリア形成と求められる基礎能力 (1) ～社会人基礎力～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
14	キャリア形成と求められる基礎能力 (2) ～自分の強みと弱み～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
15	キャリアプランの発表					各自, 作成したキャリアプランの発表				
教科書	特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。講義で随時配る資料はファイルしておくこと。									
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。									
備考	受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。レポートのテーマはLMSに掲載し採点后、返却。授業内課題については都度クラス内で共有しお互いにフィードバック等を行い、学びを深める。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)										
現在キャリア関係会社にて勤務。大企業, 中小企業等の民間, 行政で勤務等10年以上の実務経験を持つ。										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-06						
			●	●								
科目名	キャリア形成演習Ⅱ				単位認定者	加藤 雅子		評価の方法	試験（レポート）	50	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1		単位	授業内課題	30	%
					授業形態	演習	授業時間数		30	時間	授業態度	20
							授業回数		15	回		
授業の概要	業界研究，企業研究を实践，グループワークやディスカッション，プレゼンテーション，各分野の専門家による講義も導入していく。これにより現代社会の動向を捉え，全体性の中での仕事・学生自分の役割や価値への気づきを創っていく。既存の職業にこだわらず，キャリア形成に係る研究や他者とのディスカッションを通して，活躍の分野を切り拓くことにも観点が向き，学生それぞれに独自性や企画力が反映されたキャリアプランが作成される。											
到達目標	①将来やりたいこと，できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。											
学修者への期待	充実した学生生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため，グループワーク等では積極的に取り組み，よく考え，発言することを期待する（本講義は参加型授業）。自分を振り返る時間を持ち，将来のキャリア形成に繋げて欲しい。											
回	授業計画					準備学修						
1	働くとは，就職するとは ～就職活動の心構え～ グループワークで自分の考えを出し合う					※	前期既習内容を復習しておくこと。自分が働くイメージをより具体的にしておくこと。（概ね30分程度）					
2	就活マナー（第一印象の重要性，敬語と言葉遣い，電話応対），立ち居振る舞い実践練習						配布資料を読み，ポイントを押さえて練習しておくこと。（概ね30分程度）					
3	社会で必要となるコミュニケーションスキル（伝え方・聴き方フレームワーク実践：ペアワーク）						自己紹介を1分半で話せるように準備しておくこと。（概ね30分程度）					
4	新聞ワーク（グループディスカッション及び発表）						気になる新聞記事を読み，自分の考え・意見をまとめておくこと。（概ね30分程度）※授業中に別途案内する。					
5	自己理解① ～外的キャリア・内的キャリアを整理する～（自分史づくり：個人/グループワーク）						自分のこれまでの（小学生～現在）歴史を印象深いイベントや出来事と絡め自己の振り返りをしておくこと。（概ね30分程度）					
6	自己理解② ～環境と価値観を理解する～（個人/グループワーク）						自分の置かれている環境から得た価値観，興味・関心を考えておくこと。（概ね30分程度）					
7	人生100年時代を豊かに生きる（キャリアプラン，社会人基礎力，私のワークライフ：個人/グループワーク）						今後の生き方，自分のキャリアを具体的に考えておくこと。（概ね30分程度）					
8	職業理解（業界・職種・企業研究：個人/グループワーク）～現代社会の動向，社会情勢，経済から将来の職業を考える						自分の目指す業界・職種・企業について調べておくこと。※別途授業中に説明する。（概ね45分程度）					
9	就職活動の進め方（スケジュールの確認，合同企業説明会，インターンシップ）						自分の就活の進め方（スケジュール）を考えておくこと。（概ね30分程度）					
10	魅力ある応募書類の書き方（エントリーシート，履歴書）						自己分析を行い，強み，弱みを書き出してくること。裏付ける個性溢れる理由，エピソードを準備する。（概ね30分程度）					
11	就職体験報告会（先輩から就職活動体験談及び質疑応答） ※学生総合支援センター担当						先輩に聞きたいことを準備しておくこと。（概ね30分程度）					
12	面接マナー（面接の身嗜み，受け答え，名刺交換）実践						自分に合った面接の身嗜み（服装，メイク，髪型等）を研究しておくこと。（概ね30分程度）					
13	面接講座（面接の種類と実施の目的，面接のポイント），模擬面接実践（集団/個人）						面接で質問される内容を想定し，面接マナーも含め，受け答えの練習をしておくこと。（概ね45分程度）					
14	グループディスカッション（GDの目的と意義，GDのポイント，GD実践）※グループワーク						新聞・ニュース等からの情報に関し，自分の意見・考えを相手に伝える練習をしておくこと，（概ね45分）					
15	講座のまとめと総括：社会人とキャリア形成						これまでの総復習をしておくこと。（概ね30分程度）					
教科書	特に用いない。講義では，レジュメや資料を配布し，重要な文献についてはその都度紹介する。 講義で随時配る資料はファイルしておくこと。											
参考文献	『大学生のキャリアデザイントレーニング』晃洋書房，『未来を拓くキャリア・デザイン講座』中央経済社，他。											
備考	受講者の理解を促すために，講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になる場合は事前に連絡する。講義内での実践練習及び課題発表，模擬面接等では，口頭にてF/Bをし，レポート課題については，個々にコメントを記載して返却，及び講義内で口頭にて全体にF/B，情報共有を行う。											
※以下は該当者のみ記載する。												
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要，実務経験と授業科目との関連性）												
<ul style="list-style-type: none"> ・大手就職支援会社，教育会社にて大学生・高校生・中高年層の就職支援を行っている。 ・元大手航空会社で客室乗務員の教育を担当。 ・企業の採用人事担当者向けへのセミナーを担当。 												

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-02		
	●	●	●					
科目名	基礎ゼミ				単位認定者	備考参照		試験 (レポート) 50 % 授業内課題等 30 % 受講態度 20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	
						授業時間数	30 時間	
				授業形態	演習	授業回数	15 回	
授業の概要	<p>初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするため、大学生活への導入、大学教育の意義や目的を理解し、文章の読み方・書き方（文章表現力）など、基礎的なスキルを身につけ、大学生活の様々な場面で活用できるようになることを目標とする。</p> <p>また、批判的思考力を養い、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>							
到達目標	<p>学修についての自己管理ができ、計画的な学修を実行できるようになる。</p> <p>仲間を信頼し、協力して学修を遂行できるようになる。</p>							
学修者への期待等	<p>授業は合同実施の回とゼミ単位で実施の回があるため、掲示等をよく確認の上、授業に臨むこと。また、グループ活動では、他人任せにせず、皆で協力し、積極的に取り組むこと。</p>							
回	授業計画				準備学修		担当	
1	オンライン教材の利用について（LMS、Xreading、Quizlet、Zoomなど）※ノートパソコンを持参する。				（復習）オンライン教材のシステムに慣れ、利用する。（概ね1時間程度）		ジョーンズドミニク	
2	学修環境（図書館ガイド：図書館活用法、文献検索）と外部語学試験受験のススメ（資格奨学金）						スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
3	大学生活と学修環境について：ゼミ教員との面談				（復習）担当教員との面談の内容をまとめてください（概ね20分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
4	体と心の健康を保つために（保健室、学生相談室）				（復習）講話内容から考えたことをまとめてください（概ね20分程度）		保健室・学生相談室・小松義隆	
5	先輩から学ぶ				先輩への質問を準備しておいてください。（概ね30分程度）		小松義隆 相田明子	
6	ゲストスピーカーによる講演会① 先達に学ぶ				ゲストスピーカーへの質問を準備しておいてください。（概ね30分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク	
7	学外学修① 仙台空港研修				（予習）研修先の企画内容を理解しておいてください。（概ね20分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
8	ゲストスピーカーによる講演会② 多読のすすめ				ゲストスピーカーへの質問を準備しておいてください。（概ね30分程度）		相田明子	
9	プレゼンテーション①自己紹介、ブレインストーミング、相手に伝えるプレゼンテーションの工夫、（各ゼミ）				（予習）プレゼンテーションの練習をしてください。（概ね30分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
10	プレゼンテーション②内容の推敲と発表の準備、ゼミ教員からの助言（各ゼミ）				（復習）プレゼンテーションに必要な準備を進めてください。（概ね60分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
11	プレゼンテーション③ゼミ内発表会（各ゼミ）				（復習）ゼミメンバーへの評価をまとめてください。（概ね30分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
12	プレゼンテーション④合同発表会（全員）				（復習）全体プレゼンテーションの評価をまとめてください。（概ね30分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
13	学外学修②：見学地の訪問と現地学修（仙台ロイヤルパークホテル研修）				（予習）見学先について調べておいてください。（概ね30分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
14	学外学修③：見学後の考察で（仙台ロイヤルパークホテル研修）				（復習）学んだことをまとめてください。（概ね1時間程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
15	前期の総括。夏季休暇の過ごし方。後期の科目履修説明				（予習）夏季休暇中の予定を考えておいてください。（概ね30分程度）		スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
教科書	使用しない。							
参考文献	授業時に、適宜紹介する。							
備考	<p>単位認定者：スミス アンソニー、ジョーンズ ドミニク、小松 義隆、相田 明子</p> <p>第9回～11回はゼミ別にて実施する。授業内課題は返却時に指導、授業内での発表に対しては授業内でフィードバックを行う。ゲストスピーカー、学外学修先の都合により、実施順は入れ替わる場合がある。状況によって、遠隔授業になることがある。</p>							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-08					
	●	●									
科目名	TOEIC I				単位認定者	尾形 まゆみ		評価の方法	試験（筆記）	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	10
							授業回数		15 回		
授業の概要	<p>本科目は、リスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。英語力の評価として広く社会で利用されているTOEIC® Listening and Reading Test (TOEIC® L&R)の問題演習を通して、英語力の弱点や強みを理解し、効果的な学修方法を構築できるようになる。本科目を通して、TOEIC® L&Rのスコアアップへの意欲を高めていく。</p>										
到達目標	<p>学生は基礎的な英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことをTOEIC®公開テストで活用することができる。</p>										
学修者への期待等	<p>授業の予習復習を必ず行うこと。電子辞書を用意すること。各自で公式TOEIC®の試験（1・3・4・5・6・7・9・10・11・12月の年10回）の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。</p>										
回	授業計画					準備学修					
1	オリエンテーション, Unit1: Entertainment (Listening)					シラバスをよく読み、授業内容について理解しておく。（1時間） 映画や音楽などの娯楽に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
2	Unit1: Entertainment (Reading)					文法・映画や音楽などの娯楽に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
3	Unit2 :Personnel (Listening)					求人広告や社内人事に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
4	Unit2 :Personnel (Reading)					文法・求人広告や社内人事に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
5	Unit3: Office Work & Supplies (Listening)					オフィス業務や備品に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
6	Unit3: Office Work & Supplies (Reading)					文法・オフィス業務や備品に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
7	Unit4: Office Messages (Listening)					電話やEメールなどのオフィスメッセージに関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
8	Unit4: Office Messages (Reading)					文法・電話やEメールなどのオフィスメッセージに関するリーディングセクションの予習（1時間）					
9	Unit5: Eating Out (Listening)					ランチやパーティーなどの外食に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
10	Unit5: Eating Out (Reading)					文法・ランチやパーティーなどの外食に関する単語・長文リーディングセクションの予習（1時間）					
11	Unit6: Technology (Listening)					コンピューターなどの科学技術に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
12	Unit6: Technology (Reading)					文法・コンピューターなどの科学技術に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
13	Unit7: Research & Merchandise Development (Listening)					調査研究や商品開発に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
14	Unit7: Research & Merchandise Development (Reading)					文法・調査研究や商品開発に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
15	確認テスト					これまでの学習内容について重要点を確認し、確認テストを受ける準備をする。					
教科書	『SUCCESSFUL STEPS FOR THE TOEIC L&R TEST -New Edition-』（テーマ別TOEIC L&R TEST 総合演習）成美堂										
参考文献	必要に応じて講義中に適宜指示します。										
備考	<p>必ず毎回授業の学習箇所の問題に解答して授業に臨むこと。授業中に質問に答えられないと予習をしていないと見なされ、授業態度評価に影響します。毎回授業の初めに前Unitのリスニング復習テストを行うので、ダウンロードした音声聞いて復習しておくこと。シラバスの内容は学生の熟達度、受講生数、授業の進行状況により変更する場合がある。授業内課題はその都度、授業内にてフィードバックを行う。</p>										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地理理解力	CE-4-ESE-09				
	●	●								
科目名	STEP I				単位認定者	小松 義隆		試験(筆記)	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、専門基礎科目で学修しているリスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。授業では、実用英語技能検定の過去問題を活用し、特に語彙、文法、リーディングに関する学修を行う。反復練習を繰り返し、英語力を強化することにより、実用英語検定試験受験への意欲を高めていく。									
到達目標	授業中に取り組む英検対策問題演習を通し、目標級を合格するための英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことを実際の試験で活用することができる。									
学修者への期待等	英検2級の過去問題集を使用する。必ず対応箇所の予習復習を行うこと。特に予習時は実際の試験時に各問題に割り当てる目安の時間を意識しながら、辞書を使わずに解いてみることを。授業時は辞書などを必ず用意すること。各自で英検の試験の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。授業の進捗、進捗の度合いによっては上位級である準1級の過去問題にも挑戦する。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の導入 2021年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1~2)				テキストを購入し授業計画の内容を事前に行っておくこと (1時間程度)					
2	2021年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
3	2022年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1~2)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
4	2022年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
5	2022年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1~2)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
6	2022年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
7	まとめ				今までに学修したことを復習し、語彙や表現をまとめること。(1時間程度)					
8	2022年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1~2)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
9	2022年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
10	2023年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1~2)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
11	2023年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
12	2023年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1~2)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
13	2023年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
14	2021年度 第3回英検準1級過去問題演習① (問題1~2)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
15	2021年度 第3回英検準1級過去問題演習② (問題3A~3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
教科書	『2024年度版 英検 2級 過去6回全問題集』旺文社英検書 2023									
参考文献	『2024年度版 英検 準1級 過去6回全問題集』旺文社英検書 2023									
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 フィードバックは授業内にて解答解説時に行います。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

現代英語学科 2年生

(2023年度入学生)

- 教育課程（カリキュラムマップ）
- カリキュラムツリー
- 年間予定表
- シラバス

学修成果（到達目標）

- 【基礎力】**「話す」「聞く」「読む」「書く」の英語4技能を身につけ、英語コミュニケーション能力を高めることができる（CEFR - B1レベル程度）。
 - 身近な話題に関して対応できる英語力を身につけている。
 - 他者の考えを理解し、自分の考えを表現できる。
- 【実践力】**基礎力で培った英語コミュニケーション能力を基に、実用的英語運用能力を身につけ、自立した英語使用者として行動することができる。
 - 英語母語話者と臆せずコミュニケーションができる。
 - 多角的に物事を捉え、自分の考えを表現できる。
- 【人間関係力】**コミュニケーション能力、豊かな人間性及び基礎的なビジネス実務能力を身につけ、他者と良好な人間関係を築くことができる。
 - 社会や職場で必要なコミュニケーション能力を身につけている。
 - 基本的なプロトコルやビジネス実務能力を身につけ、実践することができる。
- 【生涯学習力】**生涯にわたり学び、成長し続けることができる。
 - 生涯にわたって課題を発見し、解決する力を身につけることができる。
 - グローバル社会において様々な変化に応じ、生涯を通じて自分を成長させることができる。
- 【地域理解力】**多様な社会・文化を理解することができる。
 - 自国の歴史・文化・社会・経済について理解し、異文化間コミュニケーションに役立てることができる。
 - 様々な地域の文化・社会を知り、それぞれの価値観に対応して調和と共生を積極的に図る。

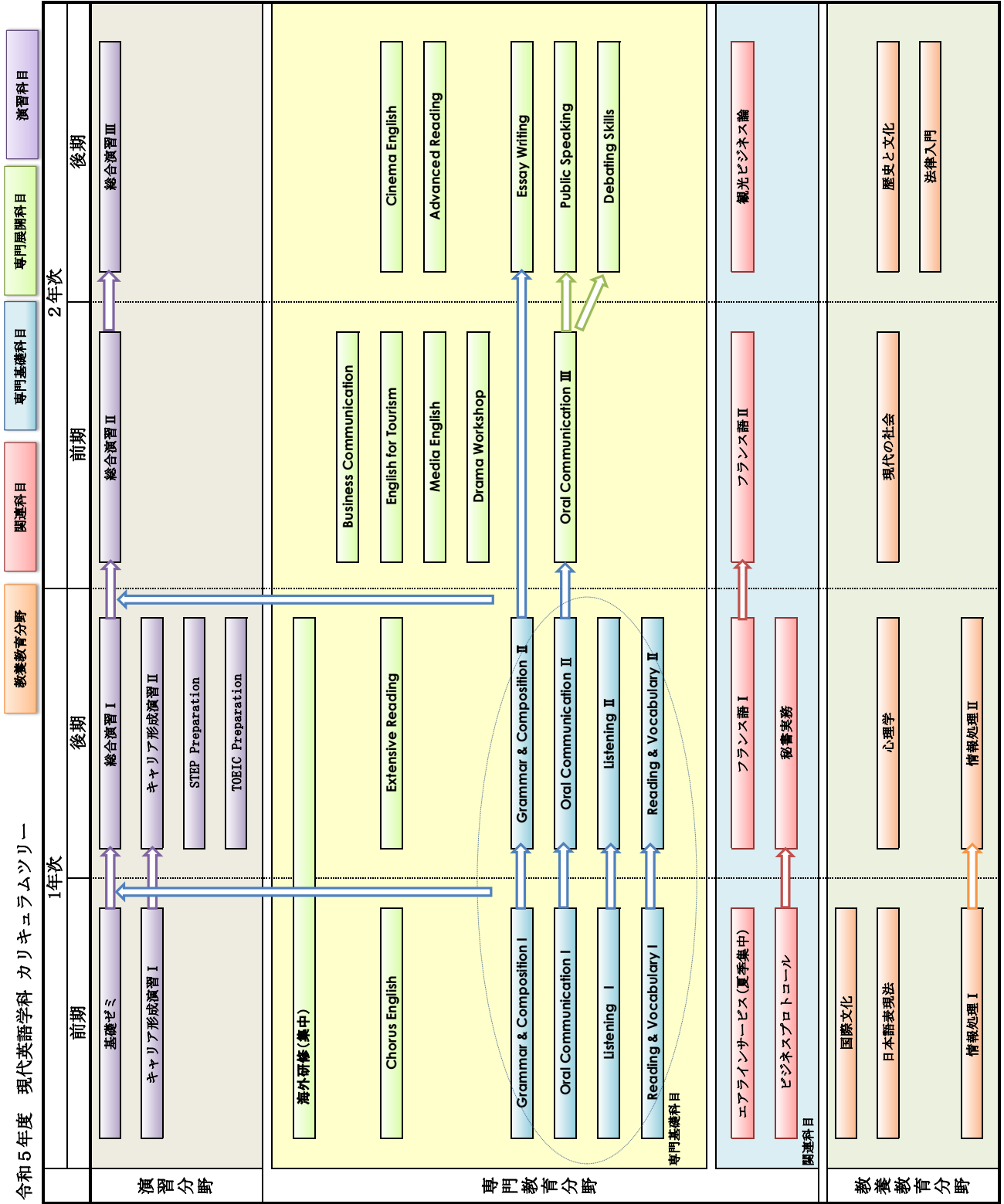
学修成果 : 1 基礎力 2 実践力 3 人間関係力 4 生涯学習力 5 地域理解力
学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。 ●は、各授業科目が学修成果の1~5のどれに当てはまるかを表すものです。

現代英語学科 カリキュラムマップ

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次・学修成果										必修	選択			
			1年					2年									
			前期	後期	学修成果					前期	後期	学修成果					
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○		●	●									1	
		国際文化	15	○		●			●							2	
		歴史と文化	15											●	●	2	
	人間と社会	心理学	15		○			●	●								2
		法律入門	15									○			●	2	
		現代の社会	15								○		●		●	2	
	人間と科学	情報処理 I	15	○			●	●								1	
		情報処理 II	15		○		●	●									1
	専門教育分野	専門基礎科目	Oral Communication I	30	○		●	●									2
Oral Communication II			30		○	●	●									2	
Listening I			30	○		●	●									2	
Listening II			30		○	●	●									2	
Reading & Vocabulary I			30	○		●	●									2	
Reading & Vocabulary II			30		○	●	●									2	
Grammar & Composition I			30	○		●	●									2	
Grammar & Composition II			30		○	●	●									2	
専門展開科目		Oral Communication III	30								○			●		●	2
		Business Communication	15								○			●	●		2
		Essay Writing	15								○	●					2
		Media English	15							○		●			●		2
		Public Speaking	15								○※	●	●				2
		Debating Skills	15								○※	●	●				2
		Extensive Reading	15		○	●	●										2
		Advanced Reading	15								○	●		●			2
		English for Tourism	15							○		●			●		2
		Chorus English	15	○		●	●										2
		Cinema English	15								○	●			●		2
		Drama Workshop	15							○		●			●		2
海外研修		集中		○	●	●	●	●	●							2	
関連科目		ビジネスプロトコル	15	○			●	●									2
		秘書実務	15		○		●	●									2
		観光ビジネス論	15								○		●		●		2
	エアラインサービス	15		○		●		●								2	
	フランス語 I	15		○			●	●								1	
	フランス語 II	15							○				●	●		1	
演習分野	演習科目	キャリア形成演習 I	15	○			●	●								1	
		キャリア形成演習 II	15		○		●	●								1	
		基礎ゼミ	15	○		●	●	●								1	
		総合演習 I	15		○	●	●	●	●							1	
		総合演習 II	15							○		●	●	●	●		1
		総合演習 III	15								○	●	●	●	●		1
		TOEIC Preparation	15		○	●	●						●	●	●	●	1
		STEP Preparation	15		○	●	●										1
総計（卒業要件62単位以上）												40	33				

※選択必修（Public Speaking / Debating Skills より、2単位以上必修）

令和5年度 現代英語学科 カリキュラムツリー



2024年度 現代英語学科2年生 年間予定表

前期

		日	月	火	水	木	金	土						
4月			1	2	3	4	オリエンテーション	5 1 2 限目健康診断	6					
	7	8	1	9	1	10	1	11	1	12	2	13		
	14	15	2	16	2	17	2	18	2	19	3	20		
	21	22	3	23	3	24	3	25	3	26	4	27		
	28	29		30						3		4		
5月	5	6		7	4	8	4	9	4	10	5	11		
	12	13	4	14	5	15	5	16	5	17	6	18		
	19	20	5	21	6	22	6	23	6	24	7	25		
	26	27	6	28	7	29	7	30	7	31	8	1		
6月	2	3	7	4	8	5	8	6	8	7	9	8		
	9	10	8	11	9	12	9	13	9	14	10	15		
	16	17	9	18	10	19	10	20	10	21	11	22		
	23	24	10	25	11	26	11	27	11	28	12	29		
	30	1	11	2	12	3	12	4	12	5	13	6		
7月	7	8	12	9	13	10	13	11	13	12	14	13		
	14	15		16	14	17	14	18	14	19	15	20		
	21	22	13	23	15	24	15	25	15	26	予備日	27		
	28	29	14	30	月15	31	定期試験	1	定期試験	2	追試	3		
8月	4	5		6		7	不合格発表	8		9		10		
	11	12		13		14		15		16		17		
	18	19		20	再試験	21		22		23		24	海外研修	
	25	海外研修	26	海外研修	27	海外研修	28	海外研修	29	海外研修	30	海外研修	31	海外研修
9月	1	海外研修	2	海外研修	3	海外研修	4	海外研修	5	海外研修	6	海外研修	7	海外研修
	8	海外研修	9		10		11		12		13		14	
	15		16		17	エアラインサービス	18	エアラインサービス	19	エアラインサービス	20	エアラインサービス	21	
	22		23		24	オリエンテーション 午後金曜授業	25	1	26	1	27	1	28	
	29		30	1										

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2024年度 現代英語学科2年生 年間予定表

後期

		日	月	火	水	木	金	土						
10月				1	1	2	2	3	2	4	2	5		
	6		7	2	8	2	9	3	10	3	11	3	12	
	13		14		15	3	16	4	17	4	18	4	19	
	20		21	3	22	4	23	5	24	5	25	5 午後準備	26	せいよう祭
	27		28	4	29	5	30	6	31	6	1	6	2	
11月	3		4		5	6	6	7	7	7	8	7	9	
	10		11	5	12	7	13	8	14	8	15	8	16	
	17		18	6	19	8	20	9	21	9	22	9	23	
	24		25	7	26	9	27	10	28	10	29	10	30	
12月	1		2	8	3	10	4	11	5	11	6	11	7	
	8		9	9	10	11	11	12	12	12	13	12	14	
	15		16	10	17	12	18	13	19	13	20	13	21	
	22		23	11	24		25		26		27		28	
	29		30		31		1		2		3		4	
1月	5		6	12	7	13	8	14	9	14	10	14	11	
	12		13		14	14	15	15	16	15	17	15	18	
	19		20	13	21	15	22	月14	23	月15	24	予備日	25	
	26		27	定期試験	28	定期試験	29	追試	30		31		1	
2月	2		3		4		5	不合格発表	6		7		8	
	9		10		11		12	再試験	13		14		15	
	16		17		18		19		20		21		22	
	23		24		25		26		27		28		1	
3月	2		3		4		5		6		7		8	
	9		10		11		12		13		14		15	
	16		17		18	卒業式	19		20		21		22	
	23		24		25		26		27		28		29	
	30		31											

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。
 ※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。
 ※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

■科目名称、開講時期の変更に伴う読替対応表（現代英語学科）

（2023年度以前に入学の学生適用）

2024年度入学生より、教育課程（カリキュラム）が変更になりましたが、2023年度以前に入学した学生は、入学時の教育課程（カリキュラム）に基づき履修します。

ただし、以下にご留意ください。

○2023年度以前に入学した学生が、2024年度以降に1年次科目を再履修する場合 → 下記読替表による対応となります。

○2023年度以前に入学した学生が、2025年度以降に2年次科目を再履修する場合 → 下記読替表による対応となります。

なお、不明な点は教員に相談してください。

※網掛け部分は変更なしの科目です。

2023年度以前に入学した学生の教育課程（カリキュラム）							2023年度以前に入学した学生が再履修する場合の読替科目										
科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数	読替対応 授業科目の名称	開講 対象年度	授業 回数	履修年次				単位数	シラ パス 頁数	備考
			1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期					必 修	選 択	自 由	1年 前期			
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○			1										
		国際文化	15	○			2	World Mythology	2025	15			○	2			科目名称・授業概要・配当時期（1年前期→2年前期）の変更
		歴史と文化	15			○	2										
	人間と社会	心理学	15		○		2										
		法律入門	15			○	2										
		現代の社会	15			○	2										
	人間と科学	情報処理Ⅰ	15	○			1	情報処理	2024	15	○			1			科目名称の変更
		情報処理Ⅱ	15		○		1	（科目廃止）									別途開講
	専門基礎科目	Oral CommunicationⅠ	30	○			2	Oral CommunicationⅠ	2024	15	○			1			単位数の変更 不足15回分別途開講し2単位とする
Oral CommunicationⅡ		30		○		2	Oral CommunicationⅡ	2024	15		○		1			単位数の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
ListeningⅠ		30	○			2	ListeningⅠ	2024	15	○			1			単位数の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
ListeningⅡ		30		○		2	ListeningⅡ	2024	15		○		1			単位数の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
Reading & VocabularyⅠ		30	○			2	ReadingⅠ	2024	15	○			1			科目名称・単位数の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
Reading & VocabularyⅡ		30		○		2	ReadingⅡ	2024	15		○		1			科目名称・単位数・授業概要の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
Grammar & CompositionⅠ		30	○			2	GrammarⅠ	2024	15	○			1			科目名称・単位数の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
Grammar & CompositionⅡ		30		○		2	GrammarⅡ	2024	15		○		1			科目名称・単位数・授業概要の変更 不足15回分別途開講し2単位とする	
専門展開科目	Oral CommunicationⅢ	30			○	2	Oral CommunicationⅢ	2025	15			○	2			不足15回分別途開講	
	Business Communication	15			○	2											
	Essay Writing	15			○	2											
	Media English	15			○	2	ReadingⅢ	2025	15			○	2			科目名称・授業概要の変更	
	Public Speaking	15			○	2	（科目廃止）									別途開講	
	Debating Skills	15			○	2	（科目廃止）									別途開講	
	Extensive Reading	15		○		2											
	Advanced Reading	15			○	2	ReadingⅣ	2025	15			○	2			科目名称、授業概要の変更	
	English for Tourism	15			○	2											
	Chorus English	15	○			2											
	Cinema English	15			○	2	ListeningⅢ	2025	15			○	2			科目名称、配当時期（2年後期→2年前期）の変更	
Drama Workshop	15			○	2	English through Plays	2025	15			○	2			科目名称の変更		
海外研修	集中	○			2												
関連科目	ビジネスプロトコール	15	○			2											
	秘書実務	15		○		2											
	観光ビジネス論	15			○	2											
	エアラインサービス	15		○		2											
	フランス語Ⅰ	15		○		1											
	フランス語Ⅱ	15			○	1											
演習分野	演習科目	キャリア形成演習Ⅰ	15	○			1										
		キャリア形成演習Ⅱ	15		○		1										
		基礎ゼミ	15	○			1										
		総合演習Ⅰ	15		○		1	（科目廃止）									別途開講
		総合演習Ⅱ	15			○	1	（科目廃止）									別途開講
		総合演習Ⅲ	15			○	1	（科目廃止）									別途開講
		TOEIC Preparation	15		○		1	TOEICⅠ	2024	15		○		1			科目名称の変更
		STEP Preparation	15		○		1	STEPⅠ	2024	15		○		1			科目名称の変更

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-03				
				●	●					
科目名	歴史と文化				単位認定者	小原 豊志		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は英語を専門とする学生たちが教養として知っておくべき「歴史と文化」をアメリカ史を中心に学ぶ授業である。とりわけ、アメリカ合衆国における人種と宗教に焦点をあて、白人性と福音主義の生成・発展過程を追跡することにより、現代における人種差別問題や反知性主義現象を理解することを目指す。授業の前半部は黒人(奴隷)問題の展開について、後半部はアメリカ独特のキリスト教の展開について視聴覚教材を用いつつ講義を行う。受講生には授業の感想を提出してもらったり、お互いに意見交換をしてもらったりして、双方向の授業を展開する。</p>									
到達目標	<p>世界に対して大きな影響力を有するアメリカ合衆国のさまざまな歴史事象において人種や宗教がいかなる役割を演じたかを理解する。また、これによって、現代世界における人種(民族)差別問題や宗教的原理主義に対する洞察力を身につける。</p>									
学修者への期待等	<p>授業を理解するために、毎回必ず出席してください。歴史的事象を理解するのみならず、その事象が現代の世界にどのような影響を与えているかを考えるよう心がけてください。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	現代アメリカの人種問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
2	「人種」とは何か				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
3	黒人奴隷制度とアメリカの独立				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
4	黒人奴隷制度とアメリカの発展				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
5	南北戦争への道				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
6	南北戦争と奴隷解放				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
7	奴隷解放後の黒人問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
8	公民権運動と黒人問題:1950年代の運動の特質				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
9	公民権運動と黒人問題:1960年代の運動の特質				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
10	公民権運動後の黒人問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
11	現代アメリカとキリスト教				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
12	植民地期のキリスト教—ピューリタニズムと「大覚醒」				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
13	独立革命とキリスト教				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
14	信仰復興運動とキリスト教原理主義				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
15	映画に見るキリスト教原理主義				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)					
教科書	教科書は使用せず、授業において資料を配布します。									
参考文献	授業時に適宜指示します。									
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。課題については授業でフィードバックを行い、レポートはコメントを付けて返却する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSO-04				
	●			●						
科目名	法律入門				単位認定者	鈴木 一樹		授業内課題（小テスト・提出物）等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。									
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	法律の種類と法律を学ぶ意味									
2	憲法（1）基本的人権 一平等権，精神的自由等一				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
3	憲法（2）基本的人権 一経済的自由，その他の人権一				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
4	憲法（3）人権総括，統治機構				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
5	民法（1）総則				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
6	民法（2）物権				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
7	民法（3）債権（契約等）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
8	民法（4）債権（不法行為）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
9	民法（5）親族・相続				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
10	刑法（1）総論				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
11	刑法（2）各論				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
12	会社法（1）総論，株式				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
13	会社法（2）機関，組織再編				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
14	消費者法				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
15	まとめ（小テスト）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。									
参考文献	適宜講義内で紹介する。									
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。講義内容は、進度に応じて変更する場合がある。各回の授業内課題については、その回で学んだことや印象に残ったことを記述したものとする（様式は特に問わない。LMSで提出とする）。また、授業内課題の評価については、この他第15回実施の小テストの結果も含むものとする。小テストの実施方法は後日連絡する。課題については、講義内でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として上場企業等の法定監査，税理士として税務業務に従事

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-03			
	●				●				
科目名	現代の社会				単位 認定者	劉 曉珩		試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	※筆記試験はマークシート（60%）と レポート（20%）を同時内に実施 ※詳細は備考欄を参照すること。
							授業時間数		30 時間
				授業形態	講義	授業回数			15 回
授業の概要	現代の日本が世界の中でどのような立場にあるか、初めに日本及び主な国の文化・思想・宗教ならびに近代の歴史を学ぶことから理解をする。そのうえで政治・経済の視点を軸にして現代の日本の様々な問題点について学修し、現代の社会を生きるために不可欠な基本知識を身につけ、社会生活において適切な選択や判断ができることを目指す。								
到達目標	取り上げるテーマは、いずれも社会人として当然備うるべき常識と考えられる事項である。社会生活自体はもちろんのこと就職活動における面接等でそれらについて問われた際に、概略と自身の考えを述べられるようになることを目標とする。								
学修者への 期待等	「自立した大人」になるための下地を作ってほしいという観点から、各人の専攻に関わらず社会人として当然知っておくべき事項を取り上げる。一般的な知識を修得し、良い職業人を目指すという意欲をもって受講してほしい。								
回	授業計画				準備学修				
1	「現代の社会」導入（現代世界概観とSDGs）				私たちを取り巻く現代社会の特徴を列挙し、「現代社会」とSDGsを学ぶ意味を考察すること。当日の確認テストに備えること。（30分程度）				
2	現代社会の誕生と特質（歴史的な出来事と現代社会のさまざまな側面）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
3	グローバリゼーションと国際問題・異文化理解				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
4	テクノロジーと社会（特にデジタル化、AIの影響）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
5	環境問題と持続可能な社会（特に脱炭素、循環型社会の形成）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
6	一般廃棄物リサイクルの課題と可能性（特にプラスチックごみ問題）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
7	現代の経済社会（特に経済格差と多様化、グローバル化する世界経済）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
8	消費者問題（消費者問題の歴史、消費者を保護するための法制度について）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
9	労働問題（働き方改革、労働格差、外国人労働者について） 附、レポート作成に当たって（説明）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
10	少子高齢化と国民の福祉（その原因と対策、社会保障の概要について）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
11	政治と民主主義（特に現代の政治システムと市民参加）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
12	社会的不平等と貧困問題				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
13	教育の役割と変化（教育制度の進化と教育格差）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
14	現代社会と人間（特に自己形成、社会と個人の関係）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
15	現代社会と将来（特にコロナ禍による課題とアフターコロナの世界） 附、レポート作成に当たって（最終）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）				
教科書	「2024小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus」第一学習社								
参考文献	必要に応じて授業中に提示する								
備考	試験は、同時内にマークシート解答（60%）とレポート作成（20%）を実施する。レポート作成の要領については講義内で説明するので集中して聞くこと。なお、持込一切不可である。受講態度は、確認テスト解答で判断するが、白紙など不誠実なものは減点或いは評価しない。（課題の解説は次回講義の際に講義内で行なう）。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-01				
		●			●					
科目名	Oral CommunicationⅢ				単位認定者	スミス アンソニー (Aクラス)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		60 時間	
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	「Oral CommunicationⅡ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長役を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。									
到達目標	身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に、英語でディベートできる力を身につける。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内に、毎回グループワークを行う。尚、Unit を終える度にReview Quiz を課す。									
回	授業計画				準備学修					
1	Unit 1. Working at a Convenience Store or a Restaurant? (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 1. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)					
2	Unit 1. Working at a Convenience Store or a Restaurant? (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					
3	Unit 2. Cash vs Credit Card — Advantages & Disadvantages (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 2. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)					
4	Unit 2. Cash vs Credit Card — Advantages & Disadvantages (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					
5	Unit 3. Volunteer Work (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 3. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。8概ね30分)					
6	Unit 3. Volunteer Work (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					
7	Unit 4. Stay-at-home Dads (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 4. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)					
8	Unit 4. Stay-at-home Dads (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					
9	Unit 5. Do You Want to be a YouTuber? (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 5. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)					
10	Unit 5. Do You Want to be a YouTuber? (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					
11	Unit 6. I Want a Driverless Car! (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 7. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。					
12	Unit 6. I Want a Driverless Car! (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					
13	Unit 7. Smartphone or Laptop? (Introducing the Topic, Listening, Q&A)				Unit 8. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)					
14	Unit 7. Smartphone or Laptop? (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)				Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)					

回	授業計画	準備学修
15	Unit 8. Online Dating (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 8. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
16	Unit 8. Online Dating (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
17	Unit 9. Being Famous — Advantages & Disadvantages (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 9. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
18	Unit 9. Being Famous — Advantages & Disadvantages (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
19	Unit 10. Hybrid Classes — The Way of the Future? (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 10. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
20	Unit 10. Hybrid Classes — The Way of the Future? (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
21	Unit 11. Working 4 Days a Week or 5 Days a Week? (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 11. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
22	Unit 11. Working 4 Days a Week or 5 Days a Week? (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
23	Unit 12. Married at 35 (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 12. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
24	Unit 12. Married at 35 (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
25	Unit 13. Cosmetic Surgery (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 14. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
26	Unit 13. Cosmetic Surgery (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
27	Unit 14. Good Bye SNS (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 14. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
28	Unit 14. Good Bye SNS (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
29	Unit 15. Working From Home — Advantages & Disadvantages (Introducing the Topic, Listening, Q&A)	Unit 15. Introducing the Topic, Listening, Q&A を予習する。(概ね30分)
30	Unit 15. Working From Home — Advantages & Disadvantages (Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice)	Vocabulary, Dialog 1&2, Discussion Practice を予習する。(概ね30分)
教科書	『What Do You Think? 15 Topics for Discussion & Conversation』 Alan Bossaer (南雲堂)	
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。	
備考	クラス分けで実施する。状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

科目ナンバリング
CE-2-EAD-01

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●			●

科目名	Oral CommunicationⅢ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク (Bクラス)		評価の 方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	
							授業回数		30 回	

授業の概要 「Oral CommunicationⅡ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長の役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。

到達目標 将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。

学修者への期待等 授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参してください。授業内でおこなうグループワークとディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実にを行うことが欠かせません。

回	授業計画	準備学修
1	ユニット 1 Introductions ① Self introductionsグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
2	ユニット 1 Introductions ② Formal introductionsグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
3	ユニット 1 Introductions ③ Introducing othersグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
4	ユニット 2 Starting Conversations ① Conversation openingsグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
5	ユニット 2 Starting Conversations ② Small talkグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
6	ユニット 2 Starting Conversations ③ Extending small talkグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
7	"Presentation 1" の準備をする。	発表の準備をしてくること。(概ね1時間)
8	"Presentation 1" のプレゼンテーションを行う。	
9	ユニット 3 Developing Conversations ① Asking questionsグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
10	ユニット 3 Developing Conversations ② Answering questionsグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
11	ユニット 3 Developing Conversations ③ Follow up questionsグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
12	ユニット 4 Making Invitations and Suggestions ① Making invitationsグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
13	ユニット 4 Making Invitations and Suggestions ② Respondingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)

回	授業計画	準備学修
14	ユニット 4 Making Invitations and Suggestions ③ Negotiatingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
15	ユニット 1~4 Review	ユニット 1~4の内容を復習してくること。 (概ね1時間程度)
16	ユニット 5 Likes, dislikes and feelings ① Expressing likes グループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
17	ユニット 5 Likes, dislikes and feelings ② Stating preferences グループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
18	ユニット 5 Likes, dislikes and feelings ③ Expressing emotions グループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
19	ユニット 6 Requests ① Asking for thingsグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
20	ユニット 6 Requests ② Offering thingsグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
21	ユニット 6 Requests ③ Accepting or refusingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
22	"Presentation 2" の準備をする。 グループワークと ディスカッション	発表の準備をしていくこと。(概ね1時間)
23	"Presentation 2" のプレゼンテーションを行う。 グループワークと ディスカッション	
24	ユニット 7 Opinions ① Askingグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
25	ユニット 7 Opinions ② Statingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
26	ユニット 7 Opinions ③ Agreeing or disagreeingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
27	ユニット 8 Advice ① Askingグループワーク	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
28	ユニット 8 Advice ② Givingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
29	ユニット 8 Advice ③ Respondingグループワークと ディスカッション	授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)
30	ユニット 5~8 Review	ユニット 5~8の内容を復習してくること。 (概ね1時間程度)
教科書	<i>The English Course Speaking Book 1</i> Gary Ireland, Kevin Murphy, Max Woollerton. The English Company	
参考文献	特になし	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング	
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-02	
		●	●				
科目名	Business Communication				単位認定者	相田 明子	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位
							授業時間数
				授業形態	演習	授業回数	
評価の方法	授業内課題 (小テスト)		50 %		授業内課題(単語テスト, レポート) 等		35 %
	発表内容		15 %				
授業の概要	<p>本科目では、基本的なビジネスの場に必要な丁寧な英語表現を学習し、実際のビジネスシーンで活用できるようになることを目的とする。</p> <p>具体的には、電話対応、アポイントメント調整、トラブル対応などの状況において、重要な用語や表現を学び、反復練習を通して、定着を図る。さらに、ロールプレイングを取り入れ、積極的に英語で会話することにより、ビジネスシーンにおける英語コミュニケーション能力を培っていく。</p>						
到達目標	グローバルなビジネスの現場において、取引先と適切なコミュニケーションが行えるようになる。その際に必要とされる会話やe-mailでのやりとりの作法を習得し、実践できるようになる。						
学修者への期待等	毎回の授業準備(提出課題や語彙復習等)を行うこと。また、電子辞書を持参し、授業中に単語を調べられるようにしておくこと。ロールプレイやグループワークを行う場面では、積極的な取り組みが期待される。単語テストや小テストは必ず受けること。						
回	授業計画				準備学修		
1	Unit 1 Introducing Yourself (同僚や取引先との初対面の際の挨拶について、ロールプレイ, e-mail作成)				シラバスやコース説明のプリントを熟読しておくこと。指定されたReading課題を行うこと。(1.5時間程度)		
2	Unit 2 Introducing Companies (他社に自社を紹介する方法を身に着ける。グループワーク) Useful Vocabulary ①				音声を聴き, "Reading"(The Oldest Companies in the World)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
3	Unit 3. Explaining Your Role (自分や自分の属すチームの業務内容を説明する。問題練習, 解説) 単語テスト①				音声を聴き, "Reading"(Crazy Job Titles)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。単語テストの準備。(1.5時間程度)		
4	Unit 4. Checking Information (聞き取れない・理解できない事柄を聞き直す。グループワーク, 問題練習, 解説)				音声を聴き, "Reading"(Features Versus Benefits)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
5	Unit 5 Checking Information (聞き取れなかった・理解できなかった情報をどのように確認するか。グループワーク) Useful Vocabulary ②				音声を聴き, "Reading"(The Importance of Asking Questions)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
6	Unit 6 Giving Your Opinion (自分の意見をはっきりと言う。プレゼンテーション) 単語テスト②				音声を聴き, "Reading"(Let's get Straight to the Point)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。単語テストの準備。(1.5時間程度)		
7	Unit 7 Making Request (相手の要求に応える, 自分の願いを告げる。問題練習, 解説) / Unit 1~7までの小テスト				音声を聴き, "Reading"(Saying No)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行を行う。Unit 1~7までの復習をする。(3時間程度)		
8	Unit 8 Asking Permission (許可を取る, 与える, 断るための表現。ロールプレイ) Useful Vocabulary ③				音声を聴き, "Reading"(What's GDPR?)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行を行う。(1.5時間程度)		
9	Unit 9 Making Invitations (招待をする, 断る, 受けるための表現を学ぶ。プレゼンテーション) 単語テスト③				音声を聴き, "Reading"(Taking a Guest to a Restaurant)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行を行う。単語テストの準備。(1.5時間程度)		
10	Unit 10 Making Appointments (会議の時間を調整する, 問題練習, 解説)				音声を聴き, "Reading"(Schedule a meeting)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
11	Unit 11 Cancelling and Rescheduling (会議の予定を立てる, キャンセルする。問題練習, 解説)				音声を聴き, "Reading"(How to schedule a meeting)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
12	Unit 12 Describing Locations (社内や街で場所を尋ねたり, 案内が出来るようになる。問題練習, 解説) Useful Vocabulary ④				音声を聴き, "Reading"(Apples's New "Spaceship Campus")を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
13	Unit 13 Looking after a Visitor (訪問者に対する対応。問題練習, 解説) 単語テスト④				音声を聴き, "Reading"(To give or not to give)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
14	Unit 14 Making a Phone Call (電話の応対とその後のe-mail。グループワーク, 問題練習, 解説)				音声を聴き, "Reading"(LINE)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)		
15	Unit 15 Taking Messages (電話で伝言を聞き, 伝えるための表現。問題練習, 解説) / Unit 8~15までの小テスト				音声を聴き, "Reading"(When to call and when to email)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。Unit8~15の復習をする。(3時間程度)		
教科書	『Go Global』Garry Pearson他 成美堂						
参考文献	授業中に適宜紹介する。						
備考	小テスト等のフィードバックは返却の際に行う。本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。また、状況により遠隔授業になる場合がある。						
※以下は該当者のみ記載する。							
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)							

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位認定者	小松 義隆 (Aクラス)		評価の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar & Composition II」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction, Body, Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。</p>									
到達目標	<p>1. WritingやReadingに必要な語彙知識を固め、Essayの読み書きに活用できる。 2. Essay Writingの基礎を学び、段落構成の整った300語以上の英作文ができるようになる 3. Essayの構造を知り、Reading能力を高め、効率的に英文が読めるようになる</p>									
学修者への期待等	<p>辞書必携。 テキストは「日本文化の再発見」をテーマにしており、対外的に説明・紹介する機会も多い内容と考えられます。改めて日本文化について理解を深めるとともに、読者が読みやすい文章を構成する方法を学んでください。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の進め方・ルールについて。 Unit 1 The Story of Wagashi 1人称・2人称を使わずに客観的に書く					Unit 1 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
2	Unit 2 Architecture: Japanese Castles 文の繋がりを意識する					Unit 2 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
3	Unit 3 Matsuri : Festivals in Japan ほぼ同じ意味を持つ別の表現を考えてみる					Unit 3 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
4	Unit 4 Japanese Corporate Culture Paragraphの基本構造を理解する					Unit 4 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
5	Unit 5 Examination War Topic SentenceからSupporting Sentences					Unit 5 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
6	Unit 6 Uniqueness of Japanese Trains Supporting SentencesからSupports					Unit 6 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
7	Unit 7 The Key to Long Life 本論の展開方法を覚える1：理由や根拠					Unit 7 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
8	Unit 8 Distinct Style or Neglect of Identity 本論の展開方法を覚える2：時系列					Unit 8 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
9	Unit 9 Drinking Rituals 本論の展開方法を覚える3：意見の並列					Unit 9 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
10	学修成果の確認（TOEIC IP受験）					TOEICの問題形式を確認し、必要な準備を行う（概ね1時間程度）。				
11	Unit 10 Traditional Crafts in Japan 序論・本論・結論の役割					Unit 10 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
12	Unit 11 Home Video Game Consoles from Japan 結論を書いてみる					Unit 11 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
13	Unit 12 Onsen Hot Springs 序論を書いてみる					Unit 12 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
14	Unit 13 Folktales: Sensitivity to Thing and Nature 集めた資料からアウトラインを作る					Unit 13 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
15	Unit 14 Mythologies and Legends: Sence of Time アウトラインに沿って下書きをしてみる					Unit 14 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				

教科書	『Writing Skills for Readers～日本文化の再発見から学ぶエッセイの書き方・読み方～』, 日本英語表現学会テキスト研究部会, 2021 南雲堂
参考文献	授業時に適宜指示する。
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位認定者	小松 義隆 (Bクラス)		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar & Composition II」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction, Body, Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。</p>									
到達目標	<p>1. Paragraph Writingの基礎〔書式(format), 構造(structure), 表現(expression)]をしっかりと身につける。 2. 英語の論理構成(logic)と展開法(organization)にのっりの確に自分の考えを伝えることができる。 3. 論理的な議論の展開(場合によっては日本語のそれとは違った)方法の基礎を学べる。</p>									
学修者への期待等	<p>辞書必携。 テキストはアンケートやブレインストーミング形式の問題に答えて、各Unitで扱うトピックについての知識や考えを整理する形式です。意見交換でトピックに関する考えを深め、様々な考えや情報を書き出すことにより実際に書く際の材料にしてください。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の進め方・ルールについて。 Unit 1 Paragraphの構造				Unit 1 P. 9～14まで予習しておく(概ね1時間)					
2	Unit 2 Topic Sentenceとは				Unit 2 P. 15～20まで予習しておく(概ね1時間)					
3	Unit 3 Supporting Sentenceとは				Unit 3 P. 21～26まで予習しておく(概ね1時間)					
4	Unit 4 Concluding Sentenceとは				Unit 4 P. 27～32まで予習しておく(概ね1時間)					
5	Unit 5 人や物について説明してみよう (Listening/Examples)				Unit 5 P. 33～38まで予習しておく(概ね1時間)					
6	Unit 6 まちの歴史や未来について考えてみよう (Time Order)				Unit 6 P. 39～44まで予習しておく(概ね1時間)					
7	Unit 7 食べ物を分類してみよう (Classification)				Unit 7 P. 45～50まで予習しておく(概ね1時間)					
8	Unit 8 二つの国の類似点と相違点について考えてみよう (Comparison & Contrast)				Unit 8 P. 51～56まで予習しておく(概ね1時間)					
9	Unit 9 社会の変化について書いてみよう (Cause & Effect)				Unit 9 P. 57～62まで予習しておく(概ね1時間)					
10	後期の学修成果確認 (TOEIC IP受験)				TOEIC IPの形式について確認しておく(概ね30分程度)					
11	Unit 10 社会課題の解決策を考えてみよう (Problem-Solution)				Unit 10 P. 63～68まで予習しておく(概ね1時間)					
12	Unit 11 ParagraphからPresentationへ1 (Introduction)				Unit 11 P. 69～74まで予習しておく(概ね1時間)					
13	Unit 12 ParagraphからPresentationへ2 (Body)				Unit 12 P. 75～80まで予習しておく(概ね1時間)					
14	Unit 13 ParagraphからPresentationへ3 (Conclusion)				Unit 13 P. 81～86まで予習しておく(概ね1時間)					
15	Unit 14 Evaluation				Unit 14 P. 87～91まで予習しておく(概ね1時間)					
教科書	『Message Delivered <Intermediate>』レオニード・ヨッフエ, 西村 厚子他 2020 南雲堂									
参考文献	授業時に適宜指示する。									
備考	<p>内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題(各回の訳等)はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。</p>									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-03				
		●			●					
科目名	Media English				単位認定者	小松 義隆		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は、英語ニュースや英字新聞などを題材として、時事問題に関する英語語彙、英語表現の獲得を目的とする。メディア英語に特有の文法事項、表現や略語等についても学ぶ。</p> <p>題材としては、BBCやCNNなどの実際のニュース映像を用い、語彙や表現を身につけるだけではなく、リスニングスキルの向上を図っていく。世界の最新ニュースへの関心を高めることも付随した目標である。これに加え、学生が興味をもつニュースや話題なども取り上げていき、選んだ題材を様々な形式で発表することで、学びを深めていく。</p>									
到達目標	<p>米有力紙The Wallstreet Journal中で世界へ「いま一番新しい日本」をレポートしている連載記事Japan Real Timeを題材にメディアの中で使われる英語に親和し、同時にニュースへの関心を高めることが目標である。身近なトピックが英語でどのように伝えられているかを学び、語彙や表現の幅を広げる。</p>									
学修者への期待等	<p>授業にはテキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）を必ず持参すること。授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、トピックに関する周辺情報まで調べておくこと。適宜グループワークも行うので積極的に意見を述べること。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1 5 Things You Didn't know About Kawaii Kawaiiの美学					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
2	Unit 2 Uniqlo Finds Wealth of Data in Bangladesh Not-For-Profit Venture ユニクロが蓄積したお宝データ					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
3	Unit 3 When the B List Is Best 味が勝負のB級グルメ					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
4	Unit 4 Harverd Degree: The Political Economy of Kumamon くまモンの政治経済学					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
5	Unit 5 Saving Fukuoka's Street Food 福岡の屋台文化の歴史					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
6	Unit 6 A Japanese Artist Finds New Life A Year After the Quake ある芸術家の再生と「成長」					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
7	Unit 7 Fictional Japanese TV Banker Takes Double the Payback ドラマ『半沢直樹』ヒットの要因					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
8	Unit 8 As Sentiment Improves, Red Lipstick Back in Vogue 赤い口紅と景気の関係					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
9	Unit 9 Japan's Aging, Female Criminals? 女性受刑者の倍増と犯罪のグローバル化					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
10	Unit 10 Cult TV Travelogue Lets you Share Wednesday's Ride 『水曜どうでしょう』ロングヒットの秘密					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
11	Unit 11 Want to Cosplay? Then Lose That Sword コスプレを安全に楽しむ方法					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
12	Unit 12 Fukushima Watch: Who Wrote the New Anti-Nuke Novel? 反原発の新刊本を書いたのは誰？					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				
13	Unit 13 For Some, Scented Fablic Softeners No Laughing Matter 柔軟剤の流行と弊害					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
14	Unit 14 The 1964 Tokyo Olympics: A Turning Point for Japan オリンピックに見る日本のターニングポイント	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）
15	Unit 15 New for Valentine's Day in Japan: No Men バレンタインデーの新潮流	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）
教科書	『日本で起きている15のあらゆること』宮本文 2016 松柏社	
参考文献	授業内で随時指示	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-05			
		●	●						
科目名	Public Speaking				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		授業内課題	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数	30 時間	
							授業回数	15 回	
授業の概要	本科目の目的は、「Oral CommunicationⅢ」で培ったスピーキング力を活かし、不特定多数の前でスピーチができるようになることである。まずPublic Speakingの種類とその特性を理解し、効果的なプレゼンテーションを行ううえで、必要不可欠な手法及び表現パターンを学習していく。スピーチやプレゼンテーションのモデルケースを参考に、ビジネスプレゼンテーションを含め学生自らが選んだ題材について、発表するスキルを養うことを企図する。								
到達目標	英語でPublic Speakingを行うための効果的な方法を学びながら、様々なトピックに関する理解を深めるとともに英語能力の向上を目指す。								
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参します。授業内でおこなうグループワーク、朗読、ディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。								
回	授業計画				準備学修				
1	ユニット 1 Posture and Eye Contact グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
2	ユニット 1 Posture and Eye Contact 情報プレゼンテーション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
3	ユニット 2 Gestures グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
4	ユニット 2 Gestures レイアウトプレゼンテーション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
5	ユニット 3 Voice Inflection グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
6	ユニット 3 Voice Inflection デモンストレーションプレゼンテーション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
7	ユニット 4 Effective Visuals グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
8	ユニット 5 Explaining Visuals グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
9	ユニット 5 Explaining Visuals "Comparison of two different things" のプレゼンテーションを行う。				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
10	ユニット 6 The Introduction グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
11	ユニット 6 The Introduction Recitation of your presentation introduction グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
12	ユニット 7 The Body ペアワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
13	ユニット 7 The Body Recitation of your presentation body グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
14	ユニット 8 The Conclusion Recitation of your presentation conclusion				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)				
15	プレゼンテーションの発表				発表の準備 (概ね1時間)				
教科書	<i>Speaking of Speech Premium Edition</i> , Charles LeBeau National Geographic								
参考文献	特になし								
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	GE-2-EAD-13				
		●	●							
科目名	Debating Skills				単位認定者	ジョーンズ ドミニク		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	本科目はディベートやディスカッションに活用するスキルを学ぶものである。そのスキルとは、帰納的あるいは演繹的な議論上での差異を明らかにし、主張と論証の方法、先入観や事実や意見を明瞭化する手段である。講義では、多岐にわたるトピックの教材を使用する。学生のディベートやクリティカルシンキングの技術を高め、効果的なグループディスカッションやディベートを行うことができるようになる。									
到達目標	英語でDebatingを行うための効果的な方法を学びながら、様々なトピックに関する理解を深めるとともに英語能力の向上を目指す。									
学修者への期待等	積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望します。配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨む姿勢さらには積極的な取り組みを期待しています。意見を出し合い高めあうクラスになることを目指しています。									
回	授業計画				準備学修					
1	ユニット 1 Have An Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
2	ユニット 1 Have An Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
3	ユニット 2 Explaining Your Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
4	ユニット 2 Explaining Your Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
5	ユニット 3 Support Your Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
6	ユニット 3 Support Your Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
7	ミニディベートI: 個別のトピック				ディベートの準備: 概ね1時間					
8	ユニット 4 Organizing Your Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
9	ユニット 4 Organizing Your Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
10	ユニット 5 Refuting Explanations: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
11	ユニット 5 Refuting Explanations: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
12	ユニット 6 Challenging Supports: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
13	ユニット 6 Challenging Supports: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
14	ユニット 7 Organizing Your Refutation: Discover & Model グループワークとディスカッション				授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
15	ミニディベートII: 個別のトピック				ディベートの準備 (概ね1時間)					
教科書	Discover Debate. Charles LeBeau. Language Solutions									
参考文献	特になし									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する可能性がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-07					
		●		●							
科目名	Advanced Reading				単位 認定者	相田 明子		レポート (2回)	60	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の 方法	授業内発表・グ ループワーク成果	25	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	15
							授業回数		15 回		
授業の概要	英語圏で書かれた文学作品を通して、文化や文学世界への興味と関心を広めることを目的とする。学生にとって読みやすく馴染みがあると思われる文学作品を数点取り上げ、その作家の生きた時代や社会背景を学ぶ。原典または簡易版を利用して、内容を読解、鑑賞し、意見交換等を行う。それにより、文学作品の読み方や楽しみ方を学ぶ。内容理解の発展として、映像等の翻案作品を鑑賞し、作品の受容について考える。生涯にわたって読書を楽しむ姿勢を養う。										
到達目標	(1)英語圏の文学の代表的な作品について基礎知識を獲得し、その内容を理解する。 (2)英語圏の文学の代表的な作品と同時代の社会・文化との結びつきについて理解を深め、両者の関係性について理解する。 (3)文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。										
学修者への 期待等	英米文学の成立の歴史や文化背景を学んだうえで、同時代の作品を、辞書を用いて自力で精読してほしい。主体的な読みの経験が、英語力の向上につながることを期待する。また、文学作品を読み理解することは、英語学修にとってどのような意義があるのだろうか。自分なりの回答を模索しながら受講してほしい。										
回	授業計画				準備学修						
1	授業のイントロダクション (授業の進め方とルール) 英語圏の文学を学ぶ意義とは何だろう				本シラバスをよく読んでおく。						
2	「古英語」の時代と『ベオウルフ』：講義とテキストの読解、 グループワーク				英語の成立の歴史について調べてみる (概ね30分程度)						
3	「中世英語」の時代とチョーサー：講義とテキストの読解				中世英語について調べてみる (概ね30分程度)						
4	「近代初期英語」とルネサンス① 時代背景と英語の変遷：講 義				「ルネサンス」の語源・起源について調べてみる (概ね30分程 度)						
5	「近代初期英語」とルネサンス② 詩人たち (モア、スペン サー、シドニー)：講義とテキストの読解、グループワーク				指定された範囲のテキストを、辞書を使って読んでくる (概ね 40分程度)						
6	エリザベス朝と演劇① クリストファー・マーロウ：講義とテ キストの読解				エリザベス朝の成立について調べてみる (概ね30分程度)						
7	エリザベス朝と演劇② シェイクスピア「劇」と「英語」：講 義とテキストの読解				シェイクスピアについて調べてみる (概ね30分程度)						
8	王党派詩人～古代ローマ思想とcarpe diem：講義とテキストの 読解、グループワーク				古代ローマ思想について調べてみる (概ね30分程度)						
9	『ロビンソン・クルーソー』(1719)と『ガリバー旅行記』 (1726)：講義とテキストの読解				ダニエル・デフォーとジョナサン・スウィフトについて調べてみ る (概ね30分程度)						
10	ロマン派の時代～社会構造の変革と文学作品① 詩人たち (ブ レイク、ワーズワース)：講義とテキストの読解、グループ ワーク				ロマン派とはなんだろう、時代背景を調べてみる (概ね30分程 度)						
11	ロマン派の時代～社会構造の変革と文学作品② anonymousな女 性作家たち：講義とテキストの読解				ロマン派の時代の女性作家たちを調べてみる (概ね30分程度)						
12	ヴィクトリア朝の文学①大英帝国の繁栄と影― 科学・工学の発 展と「進化論」：講義				ヴィクトリア朝について調べてみる (概ね30分程度)						
13	ヴィクトリア朝の文学②小説 (デイケンズ、ブロンテ姉妹、ル イス・キャロル)：講義とテキストの読解				指定された範囲のテキストを、辞書を使って読んでくる (概ね 40分程度)						
14	児童文学の成り立ち (フェアリーテイル、マザーグース等)： 講義とテキストの読解、グループワーク				児童文学の起源について調べてみる (概ね30分程度)						
15	児童文学の発展 (ヴィクトリア朝の児童文学、絵本・挿絵につ いて) 講義とテキストの読解				英語の成立、時代背景と文学作品について、授業内容をふり かっしておく (概ね60分程度)						
教科書	使用しない										
参考文献	授業内で指示する										
備考	レポート課題は授業内で発表する。提出された課題はその都度フィードバックをする。状況により遠隔授業になる可能性がある。遅刻は授業開始10分以内までとする。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-08		
		●			●			
科目名	English for Tourism				単位認定者	尾形 まゆみ		評価の方法 授業内課題（プレゼンテーション） 60 % Vocabulary Quiz 30 % 受講態度 10 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	
					授業形態	演習	授業時間数	
							授業回数	
授業の概要	<p>本科目の目的は、近年増加の一途を辿っている訪日観光客に対応するための英語力及びコミュニケーション能力を培うことである。空港や駅、ホテル、商業施設など、観光・旅行などの現場で必要とされる英単語や英語表現を学ぶ。また、旅行時の病気・けが等に対応するための表現も学修する。</p> <p>特に、リスニング力とスピーキング力を向上させ、世界の様々な地域からの観光客に対応できることを企図する。観光案内等のロールプレイングも取り入れ、実践的に学修する。</p>							
到達目標	1. 観光に関する表現・語彙を理解し、コミュニケーションに活かすことができる。 2. 国内観光、海外観光に関する諸事情に関心を持ち、日々のニュース等から、自ら知識や興味の幅を広げることができる。							
学修者への期待等	指定教科書は必ず購入する（1回目の講義で指示）。指定課題は期日厳守で提出すること。受け身ではなく積極的に学修し、テキスト外の社会事象にも関心を持つことを期待する。学修成果の確認として、観光英語検定2級（3級）の受験を薦める。							
回	授業計画				準備学修			
1	授業の進め方(予習・復習)の確認 Unit 1(World Tourism)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
2	Unit 1 Professional Skills (Checking and Confirming Details)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション				15ページ Confirming Bookingのライティング課題を仕上げる(概ね30分程度)。			
3	Unit 2(Jobs in Tourism)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
4	Unit 2 Professional Skills (Covering Letters)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション							
5	Unit 3(Visitor Center)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
6	Unit 3 Professional Skills (Dealinig with Enquiries)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション				Case Studyを参考にしながら、Website Evaluationを仕上げる(概ね40分程度)。			
7	Unit 4(Package Tours)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
8	Unit 4 Professional Skills (City Tours)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション				Case Studyを参考にしながら、City Tourを仕上げ、発表するための準備をする(概ね60分程度)。			
9	Unit 5(Hotels)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
10	Unit 5 Professional Skills (Dealing with Complaints)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション							
11	Unit 6(Food & Beverage)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
12	Unit 6 Professional Skills (Meeting Customers' Needs)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション				Case Studyを参考にしながら、Menuの提案を仕上げる(概ね40分程度)。			
13	Unit 7(Nature Tourism)の学修: Listening, Speaking, Reading, Vocabulary				復習として範囲のVocabulary をQuizletを利用し、学修する(概ね40分程度)。			
14	Unit 7 Professional Skills (Structuring a Presentation)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション				Case Studyを参考にしながら、Nature Toursの提案を仕上げる(概ね40分程度)。			
15	プレゼンテーション				与えられたトピックについてパワーポイントスライドを用意し、英語で発表する準備をする(概ね5時間)。			
教科書	English for International Tourism Pre-Intermediate New Edition. Iwonna Dubicka & Margaret O'Keeffe. Pearson.							
参考文献	授業時に紹介する。							
備考	各回の単語学修にはQuizlet(アプリ)を使用する。提出課題は授業内あるいはLMS上でコメントする。受講生の理解度により、重点の置き方や順番を変えて実施する場合もある。状況により遠隔授業になる場合がある。							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-10					
		●			●						
科目名	Cinema English				単位認定者	スミス アンソニー		試験(筆記)	60	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2	単位	授業内課題	20	%
					授業形態		演習	授業回数	30	時間	受講態度
							15		回		
授業の概要	本科目の目的は、「映画英語」を通して、近現代の英語表現を理解することである。言葉は常に変化していくものであり、特に現代においては瞬く間に古い表現が変わっていく。その意味で「映画英語」は如実に時代を反映していると言える。はじめは字幕なしで、次は字幕ありで、聞き取れないところは何度も繰り返し流し、台詞を暗記に近い状態で覚え、その表現を自分のものにしていく。また、映画に描かれている文化背景についても、理解を深めることを目標とする。										
到達目標	自然な英語でのやりとりや表現を覚えると同時に、言語の背景となる文化や歴史への関心と理解を得る。さらに内容に関するディスカッションを行う。										
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書(言語の学修に辞書は必須)、ノート、ファイル(授業で渡されたプリント等を整理できるもの)を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。										
回	授業計画				準備学修						
1	映画「Roman Holiday」の概要について										
2	Unit 1. She Gets a Royal Welcome				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
3	Unit 2. Where Do You Live?				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
4	Unit 3. Is This the Elevator?(Pairwork and discussion)				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
5	Unit 4. Is This the Princess?				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
6	Unit 5. So I've Spent the Night Here with You?				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
7	Unit 6. It's Just What I Wanted				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
8	Unit 7. Today's Gonna Be a Holiday(Pairwork and discussion)				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
9	Unit 8. "The Mouth of Truth"				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
10	Unit 9. Hit Him Again, Smitty!				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
11	Unit 10. I Don't Know How to Say Goodbye				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
12	Unit 11. Is That a Shot, Joe?(Pairwork and discussion)				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
13	Unit 12. By All Means, Rome				語彙チェック問題(10分) 内容把握問題(10分) リスニング問題(10分) リーディング問題(20分) 概ね50分						
14	Unit 1 から Unit 6 までの内容に関する要約				要約作成(概ね30分)						
15	Unit 7 から Unit 12 までの内容に関する要約(Pairwork and discussion)				要約作成(概ね30分)						
教科書	『Roman Holiday: Shining and Natural English - New Edition』Mayumi Hamada/Hiromi Akimoto ●映画『ローマの休日』で学ぶ日常で使える英語表現・新装版●Nellie's PUBLISHING										
参考文献	必要に応じて授業内で指示する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-11				
		●			●					
科目名	Drama Workshop				単位認定者	スミス アンソニー		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	参加態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	感情導入をしながら芝居の台本を読む教授法(Emotional Reading Method)を用い、英語によるパフォーマンスを作成し、発信することを目的とする。パフォーマンスを作成する際には、聴衆を意識し、いかに伝えるかということを考えることが必要であり、コミュニケーションの学びを深めることとなる。併せて、人前で英語で演技をすることで、英語を話すことへの自信をつけることにもつながる。履修生全員で一つのパフォーマンスを作り上げることにより、チームで協力する姿勢も培う。									
到達目標	1. 英語演劇に取り組むことで、英語による表現力を鍛え、発表に足るパフォーマンスをすることができる。 2. 履修生全員で一つの作品を作り上げることで、チームで働く力、意思決定の方法を身につける。 3. 簡易版で作品を読解し、作品の背景を理解する。									
学修者への期待等	芝居の台本の内容を予習し、授業に臨むことを期待する。15回の授業終了時に、人前で発表することに備え、Emotional Readingを十分練習することが必要である。									
回	授業計画				準備学修					
1	"Shoplifter"の台本を読み、内容を理解する。				予習として、"Shoplifter"の内容を理解し、Group Discussion に備える。(概ね40分)					
2	複数のグループに分かれ、"Shoplifter"を読む。				予習として、"Shoplifter"の台本を読み直し、Group Discussion に備える。(概ね40分)。					
3	複数のグループに分かれ、"Shoplifter"のリハーサルを行う。				予習として、"Shoplifter"の台本を読み直し、舞台化するイメージを書き出してみる。(概ね40分)。					
4	複数のグループに分かれ、"Shoplifter"の最終リハーサルを行う。				予習として、The Weighing Machine"の台本を読み、内容を理解しておく。(概ね40分)					
5	"The Weighing Machine"の台本を読み、内容を理解する。				予習として、"The Weighing Machine"の内容を理解し、Group Discussionにそなえる。(概ね40分)					
6	複数のグループに分かれ、"The Weighing Machine"を読む。				予習として、"The Weighing Machine"の内容を理解し、Group Discussionにそなえる。(概ね40分)					
7	複数のグループに分かれ、"The Weighing Machine"のリハーサルを行う。				予習として、"The Weighing Machine"の台本を読み直し、舞台化するイメージを書き出してみる。(概ね40分)					
8	複数のグループに分かれ、"The Weighing Machine"の最終リハーサルを行う。				予習として、"First Prize"の内容を理解し、Group Discussionにそなえる。(概ね40分)					
9	複数のグループに分かれ、"First Prize"を読む。				予習として、"First Prize"の内容を読み直し、Group Discussionに備える。(概ね40分)					
10	複数のグループに分かれ、"First Prize"のリハーサルを行う。				予習として、"First Prize"の台本を読み直し、舞台化するイメージを書き出してみる。(概ね40分)					
11	複数のグループに分かれ、"First Prize"の最終リハーサルを行う。				予習として、"Fire at Sea"を読み、Group Discussionに備える。(概ね40分)					
12	複数のグループに分かれ、"Fire at Sea"を読む。				予習として、"Fire at Sea"の内容を理解し、Group Discussionに備える。(概ね40分)					
13	複数のグループに分かれ、"Fire at Sea"のリハーサルを行う。				予習として、舞台化するイメージを書き出してみる。(概ね40分)					
14	"Fire at Sea"の最終リハーサルを行う。									
15	グループに分かれ、発表を行う。									
教科書	台本については、全てHandoutsを配布する。									
参考文献	授業内で指示する。									
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。アクティビティが多いので、常に動きやすい服装で参加する。フィードバックとして、各パフォーマンスについてコメントをする。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-04				
			●		●					
科目名	観光ビジネス論				単位 認定者	成澤 広幸		試験（筆記）	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の 方法	授業内課題	30 %
	現代英語学科	選択	2年			授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。									
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。									
学修者への 期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。									
回	授業計画				準備学修					
1	観光ビジネスのマネジメント特性：TDRのマネジメント				TDRのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
2	観光ビジネスのイノベーション：楽天トラベル				旅行業における販売方法の進化について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
3	観光ビジネスのグローバル経営：H. I. S.				H. I. S. の海外戦略について理解しておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
4	観光のマーケティング：下関観光コンベンション協会				地域の観光マーケティングを事例に則して考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
5	観光とWebビジネス：エクスペディア				エクスペディアのマーケティングの特徴を理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
6	旅行業：J T B				J T B の業務内容の変遷について調べておいてください。予習：概ね30分。復習：概ね20分。					
7	宿泊業：星野リゾート				星野リゾートの方向性を調べておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
8	航空輸送業：ANA				レベニュー・マネジメントの例をANA以外でも調べておいておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。					
9	鉄道ビジネス：J R 九州				J R 九州の活躍の理由を考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
10	テーマパーク：ハウステンボス				なぜリピーターになるのかを考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
11	グローバル時代の地域観光インフラ：統合型リゾート（IR）				IRの必要性について考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
12	地域のインバウンド事業：九州オルレ				なぜ九州オルレが成功したか考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
13	観光地の集客イベント事業：長崎さるく				故郷で観光を軸とした地域おこしをすれば何が必要かを考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
14	地域ブランドの構築：宇都宮市				事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造				日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
教科書	特になし									
参考文献	高橋一夫その他『1からの観光事業論』碩学社。高橋一夫その他『1からの観光』碩学社。北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房。長谷政弘『観光ビジネス論』同友館。									
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。課題のフィードバックについては原則、次回の授業内にて行います。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-08			
科目名	フランス語Ⅱ				単位 認定者	野中 みどり		小テスト	30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	提出物	30 %
					後期	授業時間数	30 時間	授業内の作業	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回	確認小テスト	20 %
授業の概要	フランス語Ⅰに続き、フランス語でコミュニケーションを図るための学修を行う。既習の単語や表現を定着させ、さらに動詞や表現を増強する。教科書に沿い、自己表現の方法を学修し、グループワークで自由な練習を行い、内容の理解と応用を図る。トレーニングとして、発音練習、動詞の活用、単語の小テスト、数字や表現の聞き取りチェックを実施する。フランス語Ⅰと同様、日常表現を紹介し、平易な会話なら自発的に行うことを目指す。								
到達目標	①学習：フランス語の発音と文法のルールを理解する。挨拶や日常表現を覚えフランスの文化や社会について知識を得る。 ②練習：モデル会話にならって自分を表現し、同様の相手の話を理解できる。練習問題に適切に答えることができる。 ③訓練：単語・動詞・数字の小テストで十分な点をとることができる。								
学修者への期待等	授業で指示された単語リストや動詞を覚えて小テストに臨み、それらを次回の会話で使えるように練習してください。授業内では積極的に発音・会話練習に参加し、授業後はモデル会話を復習して学んだ表現を毎回ノートにまとめてください。								
回	授業計画				準備学修				
1	動詞の活用と数字の復習。7課(1) 学習：モデル会話「時刻の表現」、疑問詞quel。グループワーク(以下練習)：時刻を言う。トレーニング(以下訓練)：発音、聞き取り。				指示された課題を提出できるよう準備しておく(概ね2時間)。				
2	7課(2) 学習：モデル会話「何時に?」、ir動詞の活用。練習：いつかを尋ねる。訓練：語彙、発音、聞き取り。				練習問題を解く、活動の表現を覚える(概ね2時間)。				
3	7課(3) 学習：モデル会話「何を?」、疑問詞「何を」、faireの活用。練習：何を?を尋ねる。訓練：活用、発音、聞き取り。				7課を復習して練習問題を解く、ir型動詞の活用を覚える、数字を復習する(概ね2時間)。				
4	8課(1) 学習：モデル会話「予定・したいこと」、近接未来、allerの活用。練習：乗り物を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、動詞faireの活用を覚える(概ね2時間)。				
5	8課(2) 学習：モデル会話「終えたこと・できること」、近接過去、venirの活用。練習：やったことを言う。訓練：活用、聞き取り。				練習問題を解く、動詞allerの活用を復習する(概ね2時間)。				
6	8課(3) 学習：モデル会話「理由・痛い所を言う」、avoirを使った表現。練習：理由を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。				8課を復習して練習問題を解く、動詞venirの活用を覚える(概ね2時間)。				
7	9課(1) 学習：モデル会話「日常の行動」、代名動詞、指示形容詞。練習：行動を言う。訓練：語彙、発音、聞き取り。				練習問題を解く、体の部位を表す単語を覚える(概ね2時間)。				
8	9課(2) 学習：モデル会話「天気を言う」、非人称表現。練習：時の表現を使う。訓練：活用、発音、聞き取り。				9課を復習して練習問題を解く、代名動詞の活用を覚える(概ね2時間)。				
9	10課(1) 学習：モデル会話「場所を言う」、定冠詞の縮約。練習：位置を伝える。訓練：語彙、発音、聞き取り。				練習問題を解く、天気の表現を復習する(概ね2時間)。				
10	10課(2) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令形。練習：行き方を指示する。訓練：語彙、発音、聞き取り。				練習問題を解く、位置を表す単語を復習する(概ね2時間)。				
11	10課(3) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令を表す他の表現。練習：場所を示す。訓練：語彙、発音、聞き取り。				10課を復習して練習問題を解く、場所に関する名詞を覚える(概ね2時間)。				
12	11課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う1」、複合過去形1。練習：過去形を使う。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、動詞avoirの活用を復習する(概ね2時間)。				
13	11課(2) 学習：モデル会話「様々な否定表現」、否定表現、中性代名詞en。練習：代名詞enを使う。訓練：発音、聞き取り。				11課を復習して練習問題を解く、過去分詞の音と意味を覚える(概ね2時間)。				
14	12課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う2」、複合過去形2。練習：過去形を使う。訓練：活用、発音、聞き取り。				練習問題を解く、複合過去の活用を復習する(概ね2時間)。				
15	表現と数字の確認小テスト実施。12課(2) 学習：中性代名詞y。練習：代名詞yを使う。訓練：表現、発音、聞き取り。				12課を復習して練習問題を解く、確認テストに向けて表現の復習をする(概ね2時間)。				
教科書	『やさしいサリュ(改訂版) Salut, tout facile!』田辺保子 他著、駿河台出版社、1800円、ISBN978-4-411-00835-0								
参考文献	仏和辞書(電子辞書も含む)。授業で使い方の案内を聞いた後、必要な場合は購入してください。								
備考	【小テスト】実施後に解答解説し、採点結果を次の回で返却する。関わる達成目標は③、評価の基準は解答の正確性100%。 【提出物および授業内の作業】添削して次の回で返却する。関わる達成目標は①②、評価の基準は解答の適切さ50%、理解度50%。 【確認小テスト】実施後に解答解説する。関わる達成目標は①③、評価の基準は解答の正確性100%。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-04			
		●	●	●	●				
科目名	総合演習Ⅱ				単位認定者	スミス アンソニー		試験(レポート)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	授業内課題等	20 %
					授業形態	演習	授業時間数	30 時間	受講態度
							授業回数	15 回	
授業の概要	<p>本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。</p>								
到達目標	アメリカの歴史、および文化に対する基本的な知識を得る。								
学修者への期待等	配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。								
回	授業計画				準備学修				
1	The Age of Hate: Re-Uniting the United States				プリント “The Age of Hate: Re-Uniting the United States” について予習しておくこと。(概ね60分)				
2	"Go West Young Man, and Grow Up with the Country"				プリント “Go West Young Man, and Grow Up with the Country” について予習しておくこと。(概ね60分)				
3	Following the God of Fortune				プリント “Following the God of Fortune” について予習しておくこと。(概ね60分)				
4	A Problem with Indians(Pairwork and discussion)				プリント “A Problem with Indians” について予習しておくこと。(概ね60分)				
5	Freedom in a Changing World				プリント “Freedom in a Changing World” について予習しておくこと。(概ね60分)				
6	Yankee Ingenuity in Motion				プリント “Yankee Ingenuity in Motion” について予習しておくこと。(概ね60分)				
7	America, the World Power				プリント “America, the World Power” について予習しておくこと。(概ね60分)				
8	Woodrow Wilson and War(Pairwork and discussion)				プリント “Woodrow Wilson and War” について予習しておくこと。(概ね60分)				
9	From the Roaring Twenties…				プリント “From the Roaring Twenties…” について予習しておくこと。(概ね60分)				
10	…To the Depression in the 1930's				プリント “…To the Depression in the 1930's” について予習しておくこと。(概ね60分)				
11	Franklin Delano Roosevelt and the New Deal				プリント “Franklin Delano Roosevelt and the New Deal” について予習しておくこと。(概ね60分)				
12	"They've Bombed Pearl Harbor!"(Pairwork and discussion)				プリント “They've Bombed Pearl Harbor!” について予習しておくこと。(概ね60分)				
13	The Cold War				プリント “The Cold War” について予習しておくこと。(概ね60分)				
14	John F. Kennedy and the New Frontier				プリント “John F. Kennedy and the New Frontier” について予習しておくこと。(概ね60分)				
15	"We Shall Overcome!"(Pairwork and discussion)				プリント “We Shall Overcome!” について予習しておくこと。(概ね60分)				
教科書	プリント教材								
参考文献	授業内で適宜紹介する。								
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。								
※以下は該当者のみ記載する。									
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)									

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-04					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅱ				単位認定者	ジョーンズ ドミニク		評価の方法	授業内課題等	80	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20	%
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間				
						授業回数	15 回				
授業の概要	<p>本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。</p>										
到達目標	<p>思考、目標設定、コミュニケーション、問題解決のライフスキルを高め、基本的な知識と理解を深めることができる。</p>										
学修者への期待等	<p>積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望する。 配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。</p>										
回	授業計画					準備学修					
1	Personality types グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
2	Social styles グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
3	Personality types・Social stylesのプレゼンテーション					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
4	Interview questions グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
5	Interview answers グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
6	Interview questions・Interview answersのプレゼンテーション					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
7	Growth mindset グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
8	Extreme ownership グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
9	Growth mindset・Extreme ownershipのプレゼンテーション					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
10	Reflective listening グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
11	Communication strategies グループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
12	Reflective listening・Communication strategiesのプレゼンテーション					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
13	Brian chemicalsグループワーク					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
14	ゲストスピーカーになる					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分程度)					
15	Summaryのプレゼンテーション					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
教科書	適宜資料を配布する。										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	<p>本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する 場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。</p>										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-04			
		●	●	●	●				
科目名	総合演習Ⅱ				単位認定者	小松 義隆			
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	評価の方法	試験(レポート)	60	%
				授業形態	演習		授業内課題等	10	%
							授業回数	15	回
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。								
到達目標	作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。1作品翻訳することによる達成感と自信を感じることができる。								
学修者への期待等	本授業では「総合演習Ⅰ」で扱った英語文学作品より語彙レベルが高い作品をテキストとして使用し、作品が執筆された当時の周知的調査をしながら翻訳を行います。各回で各自が担当した範囲の内容の発表や担当箇所が出てきた興味深い語彙や、構文、周辺情報等を発表してもらいますので合わせてノートに書き留めてください。最終的にそれぞれに翻訳ノートを提出して頂きます。								
回	授業計画				準備学修				
1	本ゼミの目的進め方、ゼミグループメンバー確認、講読テキストの選択、読書翻訳計画の作成				テキストを各自購入しておき、簡単に目を通して読書翻訳計画を立てておいてください。(概ね1時間)				
2	作品講読と翻訳(1.A voyage to Lilliput中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
3	作品講読と翻訳(2.Life in Lilliput中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
4	作品講読と翻訳(3.Lilliput at war中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
5	作品講読と翻訳(4.Gulliver escapes from Lilliput中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
6	作品講読と翻訳(5.A voyage to Brobdingnag中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
7	作品講読と翻訳(6.Gulliver and his master中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
8	作品講読と翻訳(7.At the King's palace中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
9	作品講読と翻訳(8.More adventures in Brobdingnag中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
10	作品講読と翻訳(9.Gulliver escapes from Brobdingnag中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
11	作品講読と翻訳(10.The flying island of Laputa中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
12	作品講読と翻訳(11.Glubbudrib and Luggnagg中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
13	作品講読と翻訳(12.A voyage to the country of the Houyhnhnms中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)				
14	作品講読を通して得た情報や知識のまとめ、内容の要約・感想文作成と発表				これまでの精読と翻訳の振り返り、翻訳・単語表現ノートの振り返りとまとめ(概ね2時間)				
15	まとめと総合演習Ⅱ(後期)の内容について				提出用翻訳ノート、読後感の作成(概ね3時間)				
教科書	Oxford Bookworm Library Jonathan Swift <i>Gulliver's Travels</i> (Stage 4) Oxford University Press								
参考文献	『イギリス・アメリカ文学史 作家のこころ』福田昇八 南雲堂								
備考	辞書必携、逐次参照。状況により、遠隔授業になる場合があります。授業内課題(各回の訳等)はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-04				
		●	●	●	●					
科目名	総合演習Ⅱ				単位認定者	相田 明子		評価の方法	授業内課題等(発表内容・レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
				授業回数	15 回					
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。									
到達目標	1. 児童文学に関する基礎的知識について学び、作品を読解する際に活用することができる。 2. 英語で書かれた詩や小説を、辞書を用いて精密に読む(和訳する)ことができる。 3. 詩や小説を通して学ぶ異文化的な背景に興味を持ち、探求することができる。 すべての項目において、グループで相談しながら達成することができる。									
学修者への期待等	Roald DahlのCharie and the Chocolate Factory (1960) を精読します。 授業の準備として、辞書を用いたテキストの予習とグループによる作品解釈が求められます。また、声に出して英語を「読む」、作品から読み取れる歴史的な背景や文化・慣習を「調べる」、作品に関する挿絵や映像を「見る」ことによって、総合的に理解を深めます。準備学修も含め、積極的に楽しく学ぶ姿勢が求められます。									
回	授業計画				準備学修					
1	Introduction (1) 映画 Willy Wonka & The Chocolate Factory (1971) 鑑賞(前半)				(予習) 本シラバスをよく読み、授業内容を確認しておく。また、インターネットなどで検索し、作品の背景に関する情報を知っておく(概ね30分)					
2	Introduction (2) 児童文学の成り立ち(概説)、映画鑑賞(後半)				(予習) 作者 Loralld Dahl について調べる(概ね30分)					
3	1 Here Comes Charlie ~ 3 Mr. Wonka and the Indian Prince の精読と発表、Willy Wonkaの工場の様子について				(予習) 1~3を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
4	4 The Secret Workers~6 The First Two Findersの精読と発表、グループディスカッション-				(予習) 4~6を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
5	7 Charlie's Birthday ~9 Grandpa Joe Takes a Gambe の精読と発表、グループディスカッション				(予習) 7~9を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
6	児童文学、英国文化に関するフィールドワーク				フィールドワークの主題について、調べておく。終了後はレポートを提出する。					
7	10 The Family Begins to Starve~12 What It Said on the Golden Ticket の精読と発表、Golden Ticketとは?				(予習) 10~12を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
8	13 The Big Day Arrives~15 The Chocolate Roomの精読と発表、グループディスカッション、工場の様子を報告しよう				(予習) 13~15を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
9	16 The Oompa-Loompas~18 Down the Chocolate River の精読と発表、グループディスカッション				(予習) 16~18を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
10	児童文学、英国文化に関するフィールドワーク				フィールドワークの主題について、調べておく。終了後はレポートを提出する。					
11	19 The Inventing Room~21 Good-by Violet の精読と発表、グループディスカッション				(予習) 19~21を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
12	22 Along the Corridor~24 Veruca in the Nut Room の精読と発表、グループディスカッション				(予習) 22~24を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
13	25 The Great Glass Elevator~27 Mike Teavee Is Sent by Television の精読と発表、グループディスカッション				(予習) 25~27を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
14	28 Only Charlie Left~30 Charlie's Chocolate Factory の精読と発表、グループディスカッション				(予習) 28~30を辞書を使い、精密に読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね2時間)					
15	これまでのまとめ/レポート創作のための主題を考える				(予習) これまでの内容をふりかえり、テキストに関連する事柄で、自分が取り組みたい研究テーマについて考えてくる(概ね1時間)					
教科書	Charie and the Chocolate Factory. Roald Dahl. Puffin Books. 2007.									
参考文献	授業中に指示する									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。発表内容等について、授業内でその都度フィードバックをする。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-07					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅲ				単位認定者	スミス アンソニー		評価の方法	試験(レポート)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	20	%
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
						授業回数	15 回				
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。										
到達目標	英語の歴史、及びブリテン島の歴史を学ぶことができる。										
学修者への期待等	配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	Introduction Indo-European Languages					プリント Indo-European Languages について予習しておくこと。(概ね60分)					
2	Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons (1)Discussion					プリント Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons について予習しておくこと。(概ね60分)					
3	Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons (2)Presentation					プリント Britain Before the Coming of the Anglo-Saxonsについて予習しておくこと。(概ね60分)					
4	The Coming of the Anglo-Saxons (1)Discussion					プリント The Coming of the Anglo-Saxons について予習しておくこと。(概ね60分)					
5	The Coming of the Anglo-Saxons (2)Presentation					プリント The Coming of the Anglo-Saxons について予習しておくこと。(概ね60分)					
6	Old English					プリント Old English について予習しておくこと。(概ね60分)					
7	The Scandinavian Invasions (1)Discussion					プリント The Scandinavian Invasionsについて予習しておくこと。(概ね60分)					
8	The Scandinavian Invasions (2)Presentation					プリント The Scandinavian Invasions について予習しておくこと。(概ね60分)					
9	The Norman Conquest (1)Discussion					プリント The Norman Conquest について予習しておくこと。(概ね60分)					
10	The Norman Conquest (2)Presentation					プリント The Norman Conquest について予習しておくこと。(概ね60分)					
11	Middle English					プリント Middle English について予習しておくこと。(概ね60分)					
12	Early Modern English					プリント Early Modern English について予習しておくこと。(概ね60分)					
13	Summary of the History of the English Language (1)Discussion					プリント History of the English Language について予習しておくこと。(概ね60分)					
14	Summary of the History of the English Language (2)Presentation					プリント History of the English Language について予習しておくこと。(概ね60分)					
15	Discussion & Presentation										
教科書	プリント教材										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-07				
		●	●	●	●					
科目名	総合演習Ⅲ				単位認定者	ジョーンズ ドミニク		授業内課題等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。									
到達目標	思考、目標設定、コミュニケーション、問題解決のライフスキルを高め、基本的な知識と理解を深めることができる。									
学修者への期待等	積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望する。 配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	Seven habits グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
2	Win-win グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
3	Seven habits・Win-winのプレゼンテーション				発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
4	Grit グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
5	Imperfect グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
6	Grit・Imperfectのプレゼンテーション				発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
7	Design your life グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
8	Manage finances グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
9	Design your life・Manage financesのプレゼンテーション				発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
10	Persuasion グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
11	Monroe sequence グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
12	Persuasion・Monroe sequenceのプレゼンテーション				発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
13	学外イベント				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
14	Paxtial arts グループワーク				授業計画の内容について予習を行うこと。(概ね30分程度)					
15	Summaryのプレゼンテーション				発表の準備をしてくること。(概ね1時間)					
教科書	適宜資料を配布する。									
参考文献	授業内で適宜紹介する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する可能性がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-07				
		●	●	●	●					
科目名	総合演習Ⅲ				単位認定者	相田 明子		授業内課題等(発表・レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度(予習、ディスカッションへの貢献度)	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。									
到達目標	1. 児童文学に関する基礎的知識について学び、作品を読解する際に活用することができる。 2. 英語で書かれた詩や小説を、辞書を用いて精密に読む(和訳する)ことができる。 3. 詩や小説を通して学ぶ異文化的な背景に興味を持ち、探求することができる。 すべての項目において、グループで相談しながら達成することができる。									
学修者への期待等	英国児童文学を代表する3作品(『不思議の国のアリス』『ビーター・ラビットのお話』『メアリー・ポピンズ』)について学びます。 授業の準備として、テキストの予習とグループによる作品解釈が求められます。また、声に出して英語を「読む」、作品から読み取れる歴史的な背景や文化・慣習を「調べる」、作品に関する挿絵や映像を「見る」ことによって、総合的に理解を深めます。準備学修も含め、積極的に楽しく学ぶ姿勢が求められます。									
回	授業計画				準備学修					
1	・授業のIntroduction ・総合演習IIレポートのフィードバック				(予習)本シラバスをよく読み、授業内容を確認しておく。また、インターネットなどで検索し、作品の背景に関する情報を調べておく。(概ね30分)					
2	<i>The World of Peter Rabbit</i> 作者Beatrix Potterについて (1)The Tale of Peter Rabbit (1902):精読とプレゼンテーション				(予習) Beatrix Potterについて調べておく。The Tale of Peter Rabbitを読んでおく。内容について、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
3	(2)The Tale of Squirrel Nutkin (1903):精読とプレゼンテーション				(予習) The Tale of Squirrel Nutkinを読んでおく。内容について、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
4	(3)The Tale of Benjamin Bunny (1904):精読とプレゼンテーション 作品、作者について、与えられた主題でディスカッションをする①				(予習) The Tale of Benjamin Bunnyを読んでおく。内容について、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
5	<i>Mary Poppins</i> (1934)を読む (1)時代背景と作者P.L.Traversについて				(予習) P.L.Traversについて調べておく。配布されたプリントを辞書を使って読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
6	<i>Mary Poppins</i> を読む (2)"East Wind":精読とプレゼンテーション				(予習)"East Wind"を読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
7	<i>Mary Poppins</i> を読む (3)"The Day Out":精読とプレゼンテーション				(予習)"The Day Out"を読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
8	<i>Mary Poppins</i> を読む (4)"Laughing Gas":精読とプレゼンテーション 作品、作者について、与えられた主題でディスカッションをする②				(予習)"Laughing Gas"を読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
9	児童文学、英国文化に関するフィールドワーク				フィールドワークの主題について、予め調べておく。(概ね30分)					
10	<i>Alice's Adventures in Wonderland</i> (1865)を読む (1)時代背景と作者 Lewis Carrollについて				(予習) Lewis Carrollについて調べておく。配布されたプリントを、辞書を使って精読をする。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
11	<i>Alice's Adventures in Wonderland</i> を読む (2)"Down the Rabbit Hole"				(予習)"Down the Rabbit Hole"を辞書を使って精読をする。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
12	<i>Alice's Adventures in Wonderland</i> を読む (3)"The Pool of Tears"				(予習)"The Pool of Tears"を読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
13	<i>Alice's Adventures in Wonderland</i> を読む (4)"A Mad Tea-Party" 作品、作者について、与えられた主題でディスカッションをする③				(予習)"A Mad Tea-Party"を読んでおく。気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく。(概ね60分)					
14	映画 <i>Alice in Wonderland</i> (1951)を視聴する 原作と映画のストーリーを比較する				(予習) 配布されたプリントを読み、要点をまとめておく。(概ね30分)					
15	これまでのまとめ / レポート創作のための主題を考える				(予習) これまでの内容をふりかえり、テキストに関連する事柄で、自分が取り組みたい研究テーマについて考えてくる。(概ね30分)					
教科書	教員が作成したプリントを使用する									
参考文献	授業中に指示する									
備考	発表内容等について、授業中にその都度フィードバックをする。受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合があります。状況により遠隔授業になる場合がある									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-07				
		●	●	●	●					
科目名	総合演習Ⅲ				単位 認定者	小松 義隆		試験 (レポート)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の 方法	授業内課題等	10 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目指す。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。									
到達目標	作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。英米語の表現の違い等について気づき、理解することができる。1作品翻訳することによる達成感と自信を感じることができる。									
学修者への期待等	本授業では「総合演習Ⅱ」で扱った英語文学作品と同程度の語彙レベルの作品をテキストとして使用します。「総合演習Ⅰ」、「総合演習Ⅱ」では英文学作品をとり挙げましたので、本授業では米文学作品を英米の違いを意識しながら精読します。執筆された当時の歴史背景や英米の表現の違い等も各自で調べてください。各授業回で担当した範囲の内容の発表や担当箇所が出てきた興味深い語彙や、構文、周辺情報等を発表してもらいますので合わせてノートに書き留めてください。最終的にそれぞれに翻訳ノートを提出して頂きます。									
回	授業計画				準備学修					
1	新テキストへの導入と購読				テキストを各自購入しておき、テキストの構成を概観して読書翻訳計画を立てておいてください。(概ね1時間)					
2	作品講読と翻訳 (1. Four sisters中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
3	作品講読と翻訳 (2. A Happy Christmas中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
4	作品講読と翻訳 (3. The Laurence boy中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
5	作品講読と翻訳 (4. The house next door中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
6	作品講読と翻訳 (5. A surprise for Beth中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
7	作品講読と翻訳 (6. Amy in trouble中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
8	作品講読と翻訳 (7. Meg hears some gossip中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
9	作品講読と翻訳 (8. All play and no work中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
10	作品講読と翻訳 (9. Secrets中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
11	作品講読と翻訳 (10. A telegram中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
12	作品講読と翻訳 (11. Beth中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					

回	授業計画	準備学修
13	作品講読と翻訳（12. Love and Mr Brooke中の担当箇所）, 内容の発表, 担当箇所に関するの周辺情報, 気になった表現などの発表	担当箇所の精読と翻訳, 作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）, 気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）
14	作品講読と翻訳（13. Laurie makes trouble and Jo makes peace中の担当箇所）, 内容の発表, 担当箇所に関するの周辺情報, 気になった表現などの発表	担当箇所の精読と翻訳, 作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）, 気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）
15	作品講読と翻訳（14. Happier days中の担当箇所）, 内容の発表, 担当箇所に関するの周辺情報, 気になった表現などの発表 講読内容の要約・感想文作成と発表	予習と提出用翻訳ノート, 読後感の作成（概ね3時間）
教科書	Oxford Bookworm Library Louisa May Alcott <i>Little Women</i> (Stage 4) Oxford University Press	
参考文献	『イギリス・アメリカ文学史 作家のこころ』 福田 昇八 南雲堂	
備考	辞書必携, 逐次参照。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

現代英語学科

- ナンバリング
- 学科教員一覧
- 実務経験を有する教員一覧
- オフィスアワー
- 成績評価

現代英語学科のナンバリングの見方

【例】CE-1-○○○-01

CE	-	1	-	○○○	-	01
①	半角[-]	②	半角[-]	③	半角[-]	①

① 学科（専攻）識別番号

半角アルファベット（大文字）2桁

全学共通教養教育科目：CO

現代英語学科：CE

② 科目レベル

教養科目：0

専門基礎科目：1

専門展開科目：2

関連科目：3

演習科目：4

③ 科目分類

半角アルファベット（大文字）3桁

教養教育分野	人間と文化	HCU	Human & culture
	人間と社会	HSO	Human & society
	人間と科学	HSC	Human & science
専門基礎科目		EBA	English Basics
専門展開科目		EAD	English Advanced
関連科目		RCO	Related Course
演習科目		ESE	English Seminar *英語以外の演習科目もあるが、現代英語学科設置の演習科目としてひとくくりに扱う

④ 連続番号

半角数字2桁

全学共通教養教育科目は全学科、以下のナンバリングを使用する。

科目名称	ナンバリング
日本語表現法	CO-0-HCU-01
英語	CO-0-HCU-02
法律入門	CO-0-HSO-04
現代の社会	CO-0-HSO-03
情報処理	CO-0-HSC-01

2023年度以前入学生科目ナンバリング

	科目分野	科目名称	ナンバリング
教養教育分野	人間と文化 0 HCU	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		国際文化	CE-0-HCU-03
		歴史と文化	CO-0-HCU-03
	人間と社会 0 HSO	心理学	CE-0-HSO-01
		法律入門	CO-0-HSO-04
		現代の社会	CO-0-HSO-03
	人間と科学 0 HSC	情報処理 I	CO-0-HSC-01
		情報処理 II	CE-0-HSC-01
	専門教育分野	専門基礎科目 1 EBA	Oral Communication I
Oral Communication II			CE-1-EBA-02
Listening I			CE-1-EBA-03
Listening II			CE-1-EBA-04
Reading & Vocabulary I			CE-1-EBA-05
Reading & Vocabulary II			CE-1-EBA-06
Grammar & Composition I			CE-1-EBA-07
Grammar & Composition II			CE-1-EBA-08
専門展開科目 2 EAD		Oral Communication III	CE-2-EAD-01
		Business Communication	CE-2-EAD-02
		Essay Writing	CE-2-EAD-04
		Media English	CE-2-EAD-03
		Public Speaking	CE-2-EAD-05
		Debating Skills	CE-2-EAD-13
		Extensive Reading	CE-2-EAD-06
		Advanced Reading	CE-2-EAD-07
		English for Tourism	CE-2-EAD-08
		Chorus English	CE-2-EAD-09
		Cinema English	CE-2-EAD-10
		Drama Workshop	CE-2-EAD-11
海外研修		CE-2-EAD-12	
関連科目 3 RCO		ビジネスプロトコール	CE-3-RCO-01
		秘書実務	CE-3-RCO-06
		観光ビジネス論	CE-3-RCO-04
		エアラインサービス	CE-3-RCO-05
		フランス語 I	CE-3-RCO-07
		フランス語 II	CE-3-RCO-08

科目分野		科目名称	ナンバリング
演習分野	演習科目 4 ESE	キャリア形成演習Ⅰ	CE-4-ESE-05
		キャリア形成演習Ⅱ	CE-4-ESE-06
		基礎ゼミ	CE-4-ESE-02
		総合演習Ⅰ	CE-4-ESE-03
		総合演習Ⅱ	CE-4-ESE-04
		総合演習Ⅲ	CE-4-ESE-07
		TOEIC Preparation	CE-4-ESE-08
		STEP Preparation	CE-4-ESE-09

2024年度以降入学生科目ナンバリング

科目分野		科目名称	ナンバリング
教養教育分野	人間と文化 0 HCU	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		World Mythology	CE-0-HCU-03
		歴史と文化	CO-0-HCU-03
	人間と社会 0 HSO	心理学	CE-0-HSO-01
		法律入門	CO-0-HSO-04
		現代の社会	CO-0-HSO-03
		Critical Thinking	CE-0-HSO-02
	人間と科学 0 HSC	情報処理	CO-0-HSC-01
数理リテラシー		CE-0-HSC-01	
専門教育分野	専門基礎科目 1 EBA	Oral CommunicationⅠ	CE-1-EBA-01
		Oral CommunicationⅡ	CE-1-EBA-02
		ListeningⅠ	CE-1-EBA-03
		ListeningⅡ	CE-1-EBA-04
		ReadingⅠ	CE-1-EBA-05
		ReadingⅡ	CE-1-EBA-06
		GrammarⅠ	CE-1-EBA-07
		GrammarⅡ	CE-1-EBA-08
	専門展開科目 2 EAD	Oral CommunicationⅢ	CE-2-EAD-01
		Oral CommunicationⅣ	CE-2-EAD-14
		ListeningⅢ	CE-2-EAD-10
		ListeningⅣ	CE-2-EAD-15
		ReadingⅢ	CE-2-EAD-03
		ReadingⅣ	CE-2-EAD-07
		Business Communication	CE-2-EAD-02
		Essay Writing	CE-2-EAD-04

科目分野		科目名称	ナンバリング
専門教育分野	専門展開科目 2 EAD	Business Writing	CE-2-EAD-16
		Speaking Skills I	CE-2-EAD-17
		Speaking Skills II	CE-2-EAD-18
		Extensive Reading	CE-2-EAD-06
		English for Tourism	CE-2-EAD-08
		Chorus English	CE-2-EAD-09
		English through Plays	CE-2-EAD-11
		英米文学概論	CE-2-EAD-19
		英語史概論	CE-2-EAD-20
		Vocabulary Building	CE-2-EAD-21
		Teaching English to Children	CE-2-EAD-22
		British Studies	CE-2-EAD-23
		American Studies	CE-2-EAD-24
		International Studies	CE-2-EAD-25
	海外研修	CE-2-EAD-12	
	関連科目 3 RCO	ビジネスプロトコール	CE-3-RCO-01
		秘書実務	CE-3-RCO-06
		観光ビジネス論	CE-3-RCO-04
		エアラインサービス	CE-3-RCO-05
フランス語 I		CE-3-RCO-07	
フランス語 II		CE-3-RCO-08	
演習分野	演習科目 4 ESE	キャリア形成演習 I	CE-4-ESE-05
		キャリア形成演習 II	CE-4-ESE-06
		基礎ゼミ	CE-4-ESE-02
		TOEIC I	CE-4-ESE-08
		STEP I	CE-4-ESE-09
		TOEIC II	CE-4-ESE-10
		STEP II	CE-4-ESE-11

現代英語学科 学科教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授 (学科長)	スミス アンソニー SMITH ANTHONY	スミス 研究室	022-302-5489	a_smith@seiyogakuin.ac.jp
2	教授	ジョーンズ ドミニク JONES DOMINIC	ジョーンズ 研究室	022-302-5490	d_jones@seiyogakuin.ac.jp
3	特任教授	スズキ カズキ 鈴木 一樹	鈴木 研究室	-	kz_suzuki@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	コマツ ヨシタカ 小松 義隆	小松 研究室	022-302-5584	y_komatsu@seiyogakuin.ac.jp
5	准教授	アイダ アキコ 相田 明子	相田 研究室	022-302-4890	a_aida@seiyogakuin.ac.jp

現代英語学科 実務経験を有する教員一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
法律入門	2	鈴木 一樹	公認会計士として上場企業等の法定監査、税理士として税務業務に従事。
ビジネスプロトコール	2	加藤 雅子	元大手航空会社CA、CA教官。 接遇マナー、研修業務等の会社の代表。
キャリア形成演習 I	1	川出 裕佳	現在キャリア関係会社にて勤務。大企業、中小企業等の民間、行政で勤務等10年以上の実務経験を持つ。
キャリア形成演習 II	1	加藤 雅子	元大手航空会社CA、CA教官。 接遇マナー、研修業務等の会社の代表。
秘書実務	2	細川 久美子	2011年より、株式会社総務部門での実務を担当しつつ、現在、人事・教育サービス会社の取締役。
	8	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	

2024（令和6）年度 現代英語学科 オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんとのコミュニケーションを充実させ、個別に相談を受けるために研究室に在室する時間を設ける制度のことです。

相談を希望する教員のオフィスアワーの時間帯は、掲示などによりお知らせします。指定時間に教員が研究室で待機していますが、臨時の会議や出張などにより不在の場合もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをおすすめします。

非常勤の先生には、非常勤講師控室（1階事務室内にあります）または授業後の教室で相談をすることができます。

成績評価

成績評価基準は次のとおりです。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満 (※)	0
	評価不能 (E)	(1) 履修規程第6条第5項により、受験資格を有しない者 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が関係法令を踏まえて授業科目ごとに定める時間数を満たさない者	0

(※) 再試験で合格の場合の成績評価は可 (C)、GP は1ポイントとなります。